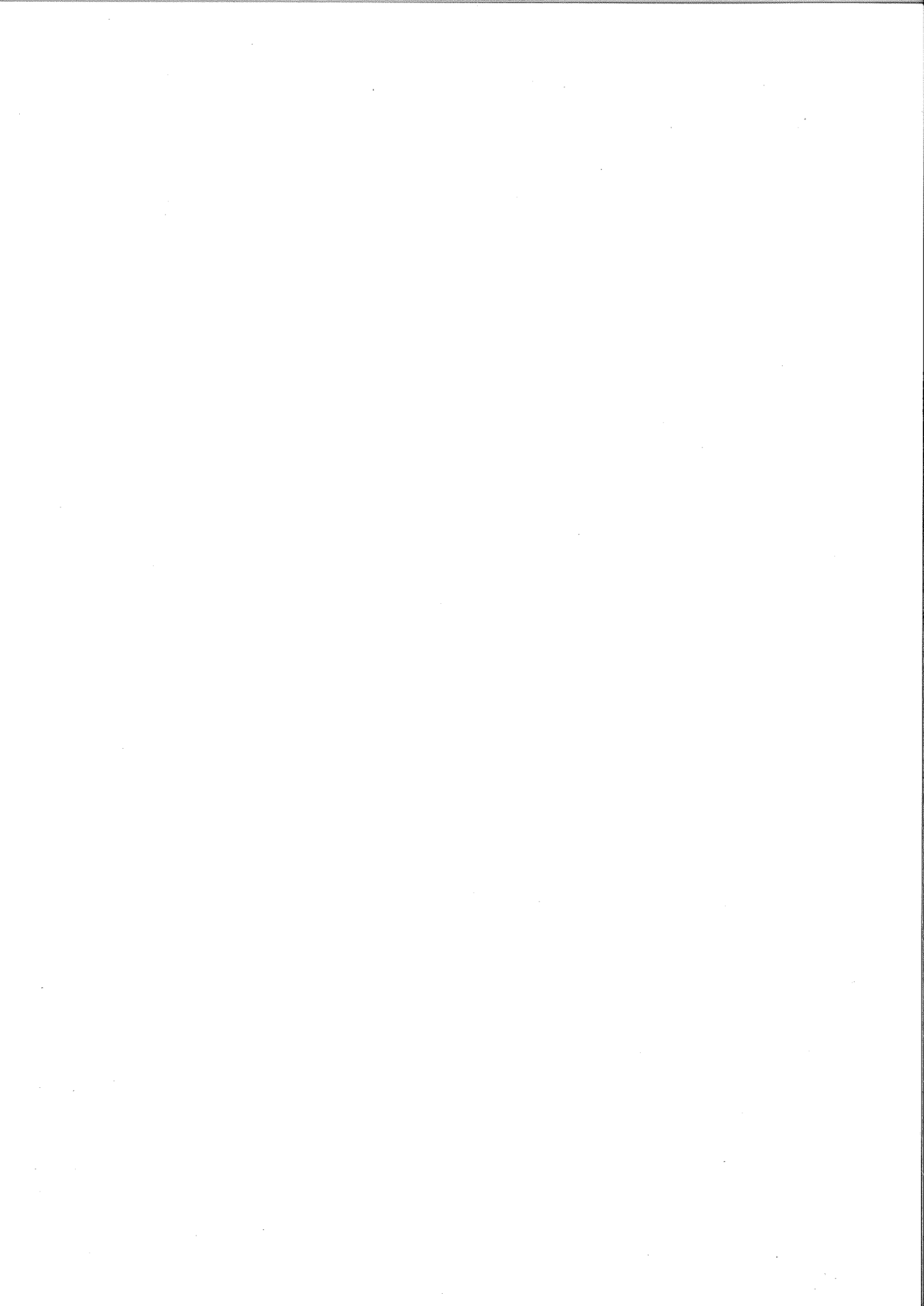


火災の実態について

(平成24年中)

消防庁予防課



目 次

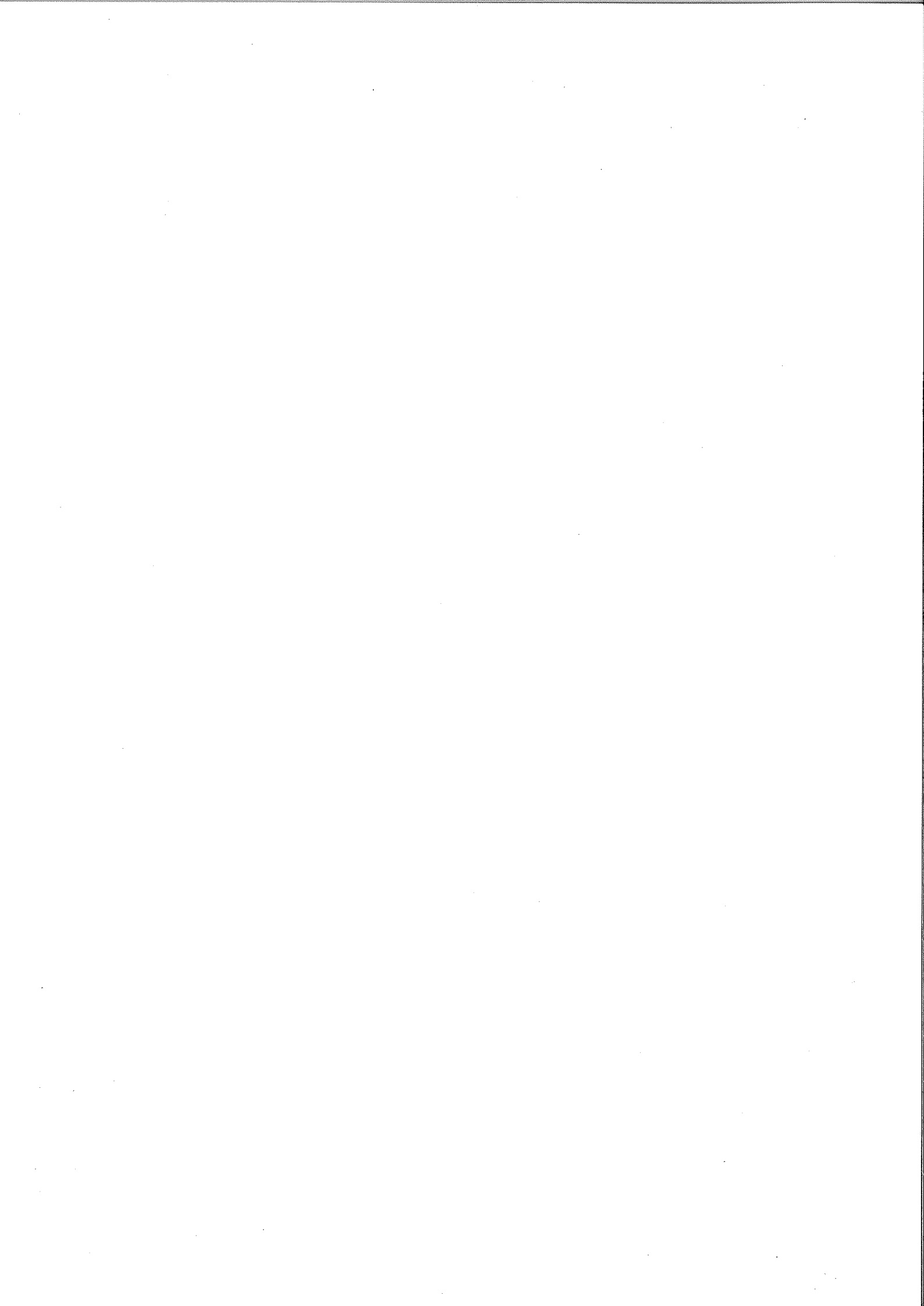
第 一 章 住宅火災の実態について

1 序 説	2
2 住宅火災出火件数	3
(1) 建物火災のうち住宅火災の件数	3
(2) 発火源別火災件数	4
(3) 着火物別火災件数	5
(4) 出火箇所別火災件数	6
(5) 建物構造別火災件数	7
(6) 時間帯別火災件数	8
(7) 月別火災件数	9
(8) 都道府県別火災件数	10
3 住宅火災による死者数	13
(1) 建物火災による死者のうち住宅火災による死者数	13
(2) 発火源別死者数	14
(3) 着火物別死者数	16
(4) 出火箇所別死者数	17
(5) 建物構造別死者数	18
(6) 時間帯別死者数	19
(7) 月別死者数	20
(8) 都道府県別死者数	21
(9) 年齢別死者数	24
(10) 階別死者数	26
(11) 死に至った経過別死者数（年齢別）	27
(12) 死に至った経過別死者数（タイプ別）	29
(13) 発火源と出火箇所の関係	31
(14) 発火源と着火物の関係	32
(15) 出火箇所と着火物の関係	33
4 住宅火災による負傷者数	34
(1) 建物火災による負傷者のうち住宅火災による負傷者数	34
(2) 発火源別負傷者数	35
(3) 着火物別負傷者数	36
(4) 出火箇所別負傷者数	37
(5) 建物構造別負傷者数	38
(6) 時間帯別負傷者数	39
(7) 月別負傷者数	40
(8) 都道府県別負傷者数	41
5 3名以上の死者が発生した住宅火災	44
参考資料	45



第二章 火災による死者の実態について

1 序 説	51
2 火災による死者全体の実態について	52
(1) 出火件数と火災による死者数の推移	52
(2) 都道府県別の死者発生状況	53
(3) 月別の死者発生状況	57
(4) 時間帯別の死者発生状況	58
(5) 火災種別ごとの死者発生状況	59
(6) 建物用途別、階層別の死者発生状況	60
(7) 建物構造別の死者発生状況	61
(8) 建物用途別、構造別の火災発生件数、死者発生状況	63
(9) 防火対象物政令用途区分別の死者発生状況	66
(10) 年齢別、性別の死者発生状況	70
(11) 1件で3人以上の死者を出した火災	71
(12) 出火原因別の死者発生状況	74
3 放火自殺者を除いた死者の実態について	75
(1) 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況	75
(2) 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況	76
(3) 放火自殺者を除いた火災種別ごとの死者発生状況	77
(4) 放火自殺者を除いた建物用途別、階層別の死者発生状況	78
(5) 放火自殺者を除いた建物構造別の死者発生状況	79
(6) 放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者発生状況	81
(7) 死因別の死者発生状況	82
(8) 死に至った経過と年齢別の死者発生状況	83
(9) 高齢者、身体不自由者等の建物用途別、階層別の死者発生状況	88
4 放火自殺者の実態について	89
(1) 放火自殺者の火災種別ごとの死者発生状況	89
(2) 放火自殺者の月別、時間帯別の死者発生状況	90
(3) 放火自殺者の年齢別、性別の死者発生状況	92
参考資料	93



第一章

住宅火災の実態について



平成24年中の建物火災は25,583件(放火の2,508件を含む。)(前年比1,212件減)発生し、全火災の57.9%(前年53.6%)を占めている。さらに、放火を除いた建物火災23,075件(前年比1,185件減)のうち、住宅火災は12,832件(放火を除く。)(前年比841件減)で55.6%(前年56.4%)を占めている。

死者については、建物火災による死者の1,168人(放火自殺者等156人を除く。)(前年比9人減)のうち1,016人(放火自殺者等129人を除く。)(前年比54人減)(87.0%)(前年90.9%)、また、負傷者については建物火災による負傷者の5,482人(放火による413人を除く。)(前年比316人減)のうち3,821人(放火による304人を除く。)(前年比282人減)(69.7%)(前年70.8%)を住宅火災が占めている。

この資料は、火災による死者等の調査のうち、特に住宅火災について分析したものであり、今後の住宅防火対策推進に係る広報資料として活用願うために作成したものである。

なお、資料中の「住宅」とは火災報告取扱要領の一般住宅、共同住宅、併用住宅の総称である。また、「放火を除く。」とは、火災報告取扱要領の出火原因の経過中91「放火」に分類されるものを除いたものであり、「放火自殺者等を除く。」とは、火災による死者の調査表の「放火自殺者(心中の道づれを含む。）」、「放火自殺者の巻添者」及び「放火殺人の犠牲者」を除く総称である。

〔概要表〕

(平成24年中)

		火災件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
全火災		44,189 (38,819)	1,721 (1,323)	6,826 (6,321)
	建物火災	25,583 (23,075)	1,324 (1,168)	5,895 (5,482)
	住宅火災	14,150 (12,832)	1,145 (1,016)	4,125 (3,821)
	一般住宅火災	9,251 (8,556)	890 (806)	2,751 (2,555)
	共同住宅火災	4,313 (3,723)	221 (180)	1,218 (1,115)
	併用住宅火災	586 (553)	34 (30)	156 (151)
	住宅以外の建物火災	11,433 (10,243)	179 (152)	1,770 (1,661)
	建物火災以外の火災	18,606 (15,744)	397 (155)	931 (839)

- (注) 1 火災件数及び負傷者数における()内の数値は、放火を除いた数値である。
 2 死者数における()内の数値は、放火自殺者等を除いた数値である。
 3 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。以下、本章及び第2章において同じ。

2 住宅火災出火件数

(1) 建物火災のうち住宅火災の件数

建物火災件数(放火を除く。)は23,075件(前年比1,185件減)で、そのうち住宅火災が12,832件(前年比841件減)(55.6%)(前年56.4%)を占めている。

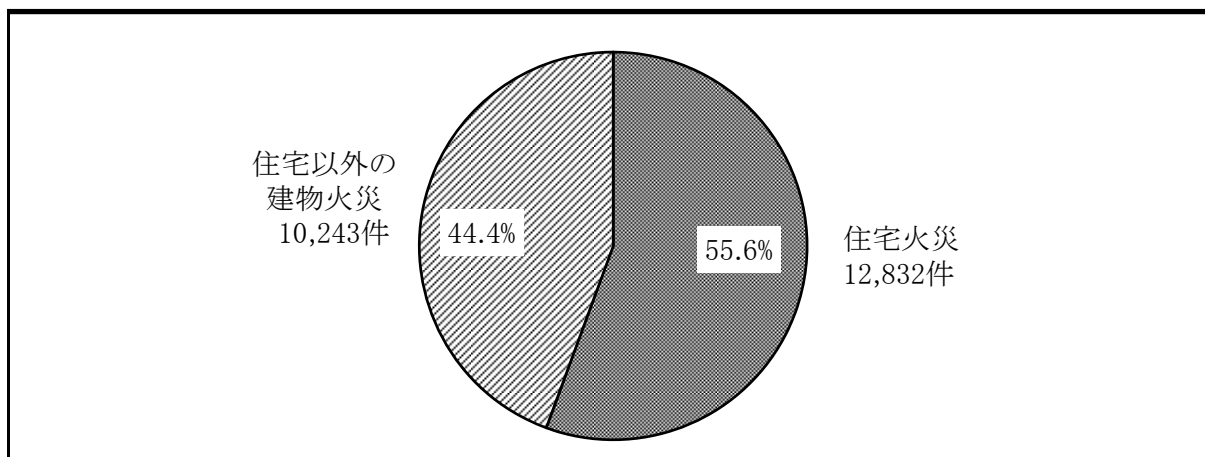
また、住宅火災のうち、一般住宅に係る火災が全体の66.7%(前年66.0%)を占めている。

建物火災のうち住宅火災の件数(放火を除く)

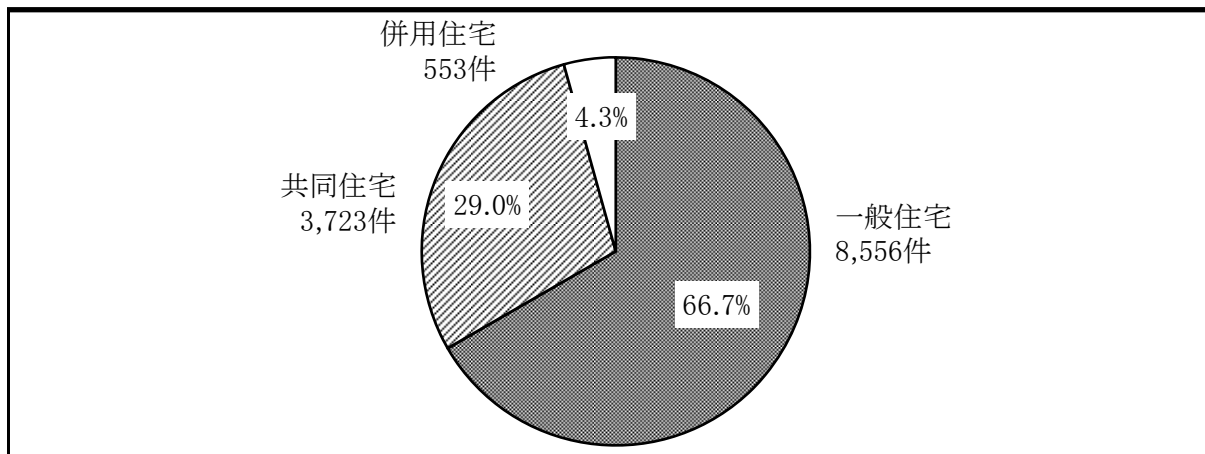
建物火災(件)	住宅火災(件)				住宅以外の建物火災(件)
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
23,075	12,832	8,556	3,723	553	10,243
100.0%	55.6%	[66.7%]	[29.0%]	[4.3%]	44.4%

(* []は、住宅火災の件数(12,832件)に占める割合)

建物火災のうち住宅火災の件数(放火を除く)



住宅形態別の火災の件数(放火を除く)



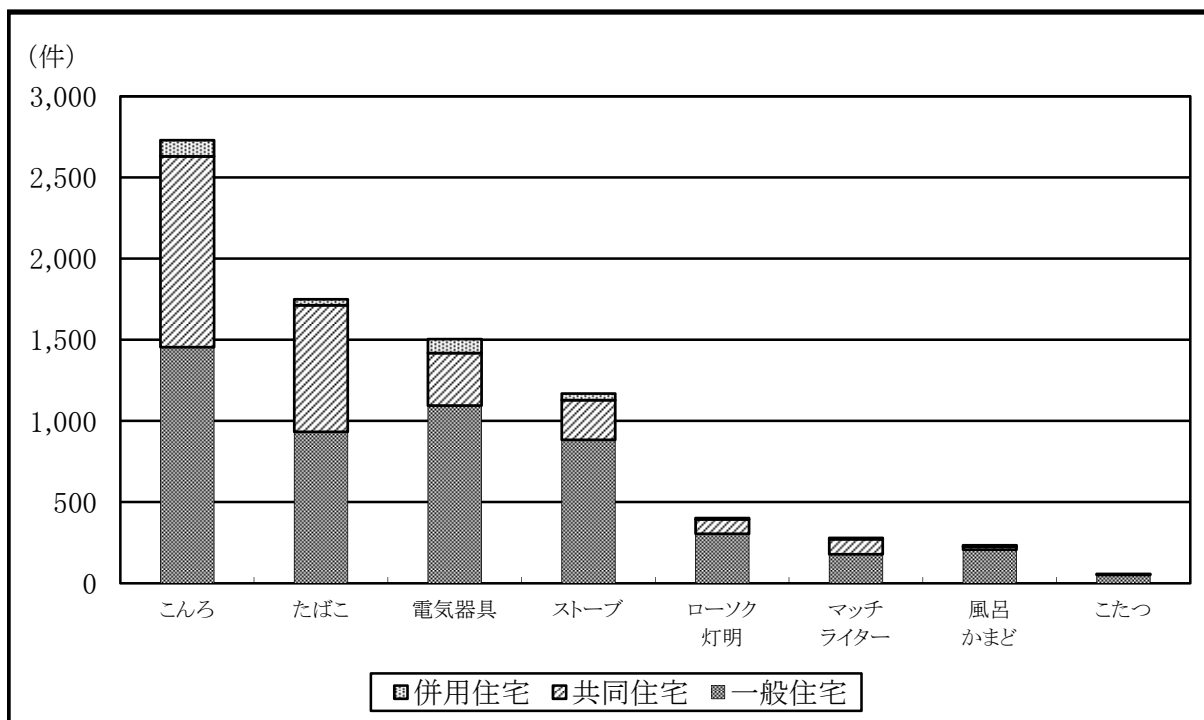
(2) 発火源別火災件数

住宅火災の発火源別火災件数は、多いものから順に「こんろ」によるもの2,730件(21.3%)、「たばこ」によるもの1,750件(13.6%)、「電気器具」によるもの1,504件(11.7%)、「ストーブ」によるもの1,169件(9.1%)の順である。最も多い「こんろ」による火災が、住宅火災のほぼ5件に1件を占めている。

発火源別火災件数(放火を除く)

発火源	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
こ ん ろ		3,888	2,730	1,455	1,175	100
た ば こ		2,583	1,750	933	780	37
電 気 器 具		3,253	1,504	1,095	323	86
ス ト ー ブ		1,508	1,169	884	245	40
ロ ー ソ ク ・ 灯 明		476	402	305	89	8
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー		407	280	179	93	8
風 呂 か ま ど		252	234	208	18	8
こ た つ		66	58	52	3	3
そ の 他		7,341	2,835	2,016	658	161
不 明		3,301	1,870	1,429	339	102
合 計		23,075	12,832	8,556	3,723	553

発火源別火災件数(放火を除く)



(* 発火源のその他、不明は除く)

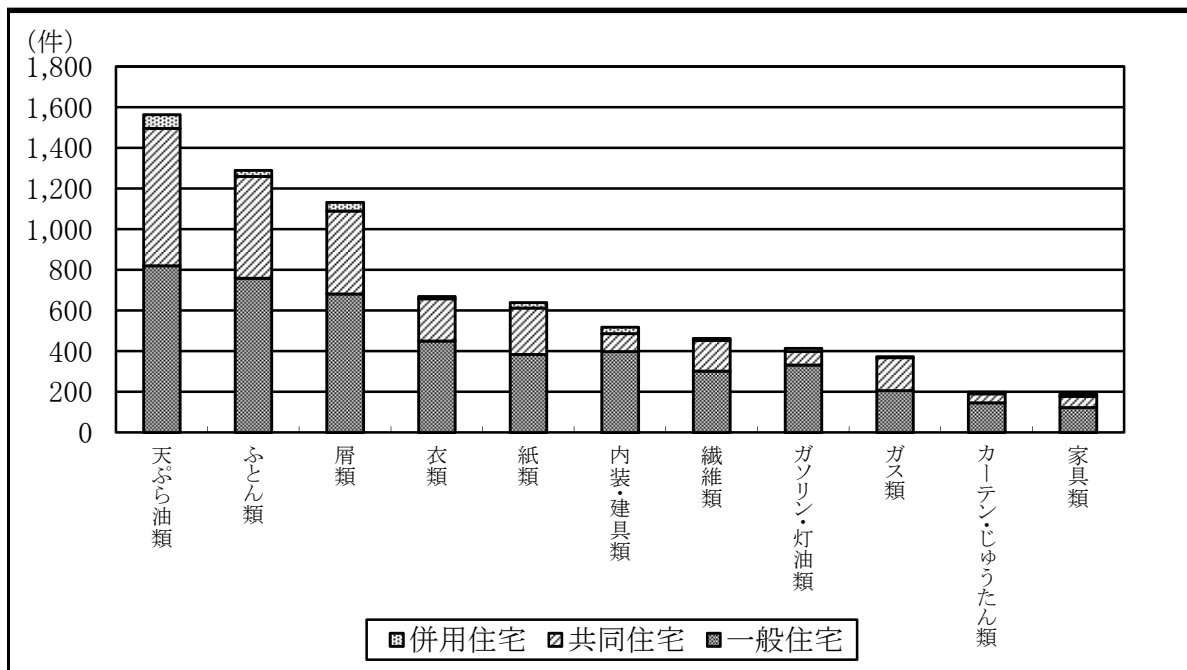
(3) 着火物別火災件数

住宅火災の着火物別火災件数は、多いものから「天ぷら油類」によるもの1,565件(12.2%)、「ふとん類」によるもの1,290件(10.1%)、「屑類」によるもの1,133件(8.8%)である。最も多い「天ぷら油類」から「ふとん類」「屑類」の上位3つで住宅火災全体の3割以上を占めている。

着火物別火災件数(放火を除く)

着火物	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
天ぷら油類		2,433	1,565	821	676	68
ふとん類		1,584	1,290	759	502	29
屑類		2,496	1,133	682	408	43
衣類		881	669	450	209	10
紙類		1,172	640	384	229	27
内装・建具類		852	518	399	88	31
繊維類		746	463	302	152	9
ガソリン・灯油類		879	414	333	66	15
ガス類		642	374	206	162	6
カーテン・じゅうたん類		266	199	146	45	8
家具類		289	190	123	55	12
その他		7,393	3,352	2,326	841	185
不明		3,442	2,025	1,625	290	110
合計		23,075	12,832	8,556	3,723	553

着火物別火災件数(放火を除く)



(* 着火物のその他、不明は除く)

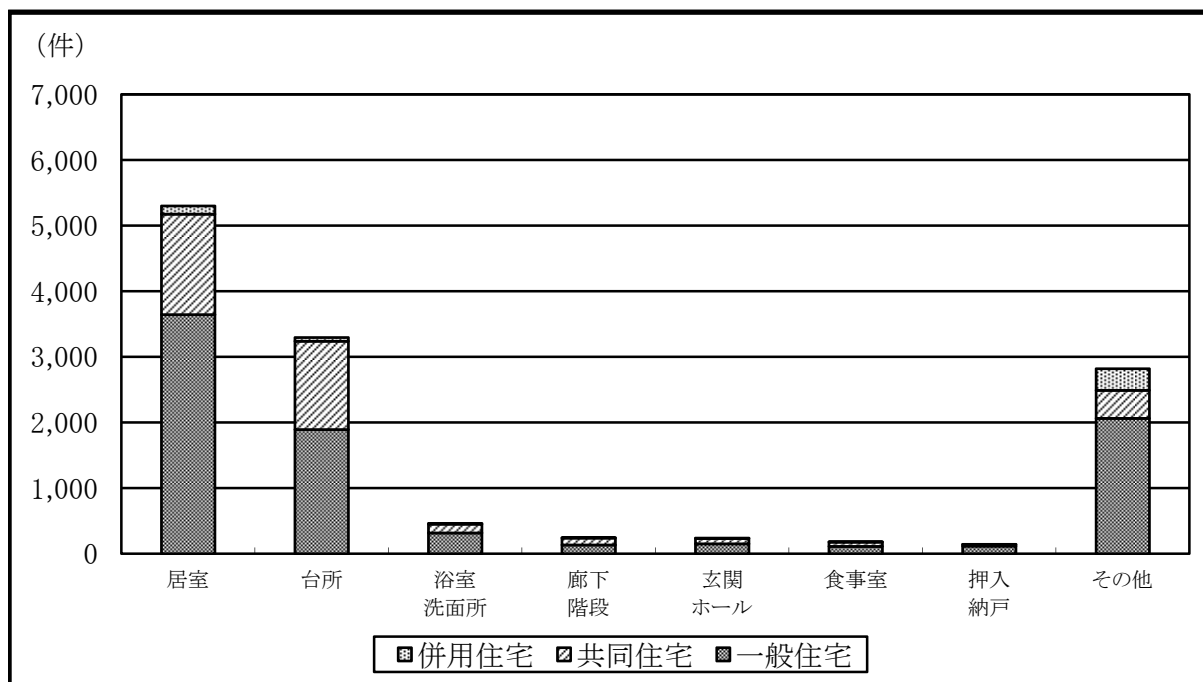
(4) 出火箇所別火災件数

住宅火災件数のうち「居室」を出火箇所とする火災が5,298件(41.3%)と最も多く、次いで「台所」を出火箇所とする火災が3,294件(25.7%)と前年と同じ順になっている。この「居室」または「台所」を出火箇所とする火災だけで全体の67.0%(前年66.8%)を占め、主な出火箇所となっている。

出火箇所別火災件数(放火を除く)

出火箇所	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
居	室	6,063	5,298	3,642	1,532	124
台	所	3,789	3,294	1,892	1,346	56
浴	室・洗面所	685	463	317	132	14
廊	下・階段	419	244	134	104	6
玄	関・ホール	369	237	151	81	5
食	事室	213	181	111	65	5
押	入・納戸	164	141	115	25	1
そ	の他	11,107	2,819	2,062	428	329
不	明	266	155	132	10	13
合	計	23,075	12,832	8,556	3,723	553

出火箇所別火災件数(放火を除く)



(* 出火箇所の不明は除く)

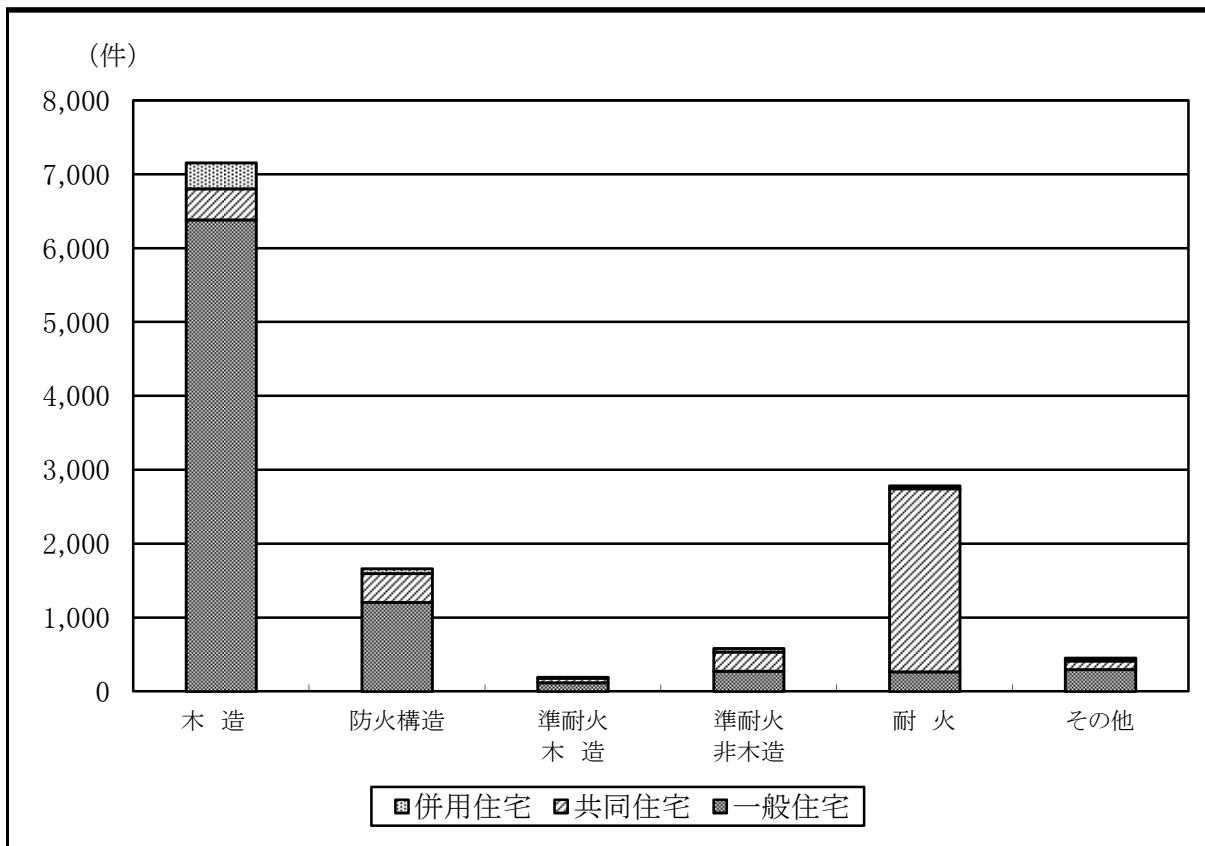
(5) 建物構造別火災件数

住宅火災件数のうち「木造建築物」が7,155件(55.8%)と前年と同じく6割近くを占めている。次いで「耐火建築物」が2,782件(21.7%)、「防火構造建築物」が1,662件(13.0%)となっている。

建物構造別火災件数(放火を除く)

建物構造	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
木造建築物		9,901	7,155	6,383	422	350
防火構造建築物		2,276	1,662	1,208	388	66
準耐火木造建築物		301	190	119	60	11
準耐火非木造建築物		2,573	581	273	261	47
耐火建築物		5,917	2,782	266	2,477	39
その他		1,825	452	298	114	40
不明		282	10	9	1	0
合計		23,075	12,832	8,556	3,723	553

建物構造別火災件数(放火を除く)



(* 建物構造の不明は除く)

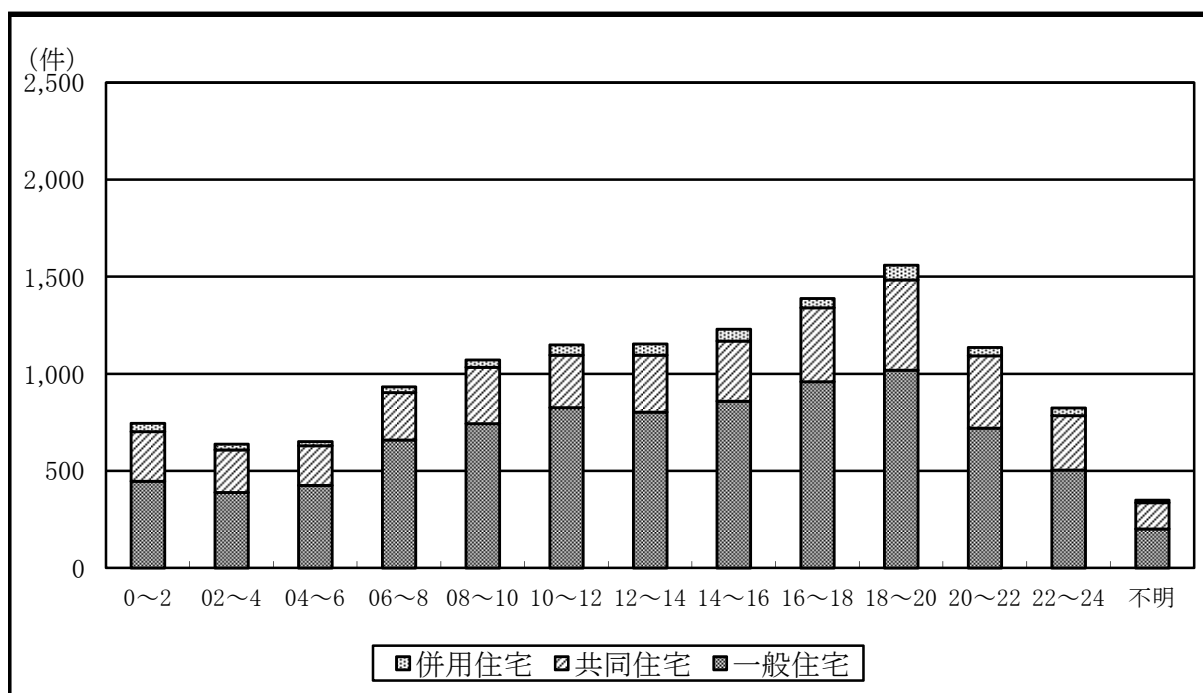
(6) 時間帯別火災件数

住宅火災の時間帯別火災件数は、就寝時間帯以外に多く発生しており、前年と同じく「18時から20時」が1,559件(12.1%)と最も多く、次いで「16時から18時」の1,389件(10.8%)、というように夕飯時に多くなっている。

時間帯別火災件数(放火を除く)

時間帯	区分 建物火災 (件)	住宅火災(件)			
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
0 ~ 2	1,318	746	447	255	44
2 ~ 4	1,158	638	389	219	30
4 ~ 6	1,089	652	426	204	22
6 ~ 8	1,461	934	659	245	30
8 ~ 10	1,942	1,072	743	291	38
10 ~ 12	2,298	1,149	826	271	52
12 ~ 14	2,274	1,154	803	293	58
14 ~ 16	2,407	1,230	859	310	61
16 ~ 18	2,418	1,389	959	381	49
18 ~ 20	2,540	1,559	1,019	465	75
20 ~ 22	1,994	1,136	720	373	43
22 ~ 24	1,479	824	505	280	39
不明	697	349	201	136	12
合計	23,075	12,832	8,556	3,723	553

時間帯別火災件数(放火を除く)



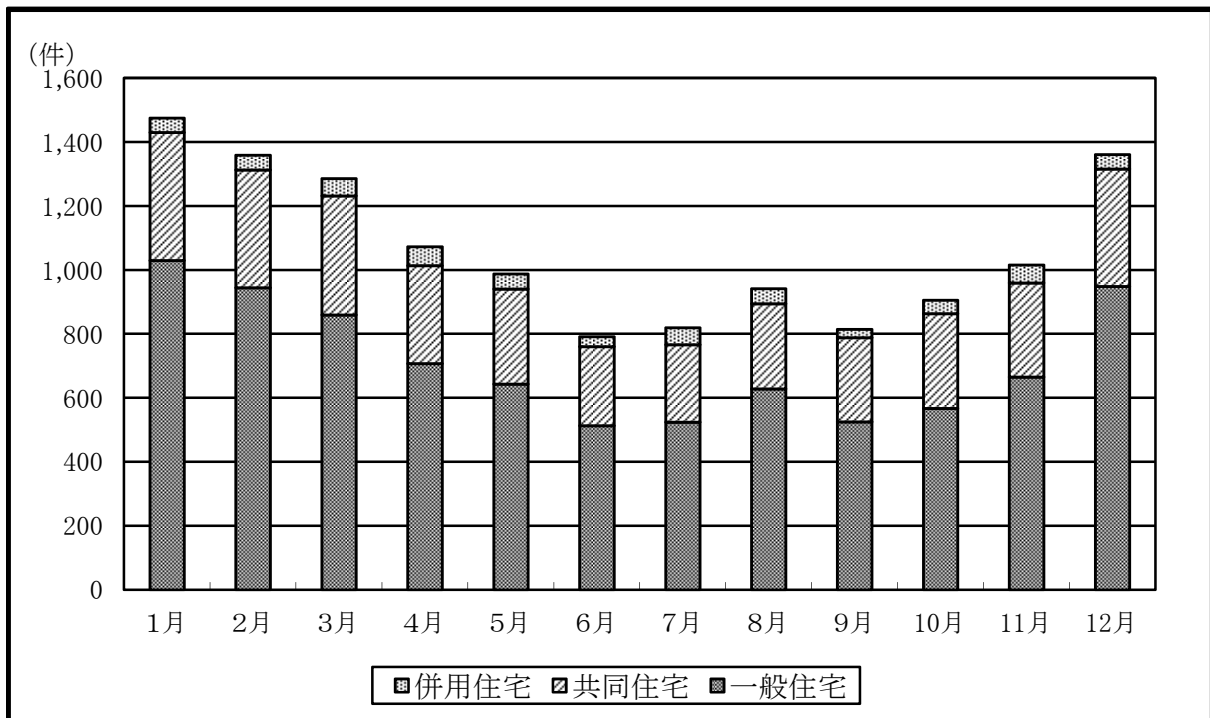
(7) 月別火災件数

住宅火災の月別火災件数は、前年と同じく12月から3月までの4ヶ月間が多く、また、この期間に全体の4割(42.7%)を超える5,481件の火災が発生している。

月別火災件数(放火を除く)

月	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
1月		2,434	1,475	1,030	400	45
2月		2,264	1,359	945	368	46
3月		2,168	1,286	860	372	54
4月		1,995	1,073	707	307	59
5月		1,885	988	643	298	47
6月		1,543	791	513	247	31
7月		1,556	820	524	242	54
8月		1,831	942	628	267	47
9月		1,532	815	525	263	27
10月		1,721	906	567	297	42
11月		1,847	1,016	665	295	56
12月		2,299	1,361	949	367	45
合計		23,075	12,832	8,556	3,723	553

月別火災件数(放火を除く)



(8) 都道府県別火災件数

住宅火災の多い都道府県は、「東京都(1,320件)」、「大阪府(1,002件)」、「神奈川県(723件)」の順となっており、少ない都道府県は、「福井県(59件)」、「島根県(68件)」、「徳島県、佐賀県(71件)」の順となっている。

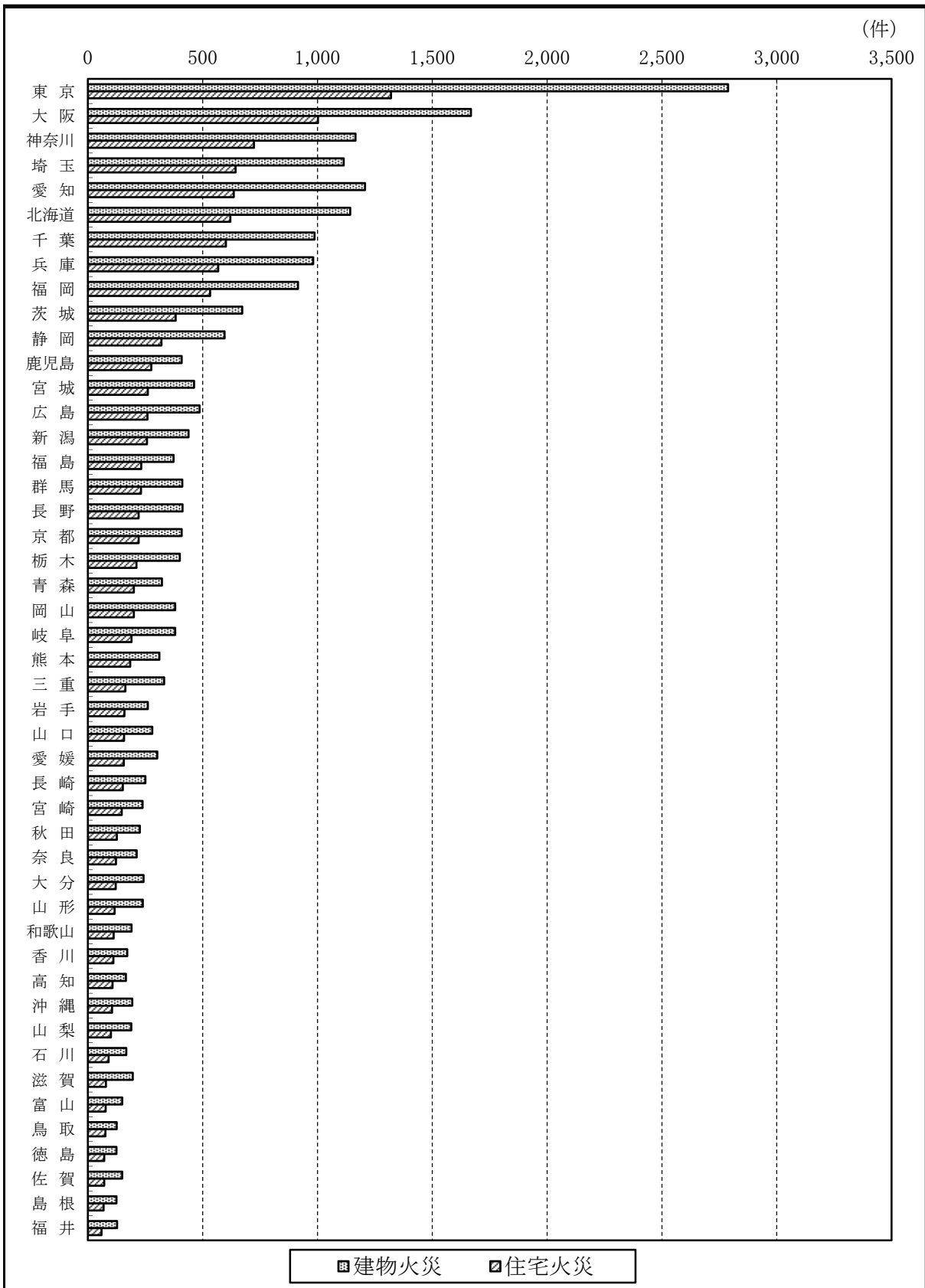
また、10万世帯当たりの住宅火災件数は「鹿児島県(34.8件)」が最も多く、次いで「青森県(34.6件)」、「茨城県(33.4件)」となっている。

都道府県別出火件数(放火を除く)

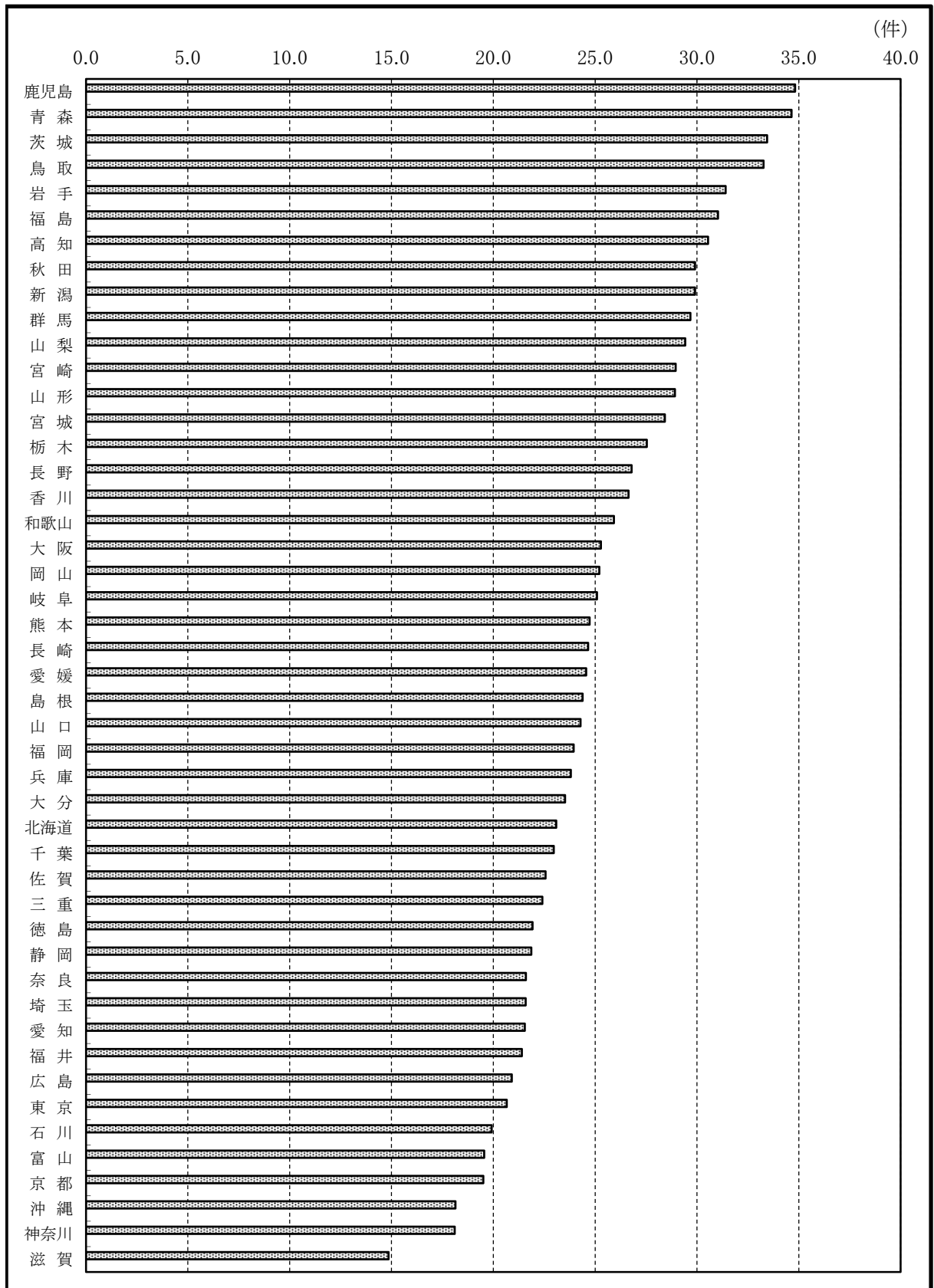
都道府県名	建物火災 (件)	住宅火災(件)				10万世帯当たりの 住宅火災件数	世 帯 数
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅		
北海道	1,142	620	415	171	34	23.1	2,685,761
青森	322	200	166	21	13	34.6	577,351
岩手	261	159	126	18	15	31.4	506,306
宮城	462	261	176	74	11	28.4	918,304
秋田	226	126	104	7	15	29.9	421,338
山形	239	116	84	20	12	28.9	401,201
福島	373	232	202	18	12	31.0	747,619
茨城	672	382	312	44	26	33.4	1,142,271
栃木	400	211	175	22	14	27.5	766,343
群馬	411	231	189	24	18	29.7	778,481
埼玉	1,114	643	424	192	27	21.6	2,978,999
千葉	987	601	402	186	13	23.0	2,616,794
東京	2,788	1,320	581	737	2	20.7	6,390,020
神奈川	1,165	723	375	327	21	18.1	3,993,565
新潟	438	257	224	10	23	29.9	859,516
富山	149	77	64	10	3	19.5	393,868
石川	167	90	56	31	3	19.9	451,929
福井	127	59	47	7	5	21.4	275,683
山梨	189	100	82	9	9	29.4	339,911
長野	412	221	187	25	9	26.8	825,012
岐阜	380	190	151	27	12	25.1	757,371
静岡	595	320	242	65	13	21.9	1,463,726
愛知	1,207	635	376	240	19	21.5	2,947,483
三重	332	163	128	32	3	22.4	727,521
滋賀	195	78	56	20	2	14.9	525,061
京都	408	221	137	78	6	19.5	1,132,893
大阪	1,668	1,002	443	503	56	25.3	3,963,932
兵庫	981	567	334	220	13	23.8	2,381,894
奈良	212	122	101	17	4	21.6	564,867
和歌山	190	112	93	12	7	25.9	432,124
鳥取	125	76	64	7	5	33.3	228,484
島根	124	68	57	9	2	24.4	278,913
岡山	380	200	159	31	10	25.2	793,664
広島	486	259	188	60	11	20.9	1,239,126
山口	280	157	122	31	4	24.3	646,582
徳島	124	71	54	13	4	21.9	323,849
香川	171	111	93	16	2	26.6	416,706
愛媛	302	156	124	22	10	24.6	635,273
高知	165	107	85	12	10	30.5	350,332
福岡	915	532	347	173	12	23.9	2,222,103
佐賀	149	71	58	7	6	22.6	314,652
長崎	250	152	117	26	9	24.7	616,491
熊本	311	184	138	31	15	24.7	744,226
大分	242	121	95	21	5	23.5	514,432
宮崎	238	147	125	17	5	29.0	507,719
鹿児島	408	276	223	36	17	34.8	792,803
沖縄	193	105	55	44	6	18.1	578,976
合計	23,075	12,832	8,556	3,723	553	23.7	54,171,475

(* 世帯数は平成24年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。

都道府県別出火件数(放火を除く)



都道府県別10万世帯当たりの住宅火災件数(放火を除く)



3 住宅火災による死者数

(1) 建物火災による死者のうち住宅火災による死者数

建物火災による死者数(放火自殺者等を除く。)は1,168人(前年比9人減)で、このうち住宅火災による死者数は1,016人(前年比54人減)(87.0%)(前年90.9%)である。

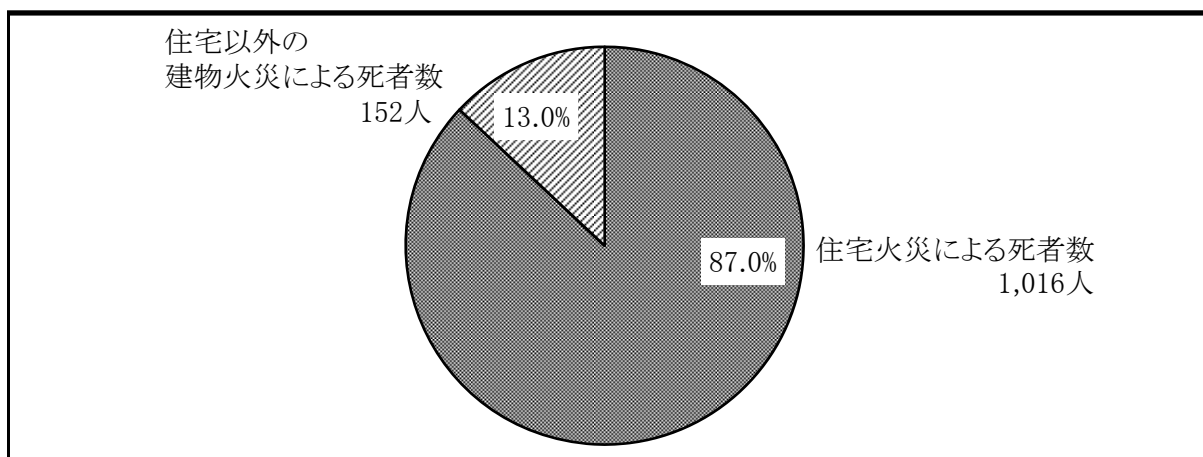
また、住宅火災による死者のうち806人(前年比45人減)(79.3%)(前年79.5%)は一般住宅において発生している。

建物火災の死者のうち住宅火災による死者数(放火自殺者等を除く)

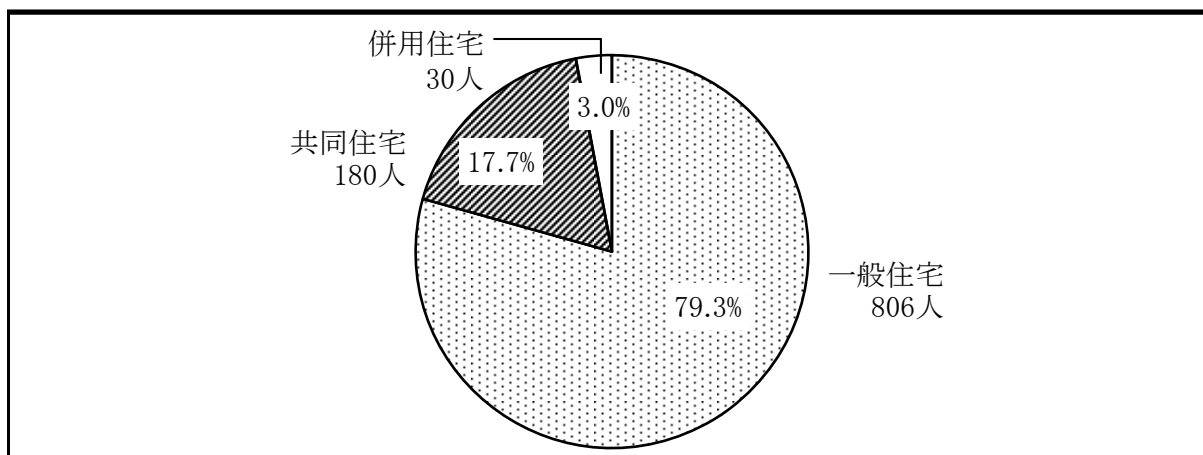
建物火災による死者数(人)	住宅火災による死者数(人)				住宅以外の建物火災による死者数(人)
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
1,168	1,016	806	180	30	152
100.0%	87.0%	[79.3%]	[17.7%]	[3.0%]	13.0%

(* []は、住宅火災による死者数(1,016人)に占める割合)

建物火災による死者発生状況(放火自殺者等を除く)



住宅形態別の死者発生状況(放火自殺者等を除く)



(2) 発火源別死者数

死者の発生した住宅火災の発火源は、「たばこ」によるもの158人(15.6%)、「ストーブ」によるもの119人(11.7%)、「こんろ」によるもの68人(6.7%)である。また、65歳以上の高齢者については「たばこ」によるもの93人(13.7%)、「ストーブ」によるもの90人(13.3%)、次いで「電気器具類」によるもの49人(7.2%)となっている。

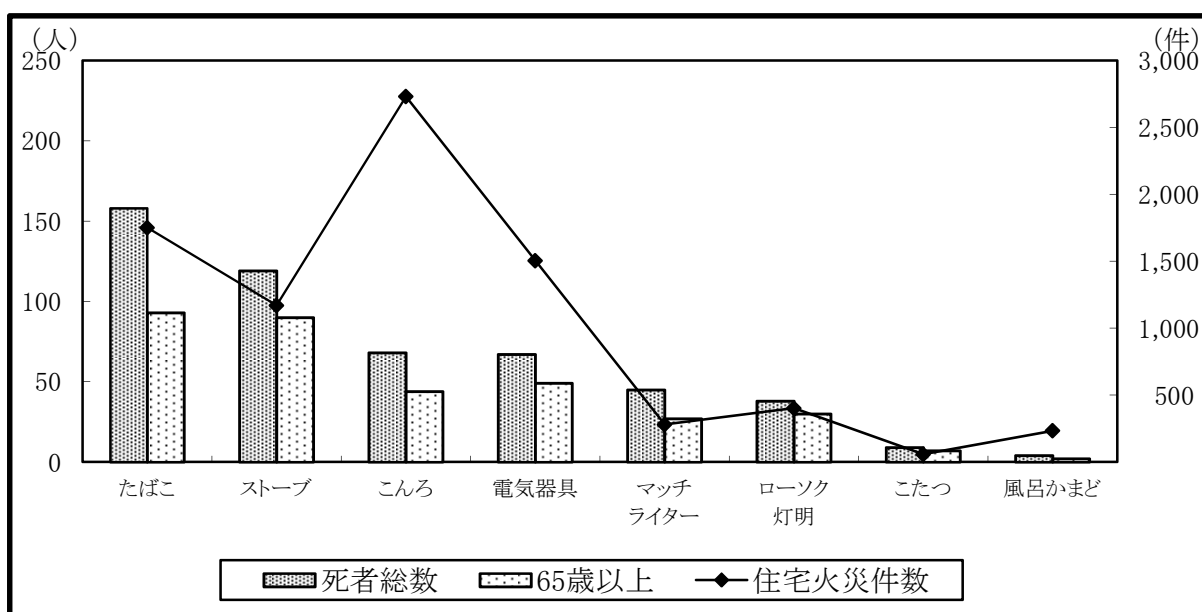
住宅火災の件数との関連をみると、「風呂かまど」は火災件数の割に死者数が少なくなっている。

発火源をエネルギー別にみると、「ストーブ」にあつては「石油」によるもの58人(48.7%)、「電気」によるもの56人(47.1%)で9割以上(95.8%)を占めている。また、「こんろ」にあつては、「ガス」が48人(70.6%)と最も多く、次いで「電気」の6人(8.8%)となっている。

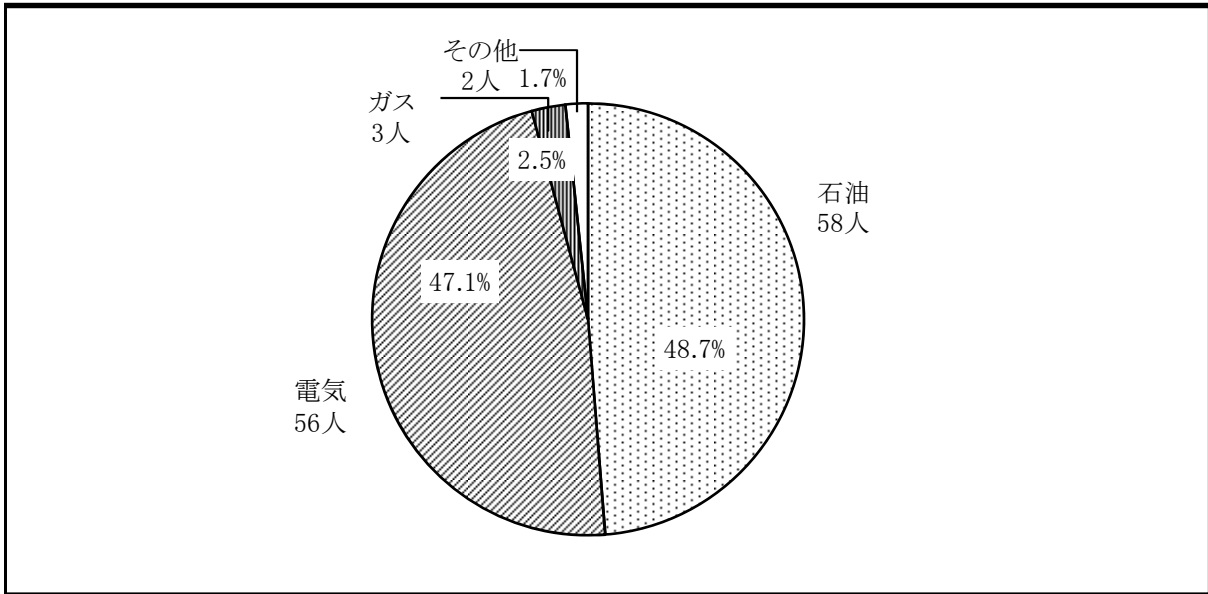
発火源別死者数(放火自殺者等を除く)

発火源	年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明	住宅火災 件数
たばこ		158	1	64	93		1,750
ストーブ		119		29	90		1,169
こんろ		68		23	44	1	2,730
電気器具類		67	1	17	49		1,504
マッチ・ライター		45	2	16	27		280
ローソク・灯明		38		8	30		402
こたつ		9		2	7		58
風呂かまど		4		2	2		234
その他		49		15	34		2,835
不明		459	6	151	301	1	1,870
合計		1,016	10	327	677	2	12,832

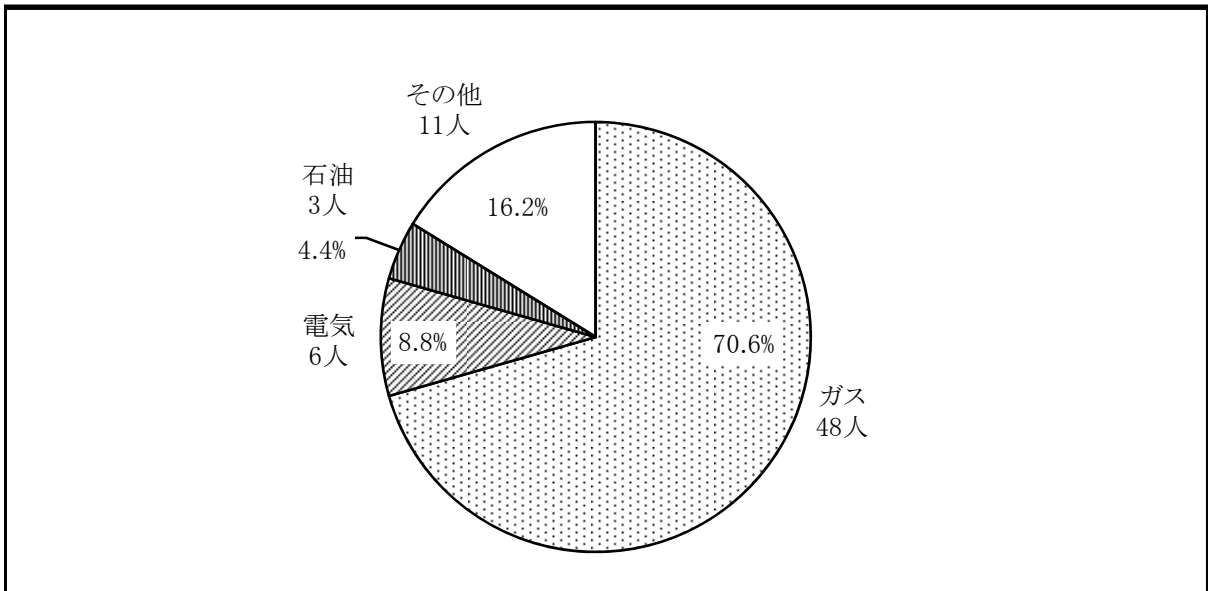
発火源別死者数(放火自殺者等を除く)



ストーブのエネルギー別死者数(放火自殺者等を除く)



こんろのエネルギー別死者数(放火自殺者等を除く)



(3) 着火物別死者数

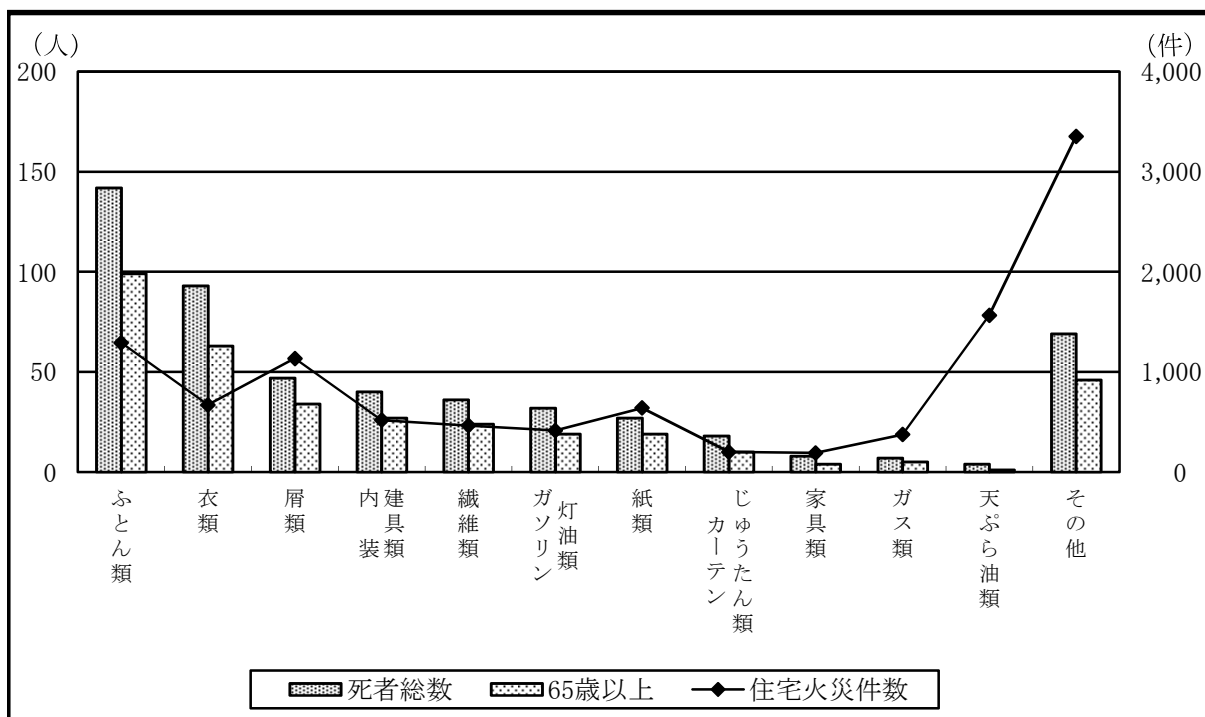
死者の発生した住宅火災の着火物は、多いものから順に「ふとん類」が142人(14.0%)、次いで「衣類」93人(9.2%)と前年と同じ順になっている。

住宅火災の件数との関連をみると、「天ぷら油類」は火災件数の割に死者数が少なくなっているが、「衣類」は多くなっている。

着火物別死者数(放火自殺者等を除く)

着火物	年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明	住宅火災 件数
ふとん類		142	3	40	99		1,290
衣類		93		30	63		669
屑類		47		13	34		1,133
内装・建具類		40		13	27		518
繊維類		36		12	24		463
ガソリン・灯油類		32		13	19		414
紙類		27		8	19		640
カーテン・じゅうたん類		18	1	7	10		199
家具類		8		4	4		190
ガス類		7		2	5		374
天ぷら油類		4		3	1		1,565
その他		69		22	46	1	3,352
不明		493	6	160	326	1	2,025
合計		1,016	10	327	677	2	12,832

着火物別死者数(放火自殺者等を除く)



(* 着火物の不明は除く)

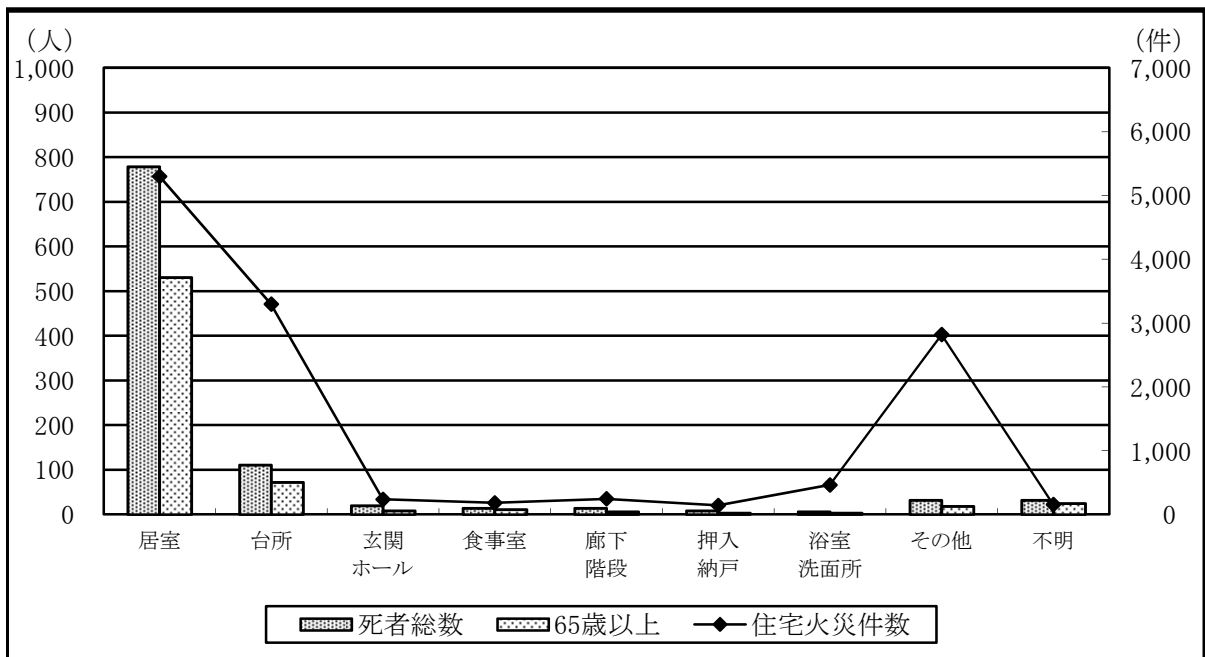
(4) 出火箇所別死者数

死者の発生した住宅火災のうち出火箇所として多いのは「居室」で、779人(前年比47人減)(76.7%)(前年77.2%)の死者が発生している。また、居室内での死者を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が531人(68.2%)と7割近くを占めている。

出火箇所別死者数(放火自殺者等を除く)

出火箇所	年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明	住宅火災 件数
居室		779	4	244	531		5,298
台所		111	1	37	72	1	3,294
玄関・ホール		20	3	9	8		237
食事室		14	1	2	11		181
廊下・階段		14		8	6		244
押入・納戸		8		5	3		141
浴室・洗面所		6		3	3		463
その他		32	1	13	18		2,819
不明		32		6	25	1	155
合計		1,016	10	327	677	2	12,832

出火箇所別死者数(放火自殺者等を除く)



(5) 建物構造別死者数

死者の発生した住宅火災を建物構造別にみると、前年と同じく「木造建築物」が最も多く712人(前年比65人減)(70.1%)(前年72.6%)となっており、その内486人(前年比42人減)(68.3%)(前年68.0%)が65歳以上の高齢者である。

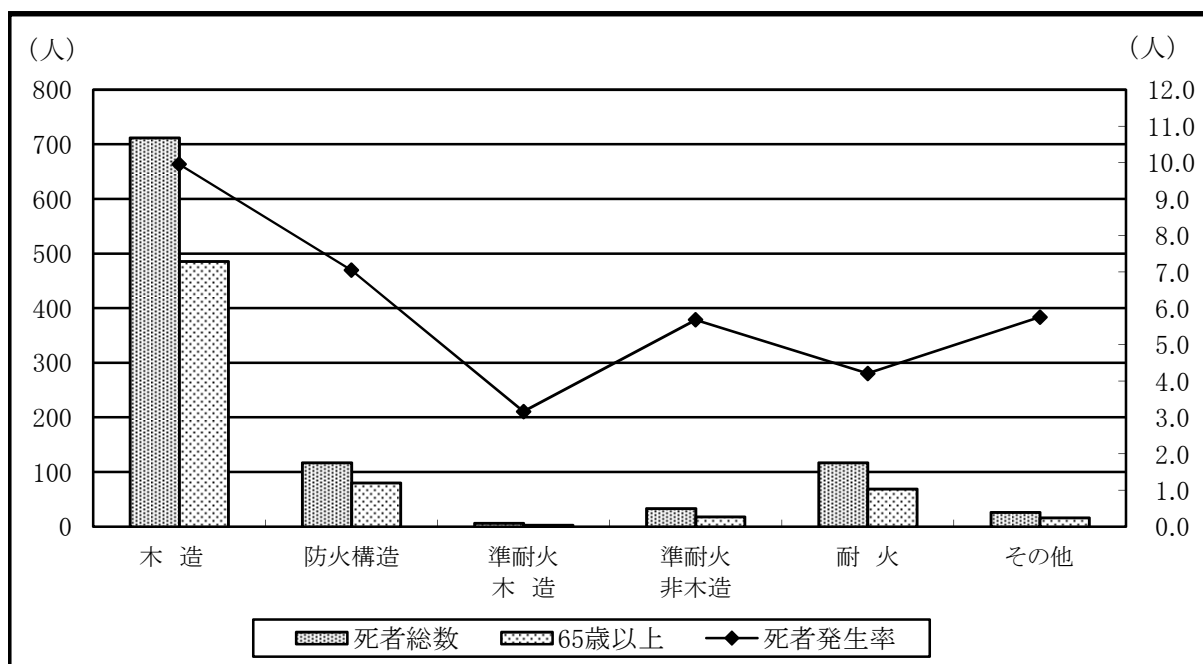
住宅火災100件当たりの死者発生率をみると、「耐火建築物」が3.2人(前年3.8人)に対し、「木造建築物」が10.0人(前年10.2人)と「木造建築物」で火災が発生した場合の死者発生率が高い値を示している。

建物構造別死者数(放火自殺者等を除く)

建物構造	年齢					住宅火災 件数	死者 発生率
	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明		
木造建築物	712	5	220	486	1	7,155	10.0
防火構造建築物	117	2	35	80		1,662	7.0
準耐火木造建築物	6		3	3		190	3.2
準耐火非木造建築物	33	3	12	18		581	5.7
耐火建築物	117		48	69		2,782	4.2
その他	26		9	16	1	452	5.8
不明	5			5		10	50.0
合計	1,016	10	327	677	2	12,832	7.9

(* 死者発生率は、住宅火災100件当たりの死者数を示す。)

建物構造別死者数(放火自殺者等を除く)



(* 建物構造の不明は除く)

(6) 時間帯別死者数

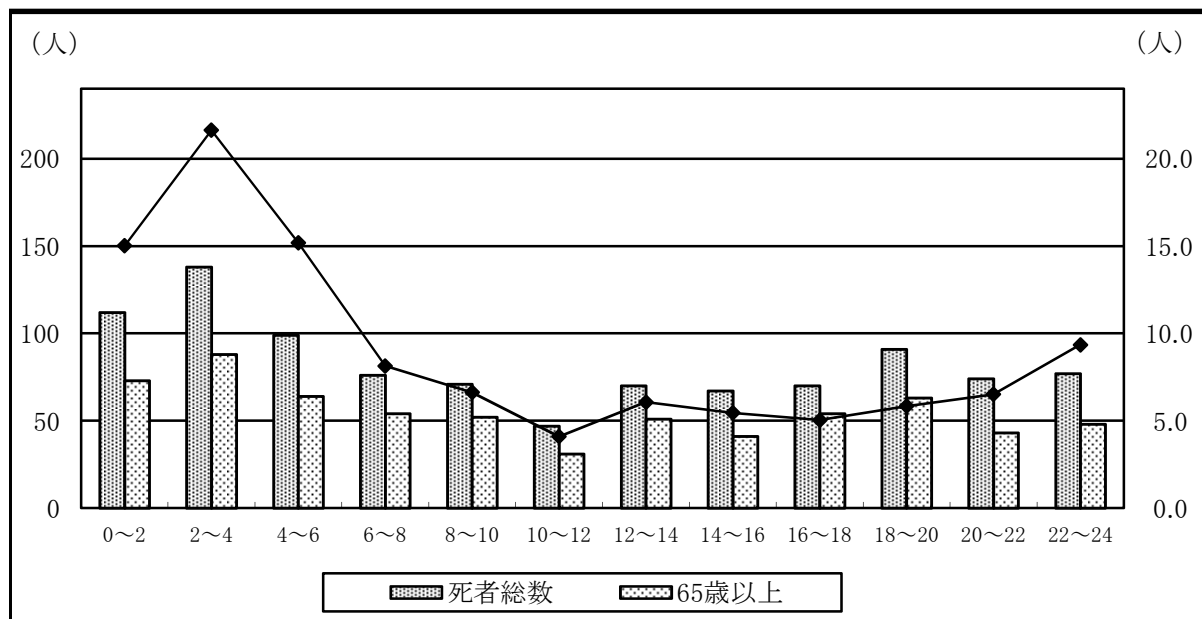
死者の発生した住宅火災を時間帯別にみると、22時から24時と0時から6時の深夜に426人(41.9%)と多くの死者が発生しているが、同時刻の住宅火災の件数は少なくなっており、深夜の死者発生率が高くなっている。

時間帯別死者数(放火自殺者等を除く)

時間帯 \ 年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明	住宅火災 件数	死者 発生率
0 ~ 2	112	2	37	73		746	15.0
2 ~ 4	138	1	48	88	1	638	21.6
4 ~ 6	99	1	34	64		652	15.2
6 ~ 8	76		22	54		934	8.1
8 ~ 10	71	1	18	52		1,072	6.6
10 ~ 12	47		16	31		1,149	4.1
12 ~ 14	70	2	17	51		1,154	6.1
14 ~ 16	67		26	41		1,230	5.4
16 ~ 18	70		16	54		1,389	5.0
18 ~ 20	91	2	25	63	1	1,559	5.8
20 ~ 22	74		31	43		1,136	6.5
22 ~ 24	77	1	28	48		824	9.3
不明	24		9	15		349	6.9
合計	1,016	10	327	677	2	12,832	7.9

(* 死者発生率は、住宅火災100件当たりの死者数を示す。)

時間帯別死者数(放火自殺者等を除く)



(* 時間帯の不明は除く)

(7) 月別死者数

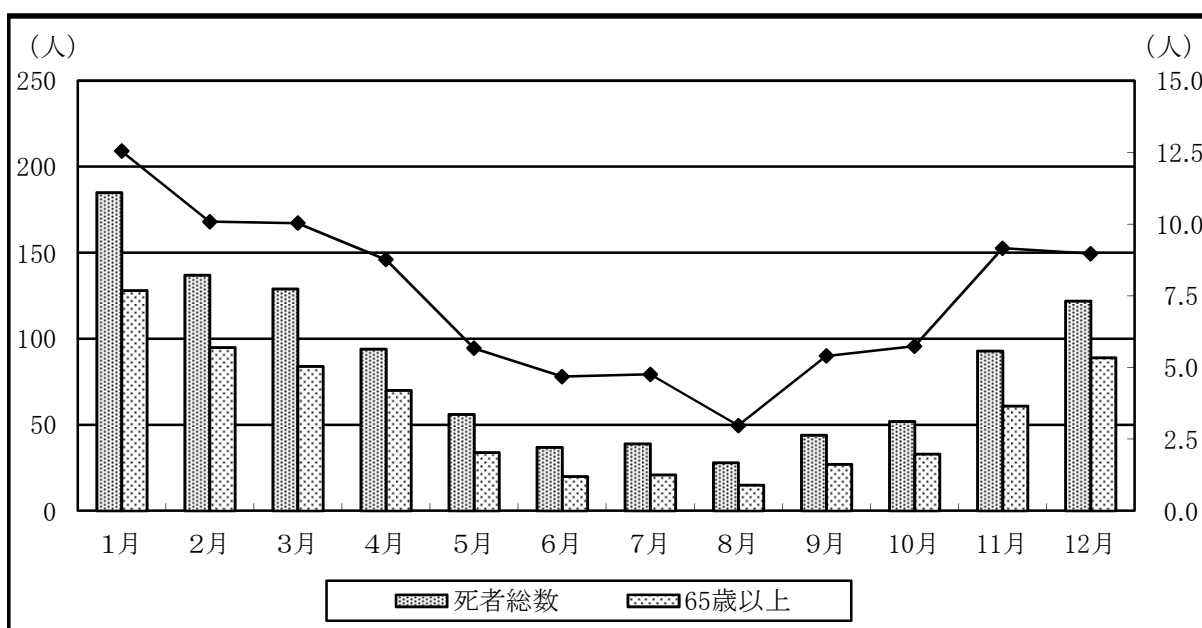
死者の発生した住宅火災を月別にみると、前年と同じく12月から3月までの4ヶ月間に573人(56.4%)と多くの死者が発生している。住宅火災の件数との関連をみると1月から3月までの3ヶ月間は1割以上の死者発生率となっている。

月別死者数(放火自殺者等を除く)

月	年齢					住宅火災 件数	死者 発生率
	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明		
1月	185	1	56	128		1,475	12.5
2月	137	3	39	95		1,359	10.1
3月	129	1	44	84		1,286	10.0
4月	94		24	70		1,073	8.8
5月	56		21	34	1	988	5.7
6月	37	2	15	20		791	4.7
7月	39		18	21		820	4.8
8月	28	1	12	15		942	3.0
9月	44	1	16	27		815	5.4
10月	52	1	18	33		906	5.7
11月	93		31	61	1	1,016	9.2
12月	122		33	89		1,361	9.0
合計	1,016	10	327	677	2	12,832	7.9

(* 死者発生率は、住宅火災100件当たりの死者数を示す。)

月別死者数(放火自殺者等を除く)



(8) 都道府県別死者数

死者の発生した住宅火災を都道府県別にみると、「大阪府(84人)」が最も多く、次いで「東京都(68人)」、「千葉県(54人)」となっている。一方、死者の少ない都道府県は、「徳島県(2人)」、「佐賀県、沖縄県(4人)」となっている。

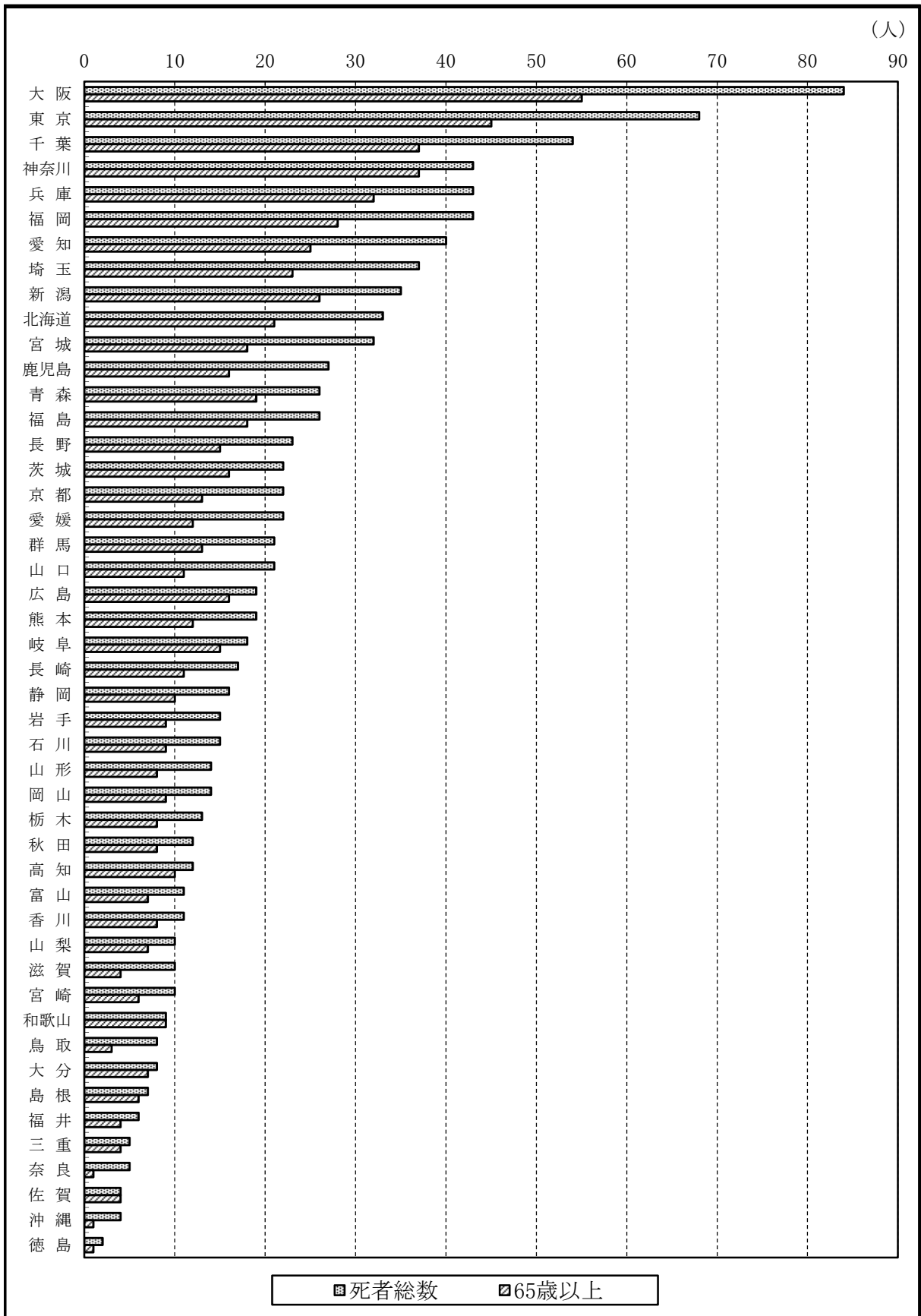
また、人口10万人当たりの死者数をみると、「青森県(1.88人)」が最も多く、次いで「鹿児島県(1.58人)」、「高知県(1.58人)」となっている。

都道府県別死者数(放火自殺者等を除く)

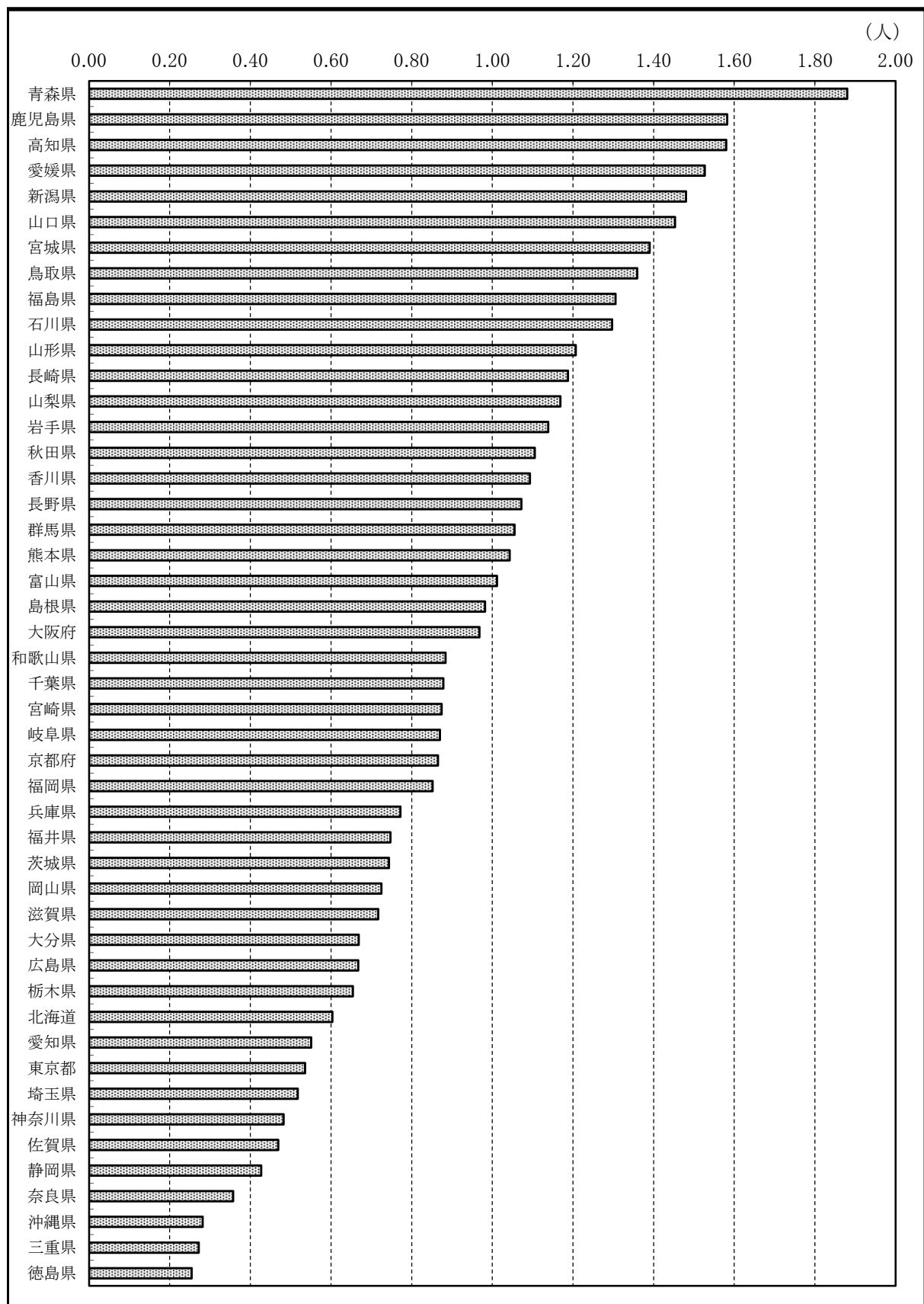
都道府県名	年齢				不明	人口10万人当たりの死者数	人口
	死者数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上			
北海道	33		12	21		0.60	5,474,216
青森	26		7	19		1.88	1,383,043
岩手	15		6	9		1.14	1,317,795
宮城	32		14	18		1.39	2,302,706
秋田	12		4	8		1.10	1,086,018
山形	14	1	5	8		1.21	1,160,204
福島	26		8	18		1.31	1,991,865
茨城	22		6	16		0.74	2,960,010
栃木	13		5	8		0.65	1,988,755
群馬	21	2	6	13		1.05	1,990,944
埼玉	37		14	23		0.52	7,149,503
千葉	54		15	37	2	0.88	6,147,619
東京	68	3	20	45		0.54	12,699,271
神奈川	43		6	37		0.48	8,917,368
新潟	35		9	26		1.48	2,364,632
富山	11		4	7		1.01	1,087,544
石川	15		6	9		1.30	1,156,730
福井	6		2	4		0.75	803,180
山梨	10		3	7		1.17	855,746
長野	23		8	15		1.07	2,145,962
岐阜	18		3	15		0.87	2,068,942
静岡	16	1	5	10		0.43	3,750,571
愛知	40		15	25		0.55	7,263,173
三重	5		1	4		0.27	1,838,613
滋賀	10		6	4		0.72	1,394,472
京都	22		9	13		0.87	2,542,740
大阪	84	3	26	55		0.97	8,679,933
兵庫	43		11	32		0.77	5,572,405
奈良	5		4	1		0.36	1,401,243
和歌山	9			9		0.88	1,018,668
鳥取	8		5	3		1.36	588,715
島根	7		1	6		0.98	713,056
岡山	14		5	9		0.72	1,931,586
広島	19		3	16		0.67	2,846,680
山口	21		10	11		1.45	1,445,473
徳島	2		1	1		0.25	786,640
香川	11		3	8		1.09	1,006,488
愛媛	22		10	12		1.53	1,441,291
高知	12		2	10		1.58	759,680
福岡	43		15	28		0.85	5,049,457
佐賀	4			4		0.47	853,363
長崎	17		6	11		1.19	1,431,485
熊本	19		7	12		1.04	1,822,331
大分	8		1	7		0.67	1,196,804
宮崎	10		4	6		0.87	1,143,744
鹿児島	27		11	16		1.58	1,706,081
沖縄	4		3	1		0.28	1,422,938
合計	1,016	10	327	677	2	0.80	126,659,683

(* 人口は平成24年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。)

都道府県別死者数(放火自殺者等を除く)



都道府県別人口10万人当たりの死者数(放火自殺者等を除く)



(9) 年齢別死者数

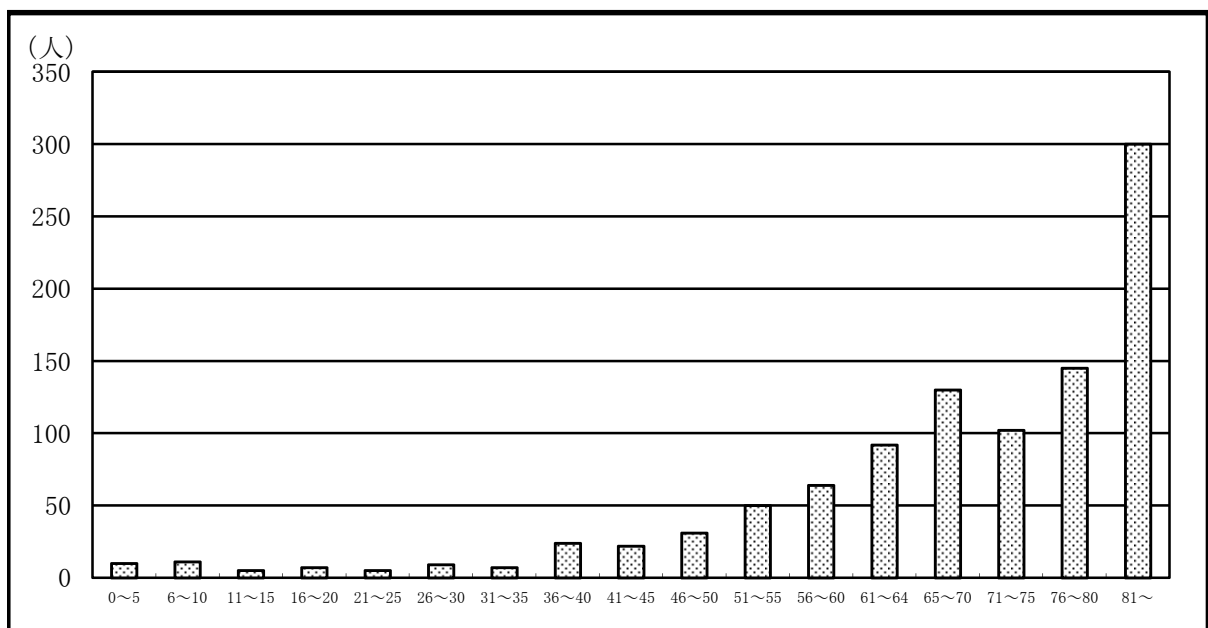
住宅火災における年齢別の死者は高齢者に多くみられ、65歳以上の高齢者の死者(677人)(前年比34人減)は全体の66.6%(前年66.4%)を占めている。

また、人口10万人当たりの死者数についても、同様の傾向がみられる。

年齢別死者数(放火自殺者等を除く)

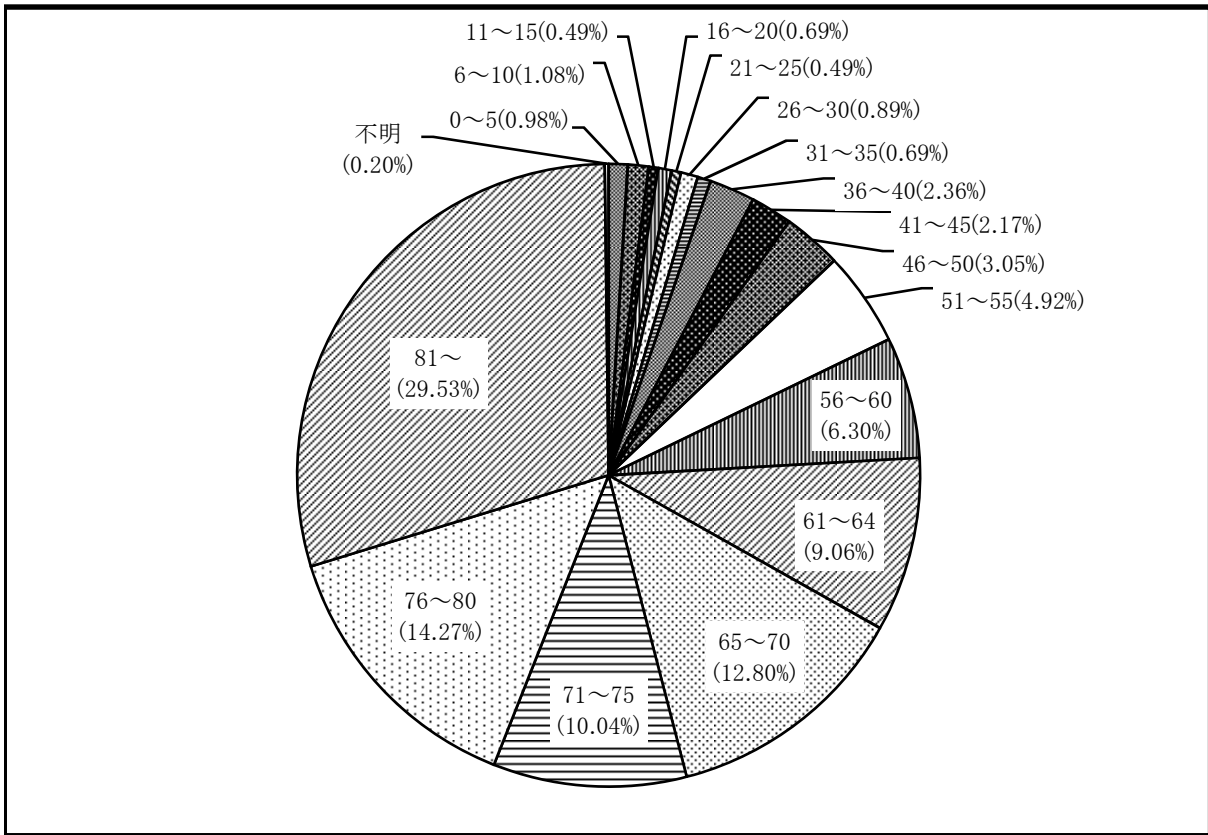
年 齢	死者数 (人)	比率 (%)	人口10万人当たり の死者数(人)
0 ～ 5	10	0.98	0.16
6 ～ 10	11	1.08	0.20
11 ～ 15	5	0.49	0.08
16 ～ 20	7	0.69	0.11
21 ～ 25	5	0.49	0.08
26 ～ 30	9	0.89	0.13
31 ～ 35	7	0.69	0.09
36 ～ 40	24	2.36	0.25
41 ～ 45	22	2.17	0.24
46 ～ 50	31	3.05	0.39
51 ～ 55	50	4.92	0.66
56 ～ 60	64	6.30	0.77
61 ～ 64	92	9.06	1.09
65 ～ 70	130	12.80	1.31
71 ～ 75	102	10.04	1.44
76 ～ 80	145	14.27	2.43
81 ～	300	29.53	3.82
不 明	2	0.20	—
合 計	1,016	100.0	—

年齢別死者数(放火自殺者等を除く)

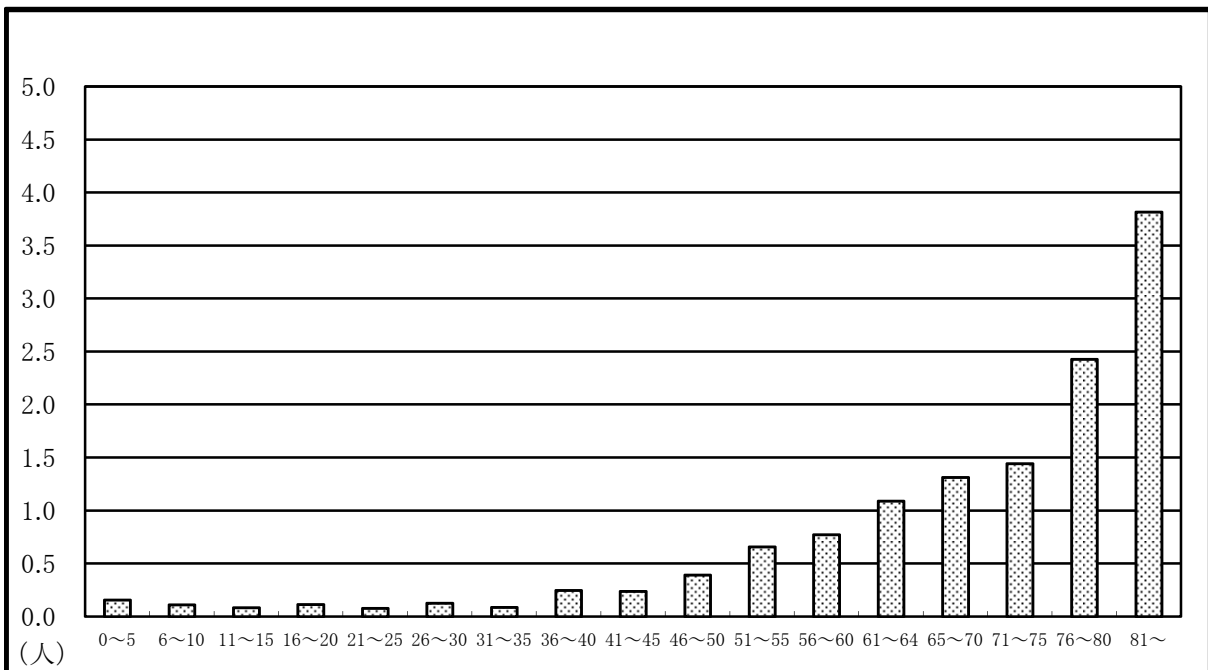


(* 年齢の不明は除く)

年齢別死者数(放火自殺者等を除く)



年齢別人口10万人当たりの死者数(放火自殺者等を除く)



(*年齢の不明は除く)

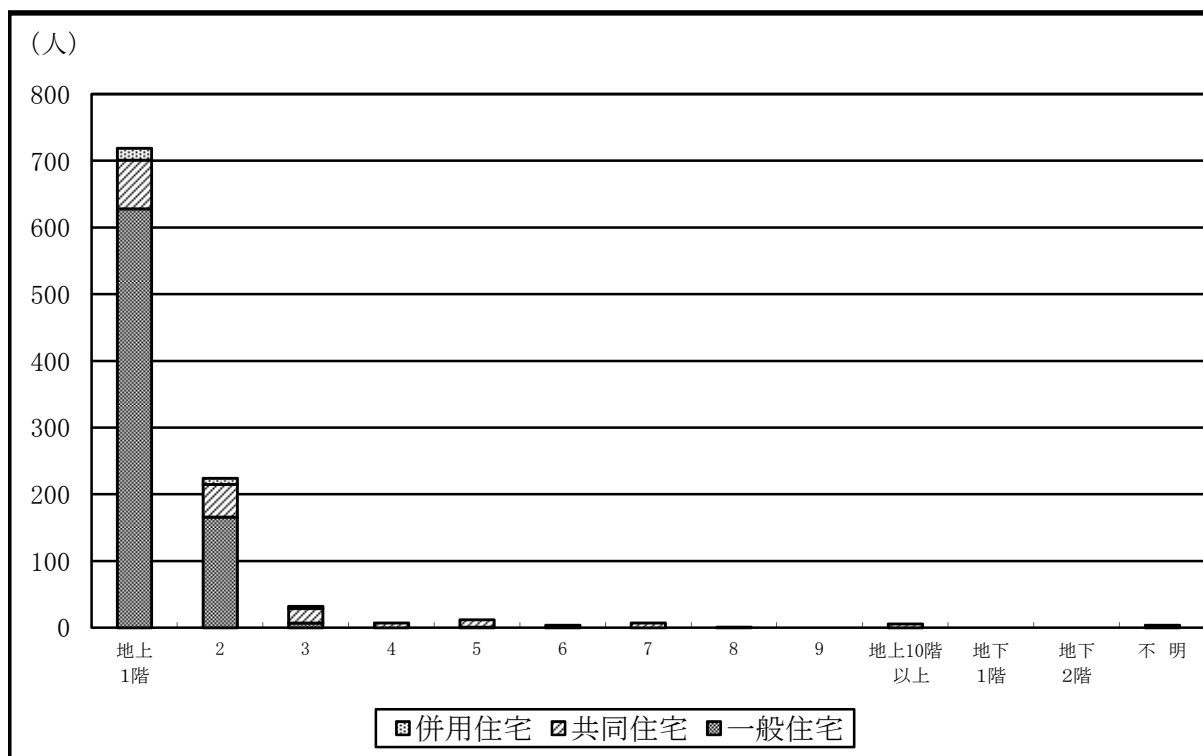
(10) 階別死者数

住宅火災における階別の死者数は、「1階」と「2階」で全体の92.8%(前年94.6%)に当たる943人(前年比69人減)となっている。

階別死者数(放火自殺者等を除く)

階数	区分	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
地上1階		719	628	73	18
2		224	166	49	9
3		32	7	22	3
4		7		7	
5		12	1	11	
6		4		4	
7		7		7	
8		1		1	
9		0			
地上10階以上		6		6	
地下1階		0			
地下2階		0			
不明		4	4		
合計		1,016	806	180	30

階別死者数(放火自殺者等を除く)



(11) 死に至った経過別死者数(年齢別)

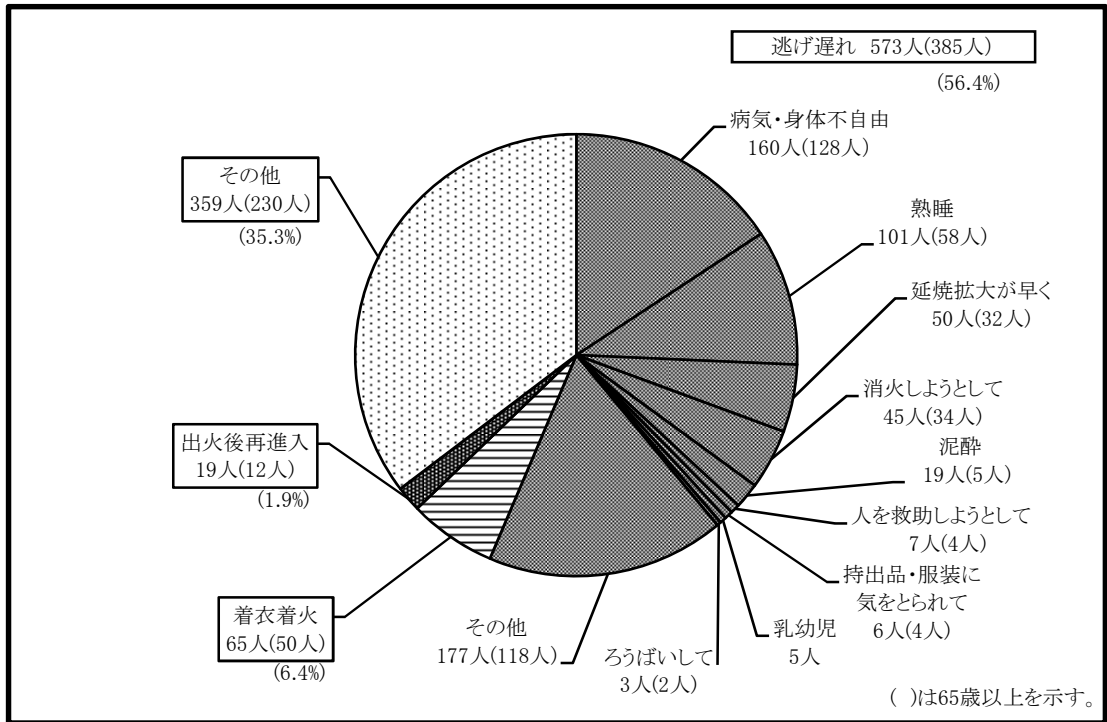
住宅火災での死者数を経過別にみると、「逃げ遅れ」が573人(前年比5人減)(56.3%)(前年54.0%)と最も多く、以下「着衣着火」が65人(前年比11人増)(6.4%)(前年5.0%)、「出火後再進入」が19人(前年比1人減)(1.9%)(前年1.9%)と前年と同じ順になっている。

また、「着衣着火」での死者には65歳以上の高齢者が多く、65人中50人(76.9%)(前年54人中43人(79.6%))となっている。

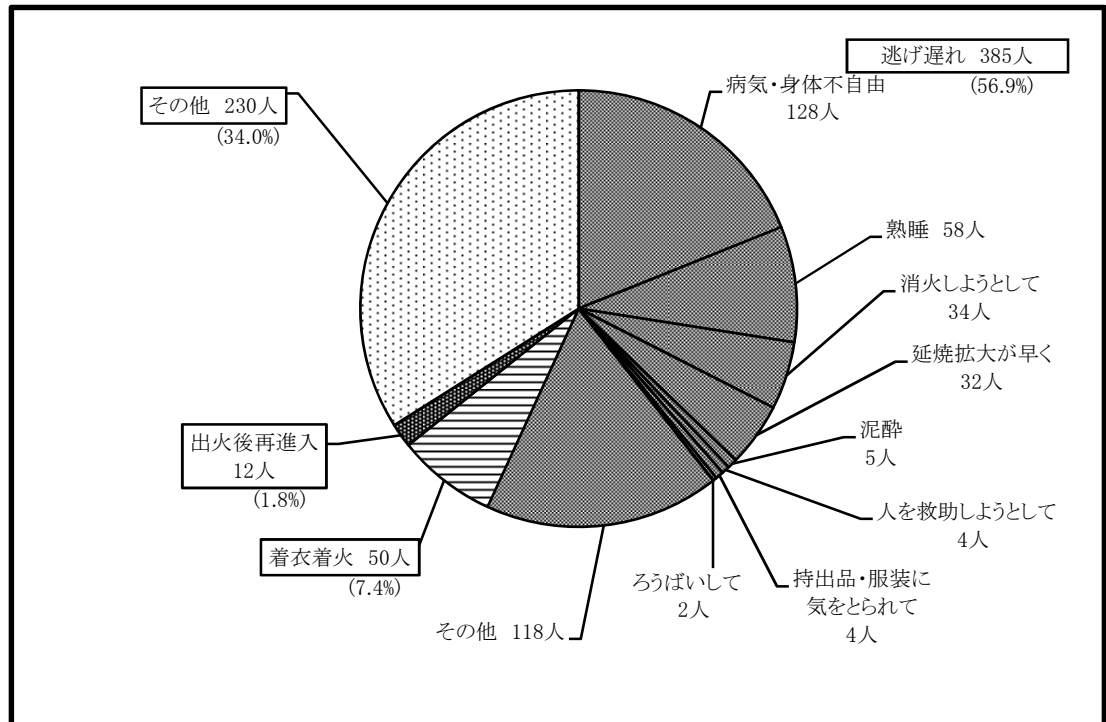
死に至った経過別死者数

区 分		5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不 明	計 (%)		
逃げ遅れ	発見が遅れ、気付いた時は火煙が回り、既に逃げ道がなかったと思われるもの(全く気付かなかった場合を含む)	熟睡	3	40	58	101	208 (20.5)	
		泥酔		9	4	13		
		病気・身体不自由		3	23	26		
		その他	1	22	45	68		
	判断力に欠け、あるいは、体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの	乳幼児	5				5	92 (9.1)
		泥酔		5	1		6	
		病気・身体不自由		14	39		53	
		老衰			7		7	
	延焼拡大が速かった等のため、ほとんど避難ができなかったと思われるもの	ガス爆発のため		1			1	11 (1.1)
		危険物燃焼のため		1	1		2	
その他			1	7		8		
逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの	ろうばいして		1	2		3	74 (7.3)	
	持出品・服装に気をとられて		2	4		6		
	火災をふれ回っているうち		1			1		
	消火しようとして		11	34		45		
	人を救助しようとして		3	4		7		
避難行動を起こしているが逃げ切れなかったと思われるもの(一応自力避難したが、避難中、火傷、ガス吸引により、病院等で死亡した場合を含む)	身体不自由のため		15	66		81	188 (18.5)	
	延焼拡大が早く		18	32		50		
	逃げ道を間違えて		4	4		8		
	出入口施錠のため		1	4		5		
出火後再進入	救助・物品搬出のため		1	7		8	19 (1.9)	
	消火のため		1	2		3		
	その他		5	3		8		
着衣着火	着衣着火し、火傷(熱傷)あるいはガス中毒により死亡したと思われるもの	喫煙中		3	1		4	65 (6.4)
		炊事中			12		12	
		採暖中		4	7		11	
		たき火中			1		1	
		火遊び					0	
		その他火気取扱中		4	15		19	
		その他		4	14		18	
その他	上記以外の経過等		5	13		18	359 (35.3)	
	不明・調査中	1	121	217	2	341		
合 計		10	327	677	2	1,016		

死に至った経過別死者発生状況(放火自殺者等を除く)



65歳以上の死に至った経過別死者発生状況(放火自殺者等を除く)



(12) 死に至った経過別死者数(タイプ別)

次のページは、高齢者、乳幼児及び病気・身体不自由者等と健常者とを次のようなタイプ(1~6)に分類し、死に至った経過を分析したもので、行動制約度が高いほど死者発生数が多いことがわかる。

- ①タイプ1 ; 補助手薄な自力避難困難者
- ②タイプ2 ; 補助手薄な行動制約者
- ③タイプ3 ; 補助手薄でない自力避難困難者
- ④タイプ4 ; 補助手薄でない行動制約者
- ⑤タイプ5 ; 補助手薄な健常者
- ⑥タイプ6 ; 補助手薄でない健常者

家族それぞれの火災時の対応能力を次の様に分類する。

自力避難困難者 ; 火災時に自力で避難することが困難と思われる、寝たきりの人、歩行不可能な人、歩行困難な人、5歳以下の乳幼児又はこれらに準ずる人をいう。

補助手薄 ; 補助可能者と同居していないか、又は同居していても一人になる時間が多い等のため火災時に補助可能者の手助けが期待できない状態をいう。

補助可能者 ; 12歳以上65歳未満で火災時に初期消火、通報、避難補助等を的確に行うことができる人をいう。

高齢者 ; 65歳以上の人をいう。

行動制約者 ; 火災時に自分だけは何とか避難できるが、初期消火、通報、避難補助等が困難と思われる人で、歩行以外の身体障害のある人、高齢者又はこれに準ずる人をいう。

健常者 ; 自力避難困難者又は行動制約者以外の人をいう。

死に至った経過別死者(タイプ別)

区 分		1	2	3	4	5	6	計(%)		
逃げ遅れ	発見が遅れ、気付いた時は火煙が回り、既に逃げ道がなかったと思われるもの(全く気付かなかった場合を含む)	熟睡	7	28	11	25	18	12	101	208 (20.5)
		泥酔	3	2	1	2	3	2	13	
		病気・身体不自由	14	4	6	2			26	
		その他	8	25	4	16	7	8	68	
判断力に欠け、あるいは、体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの		乳幼児	1		4				5	92 (9.1)
		泥酔	1	1			3	1	6	
		病気・身体不自由	22	5	22	3		1	53	
		老衰	2	2	2	1			7	
		その他	2	6	4	3	3	3	21	
延焼拡大が速かった等のため、ほとんど避難ができなかったと思われるもの		ガス爆発のため					1		1	11 (1.1)
		危険物燃焼のため		1				1	2	
		その他		3		4		1	8	
逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの		ろうばいして	1	1			1		3	74 (7.3)
		持出品・服装に気をとられて	1	1		2		2	6	
		火災をふれ回っているうち	3					1	4	
		消火しようとして		14		21	4	3	42	
		人を救助しようとして				4		3	7	
		その他		3	1	5	1	2	12	
避難行動を起こしているが逃げ切れなかったと思われるもの(一応自力避難したが、避難中、火傷、ガス吸引により、病院等で死亡した場合を含む)		身体不自由のため	39	7	35				81	188 (18.5)
		延焼拡大が早く	1	11	2	22	3	12	51	
		逃げ道を間違えて		1	1	2		3	7	
		出入口施錠のため		3		2			5	
		その他	4	14	3	10	10	3	44	
出火後再進入	いったん屋外へ避難後、再進入したと思われるもの。出火時屋外にいて出火後進入したものと思	救助・物品搬出のため		1		6		1	8	19 (1.9)
		消火のため		1	1	1			3	
		その他		3		1		4	8	
着衣着火	着衣着火し、火傷(熱傷)あるいはガス中毒により死亡したと思われるもの	喫煙中	3			1			4	65 (6.4)
		炊事中	2	5		5			12	
		採暖中	6	2	1	1	1		11	
		たき火中	1						1	
		火遊び	5						5	
		その他火気取扱中	4	8	2	2	2		18	
		その他		5	3	4		2	14	
		上記以外の経過等	5	7		3	2	1	18	
不明・調査中	39	123	28	75	46	30	341			
合 計		174	287	131	223	105	96	1,016		

(13) 発火源と出火箇所の関係

死者の発生した住宅火災における発火源と出火箇所の関係をみると、出火箇所が「居室」で発火源が「たばこ」での死者数が154人(15.2%)、「居室とストーブ」が99人(9.7%)となっている。

発火源 出火箇所	たばこ	ストーブ	こんろ	電気器具	ライター	ロケット	灯明ソク	こたつ	風呂かまど	その他	不明	合計
居室	154 (15.2)	99 (9.7)	32 (3.1)	50 (4.9)	35 (3.4)	32 (3.1)	9 (0.9)	-	29 (2.9)	339 (33.4)	779 (76.7)	
台所	2 (0.2)	12 (1.2)	32 (3.1)	12 (1.2)	2 (0.2)	3 (0.3)	-	1 (0.1)	4 (0.4)	43 (4.2)	111 (10.9)	
玄関・ホール	-	1 (0.1)	1 (0.1)	-	2 (0.2)	1 (0.1)	-	-	1 (0.1)	14 (1.4)	20 (2.0)	
廊下・階段	-	1 (0.1)	-	-	3 (0.3)	-	-	-	-	10 (1.0)	14 (1.4)	
食事室	-	2 (0.2)	2 (0.2)	-	-	-	-	-	1 (0.1)	9 (0.9)	14 (1.4)	
押入・納戸	1 (0.1)	-	-	1 (0.1)	1 (0.1)	2 (0.2)	-	-	-	3 (0.3)	8 (0.8)	
浴室・洗面所	-	-	-	-	-	-	-	2 (0.2)	1 (0.1)	3 (0.3)	6 (0.6)	
その他	1 (0.1)	3 (0.3)	1 (0.1)	4 (0.4)	2 (0.2)	-	-	1 (0.1)	10 (1.0)	10 (1.0)	32 (3.1)	
不明	-	1 (0.1)	-	-	-	-	-	-	3 (0.3)	28 (2.8)	32 (3.1)	
合計	158 (15.6)	119 (11.7)	68 (6.7)	67 (6.6)	45 (4.4)	38 (3.7)	9 (0.9)	4 (0.4)	49 (4.8)	459 (45.2)	1,016 (100.0)	

(* ()内は死者全体に対する割合である。)

(14) 発火源と着火物の関係

死者の発生した住宅火災における発火源と着火物の関係をみると、発火源が「たばこ」で着火物が「ふとん類」での死者が68人(6.7%)、「ストーブとふとん類」の33人(3.2%)、「こんろと衣類」の27人(2.7%)の順となっている。

発火源 着火物	たばこ	ストーブ	こんろ	電気器具	ライター	ロソク	灯明	こたつ	風呂かまど	その他	不明	合計
ふとん類	68 (6.7)	33 (3.2)	1 (0.1)	5 (0.5)	12 (1.2)	4 (0.4)	1 (0.1)	0	8 (0.8)	10 (1.0)	142 (14.0)	
衣類	7 (0.7)	23 (2.3)	27 (2.7)	2 (0.2)	7 (0.7)	13 (1.3)	3 (0.3)	2 (0.2)	4 (0.4)	5 (0.5)	93 (9.2)	
屑類	24 (2.4)	2 (0.2)	3 (0.3)	4 (0.4)	4 (0.4)	1 (0.1)	0	0	7 (0.7)	2 (0.2)	47 (4.6)	
内装・建具類	15 (1.5)	0	4 (0.4)	12 (1.2)	0	1 (0.1)	0	1 (0.1)	5 (0.5)	2 (0.2)	40 (3.9)	
繊維類	11 (1.1)	8 (0.8)	2 (0.2)	5 (0.5)	2 (0.2)	1 (0.1)	1 (0.1)	0	2 (0.2)	4 (0.4)	36 (3.5)	
ガソリン・灯油類	0	20 (2.0)	0	0	7 (0.7)	0	0	1 (0.1)	0	4 (0.4)	32 (3.1)	
紙類	6 (0.6)	0	3 (0.3)	3 (0.3)	5 (0.5)	6 (0.6)	1 (0.1)	0	1 (0.1)	2 (0.2)	27 (2.7)	
カーテン じゅうたん類	3 (0.3)	3 (0.3)	1 (0.1)	4 (0.4)	1 (0.1)	2 (0.2)	1 (0.1)	0	3 (0.3)	0	18 (1.8)	
家具類	2 (0.2)	1 (0.1)	2 (0.2)	1 (0.1)	0	1 (0.1)	0	0	1 (0.1)	0	8 (0.8)	
ガス類	0	1 (0.1)	3 (0.3)	0	1 (0.1)	0	0	0	0	2 (0.2)	7 (0.7)	
天ぷら油類	0	0	4 (0.4)	0	0	0	0	0	0	0	4 (0.4)	
その他	2 (0.2)	9 (0.9)	8 (0.8)	28 (2.8)	3 (0.3)	2 (0.2)	0	0	14 (1.4)	3 (0.3)	69 (6.8)	
不明	20 (2.0)	19 (1.9)	10 (1.0)	3 (0.3)	3 (0.3)	7 (0.7)	2 (0.2)	0	4 (0.4)	425 (41.8)	493 (48.5)	
合計	158 (15.6)	119 (11.7)	68 (6.7)	67 (6.6)	45 (4.4)	38 (3.7)	9 (0.9)	4 (0.4)	49 (4.8)	459 (45.2)	1,016 (100.0)	

(* ()内は死者全体に対する割合である。)

(15) 出火箇所と着火物の関係

死者の発生した住宅火災における出火箇所と着火物の関係をみると、出火箇所が「居室」で着火物が「ふとん類」が138人(13.6%)、「居室と衣類」が65人(6.4%)、「居室と屑類」が37人(3.6%)となっている。

出火箇所 \ 着火物	居室	台所	玄関・ホール	廊下・階段	食事室	押入・納戸	浴室・洗面所	その他	不明	合計
ふとん類	138 (13.6)	0 -	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	0 -	0 -	0 -	142 (14.0)
衣類	65 (6.4)	16 (1.6)	4 (0.4)	1 (0.1)	3 (0.3)	0 -	2 (0.2)	2 (0.2)	0 -	93 (9.2)
屑類	37 (3.6)	6 (0.6)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	3 (0.3)	1 (0.1)	47 (4.6)
内装・建具類	27 (2.7)	6 (0.6)	0 -	0 -	0 -	0 -	1 (0.1)	6 (0.6)	0 -	40 (3.9)
繊維類	28 (2.8)	5 (0.5)	0 -	0 -	2 (0.2)	0 -	0 -	1 (0.1)	0 -	36 (3.5)
ガソリン・灯油類	20 (2.0)	6 (0.6)	1 (0.1)	0 -	1 (0.1)	0 -	0 -	4 (0.4)	0 -	32 (3.1)
紙類	21 (2.1)	1 (0.1)	0 -	2 (0.2)	0 -	2 (0.2)	0 -	1 (0.1)	0 -	27 (2.7)
カーテン じゅうたん類	16 (1.6)	2 (0.2)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	18 (1.8)
家具類	6 (0.6)	2 (0.2)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	8 (0.8)
ガス類	2 (0.2)	5 (0.5)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	7 (0.7)
天ぷら油類	0 -	3 (0.3)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 (0.1)	0 -	4 (0.4)
その他	48 (4.7)	12 (1.2)	1 (0.1)	1 (0.1)	0 -	1 (0.1)	0 -	4 (0.4)	2 (0.2)	69 (6.8)
不明	371 (36.5)	47 (4.6)	13 (1.3)	9 (0.9)	7 (0.7)	4 (0.4)	3 (0.3)	10 (1.0)	29 (2.9)	493 (48.5)
合計	779 (76.7)	111 (10.9)	20 (2.0)	14 (1.4)	14 (1.4)	8 (0.8)	6 (0.6)	32 (3.1)	32 (3.1)	1,016 (100.0)

(* ()内は死者全体に対する割合である。)

4 住宅火災による負傷者数

(1) 建物火災による負傷者のうち住宅火災による負傷者数

建物火災による負傷者数(放火を除く。)は5,482人(前年比316人減)で、このうち住宅火災による負傷者は3,821人(前年比282人減)(69.7%)(前年70.8%)である。

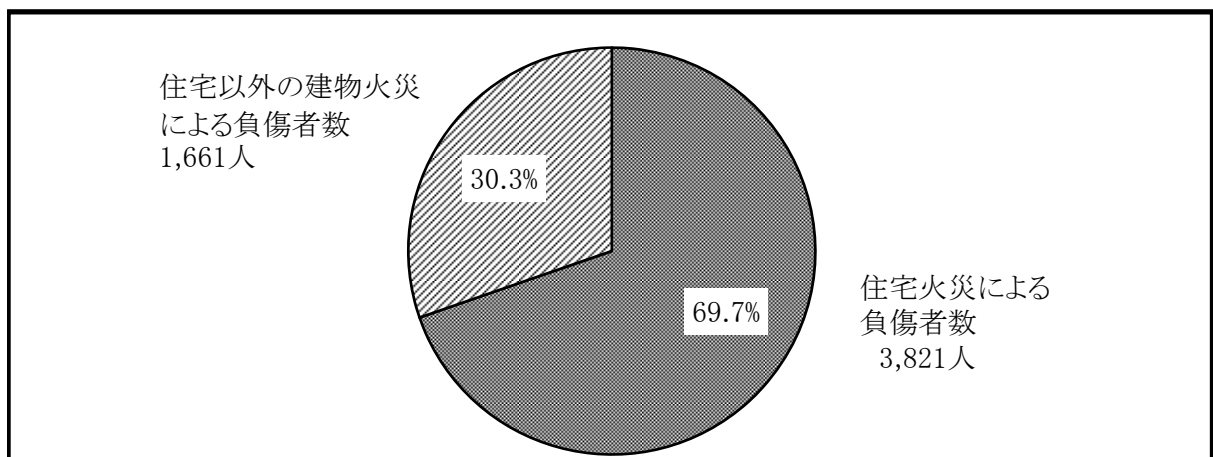
また、住宅火災による負傷者数のうち2,555人(前年比219人減)(66.9%)(前年67.6%)は一般住宅において発生している。

建物火災の負傷者のうち住宅火災による負傷者数(放火を除く)

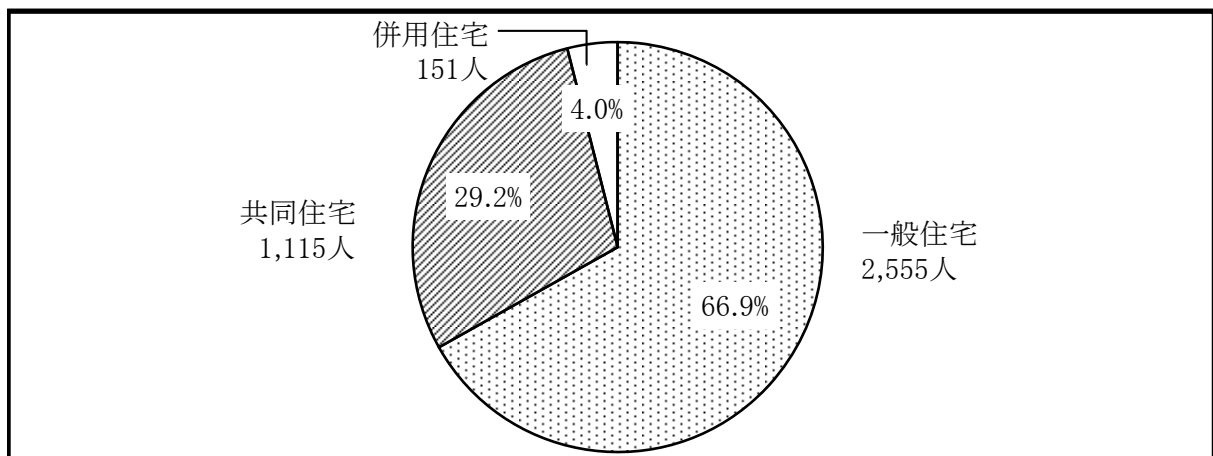
建物火災による 負傷者数(人)	住宅火災による負傷者数(人)				住宅以外の建物火災 による負傷者数(人)
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
5,482	3,821	2,555	1,115	151	1,661
100.0%	69.7%	[66.9%]	[29.2%]	[4.0%]	30.3%

(* []は、住宅火災による負傷者数(3,821人)に占める割合)

建物火災による負傷者発生状況(放火を除く)



住宅形態別の負傷者発生状況(放火を除く)



(2) 発火源別負傷者数

負傷者の発生した住宅火災の発火源は、「こんろ」によるものが966人(25.3%)と最も多く、次いで「ストーブ」によるもの562人(14.7%)、「たばこ」によるもの476人(12.5%)となっている。

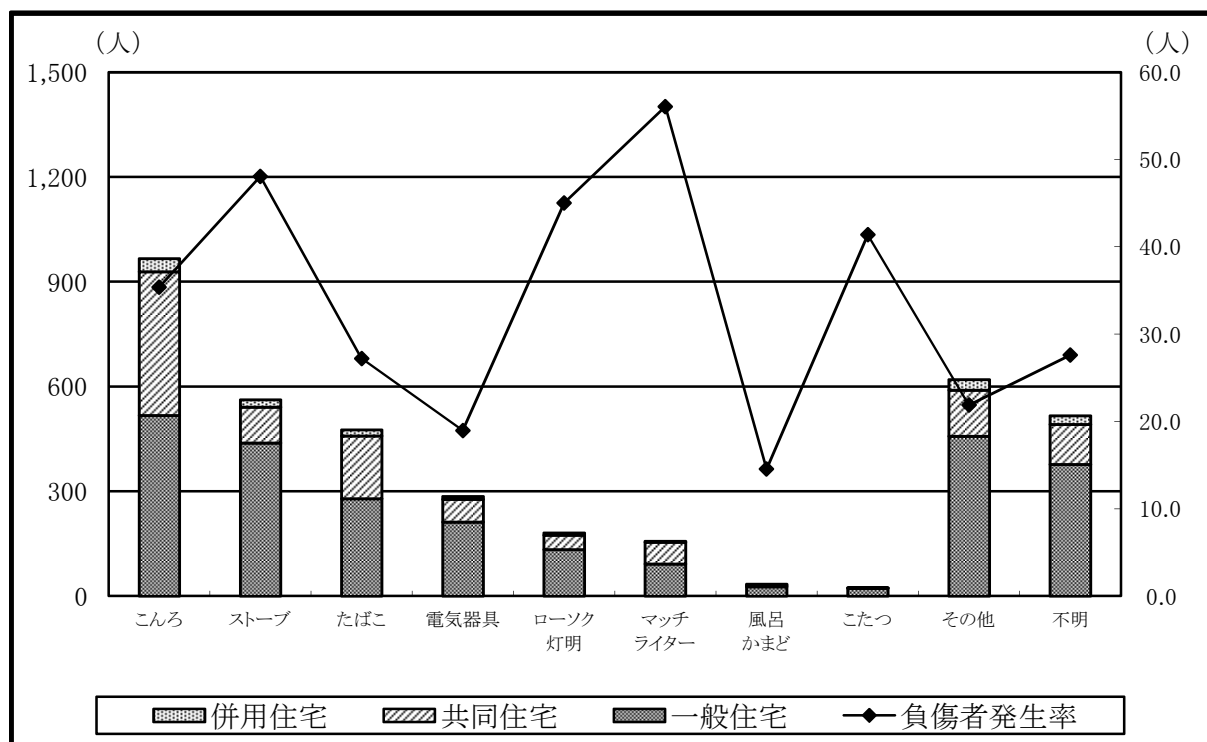
負傷者の発生率をみると、「マッチ・ライター」によるもの157人(56.1%)が、発生件数の割に多くなっている。

発火源別負傷者数(放火を除く)

発火源	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	負傷者 発生率	
			合計	一般住宅	共同住宅			併用住宅
こ ん ろ		1,287	966	517	412	37	2,730	35.4
ス ト ー ブ		676	562	438	103	21	1,169	48.1
た ば こ		618	476	279	180	17	1,750	27.2
電 気 器 具		435	285	212	65	8	1,504	18.9
ロ ー ソ ク ・ 灯 明		213	181	133	41	7	402	45.0
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー		205	157	92	62	3	280	56.1
風 呂 か ま ど		35	34	27	4	3	234	14.5
こ た つ		29	24	22	1	1	58	41.4
そ の 他		916	620	458	132	30	2,835	21.9
不 明		1,068	516	377	115	24	1,870	27.6
合 計		5,482	3,821	2,555	1,115	151	12,832	29.8

(* 負傷者発生率は、住宅火災100件当たりの負傷者数を示す。)

発火源別負傷者数(放火を除く)



(3) 着火物別負傷者数

負傷者の発生した住宅火災の着火物は、前年と同様に「天ぷら油類」が513人(13.4%)で最も多く、次いで「ふとん類」438人(11.5%)、「衣類」401人(10.5%)の順になっている。

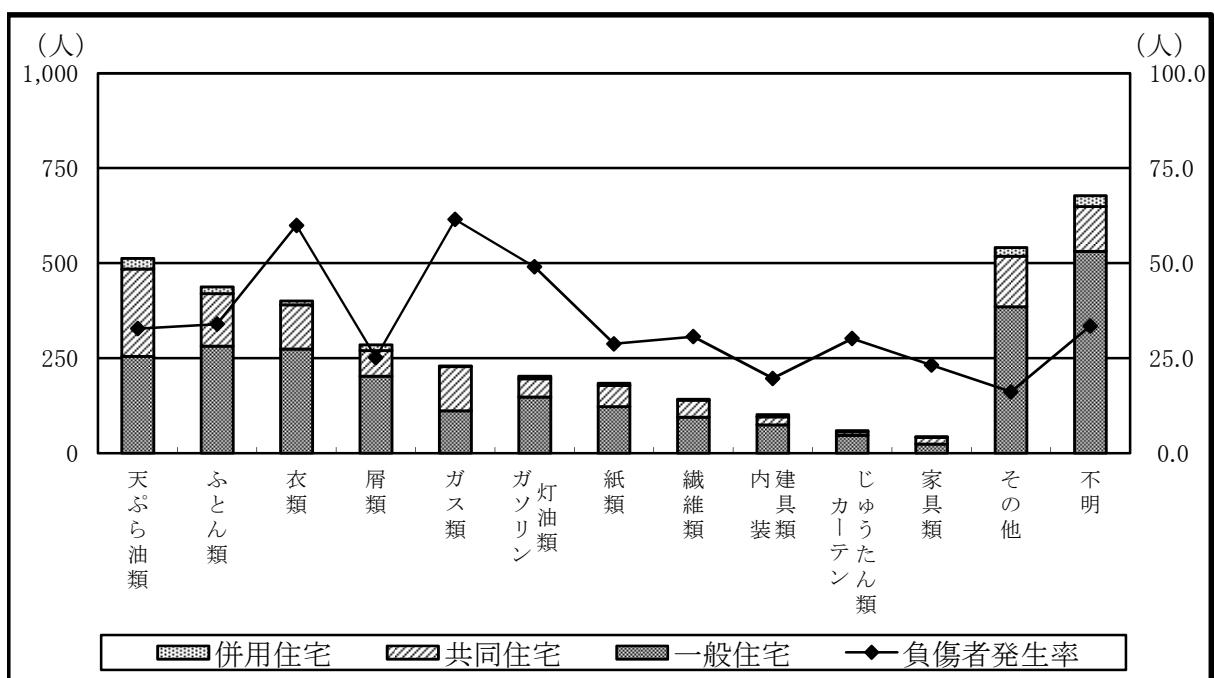
負傷者の発生率をみると「ガス類」が着火物のときに6割をこえて負傷者が発生している。

着火物別負傷者数(放火を除く)

着火物	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	負傷者 発生率	
			合計	一般住宅	共同住宅			併用住宅
天ぷら油類		716	513	255	230	28	1,565	32.8
ふとん類		535	438	282	138	18	1,290	34.0
衣類		506	401	274	117	10	669	59.9
屑類		411	285	203	67	15	1,133	25.2
ガス類		394	230	112	116	2	374	61.5
ガソリン・灯油類		354	203	148	48	7	414	49.0
紙類		264	184	123	55	6	640	28.8
繊維類		192	142	95	45	2	463	30.7
内装・建具類		145	102	75	21	6	518	19.7
カーテン・じゅうたん類		80	60	47	9	4	199	30.2
家具類		54	44	24	18	2	190	23.2
その他		873	541	386	133	22	3,352	16.1
不明		958	678	531	118	29	2,025	33.5
合計		5,482	3,821	2,555	1,115	151	12,832	29.8

(* 負傷者発生率は、住宅火災100件当たりの負傷者数を示す。)

着火物別負傷者数(放火を除く)



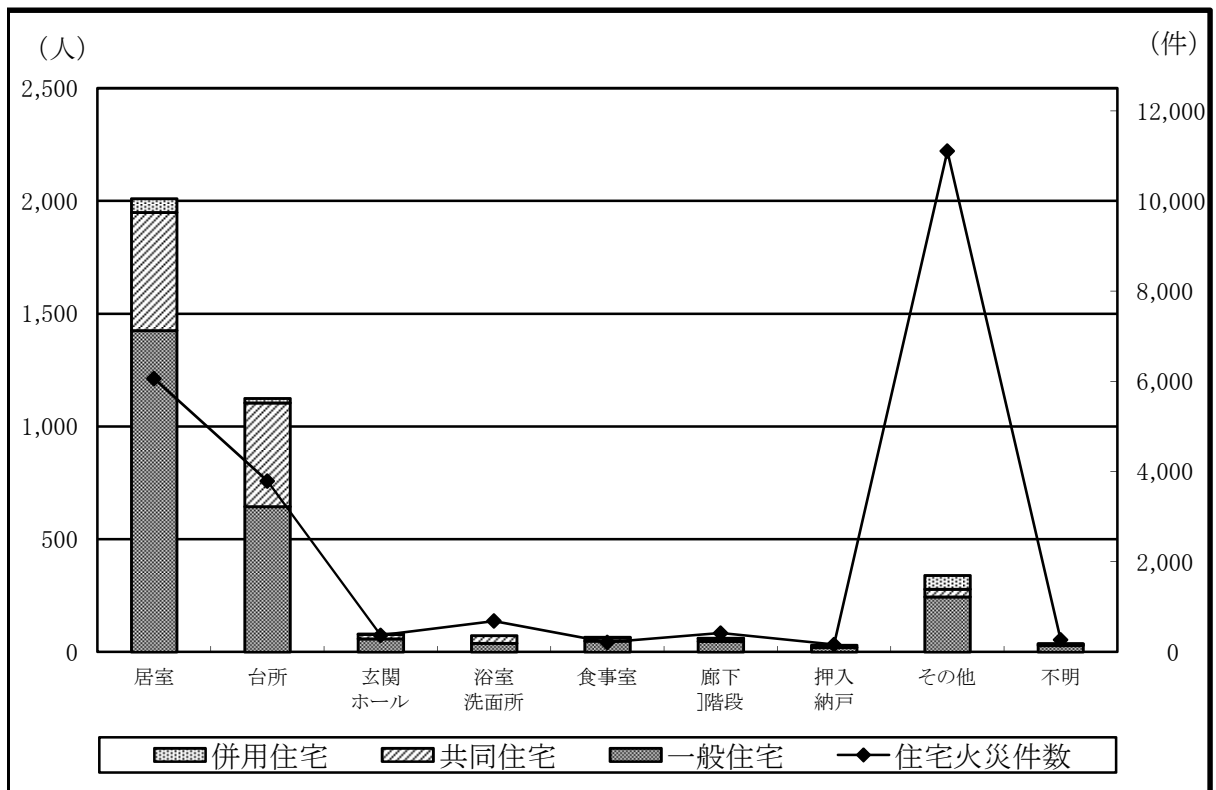
(4) 出火箇所別負傷者数

負傷者の発生した住宅火災の出火箇所は、多いものから「居室」の2,011人(52.6%)、「台所」の1,125人(29.4%)と前年と同じ順であり、上位2箇所で3,136人と全体の8割を越す82.1%を占めている。

出火箇所別負傷者数(放火を除く)

出火箇所	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	
			合計	一般住宅	共同住宅		併用住宅
居 室		2,330	2,011	1,425	524	62	6,063
台 所		1,277	1,125	645	460	20	3,789
玄 関・ホ ー ル		85	79	58	20	1	369
浴 室・洗 面 所		92	73	39	34	0	685
食 事 室		79	66	48	15	3	213
廊 下・階 段		78	61	47	13	1	419
押 入・納 戸		35	30	20	10	0	164
そ の 他		1,442	339	244	34	61	11,107
不 明		64	37	29	5	3	266
合 計		5,482	3,821	2,555	1,115	151	23,075

出火箇所別負傷者数(放火を除く)



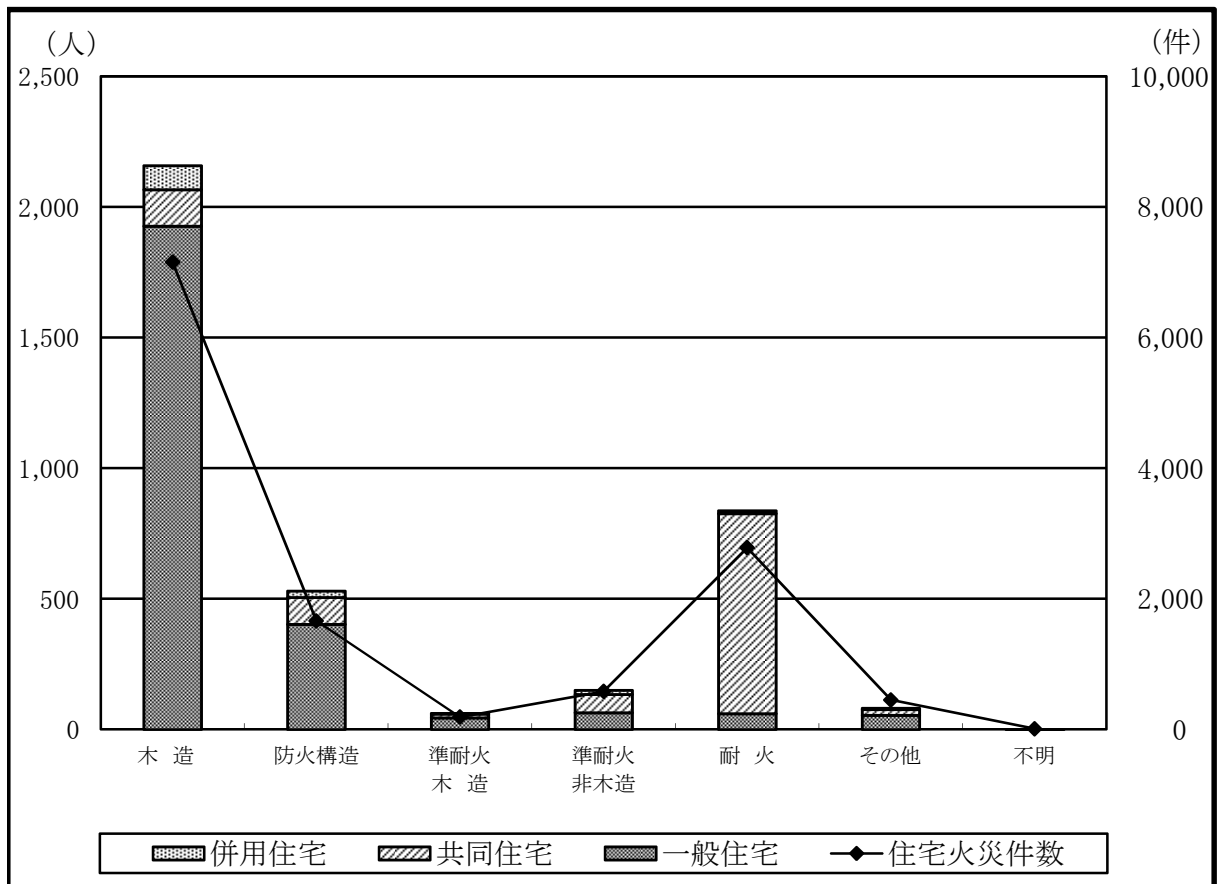
(5) 建物構造別負傷者数

住宅火災の建物構造別負傷者発生状況は、「木造建築物」が2,158人(前年比80人減)と負傷者全体の56.5%(前年54.5%)を占めている。

建物構造別負傷者数(放火を除く)

建物構造	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	
			合計	一般住宅	共同住宅		併用住宅
木造建築物		2,573	2,158	1,927	140	91	7,155
防火構造建築物		676	530	403	103	24	1,662
準耐火木造建築物		79	62	45	14	3	190
準耐火非木造建築物		405	150	64	70	16	581
耐火建築物		1,461	838	60	766	12	2,782
その他		251	82	55	22	5	452
不明		37	1	1	0	0	10
合計		5,482	3,821	2,555	1,115	151	12,832

建物構造別負傷者数(放火を除く)



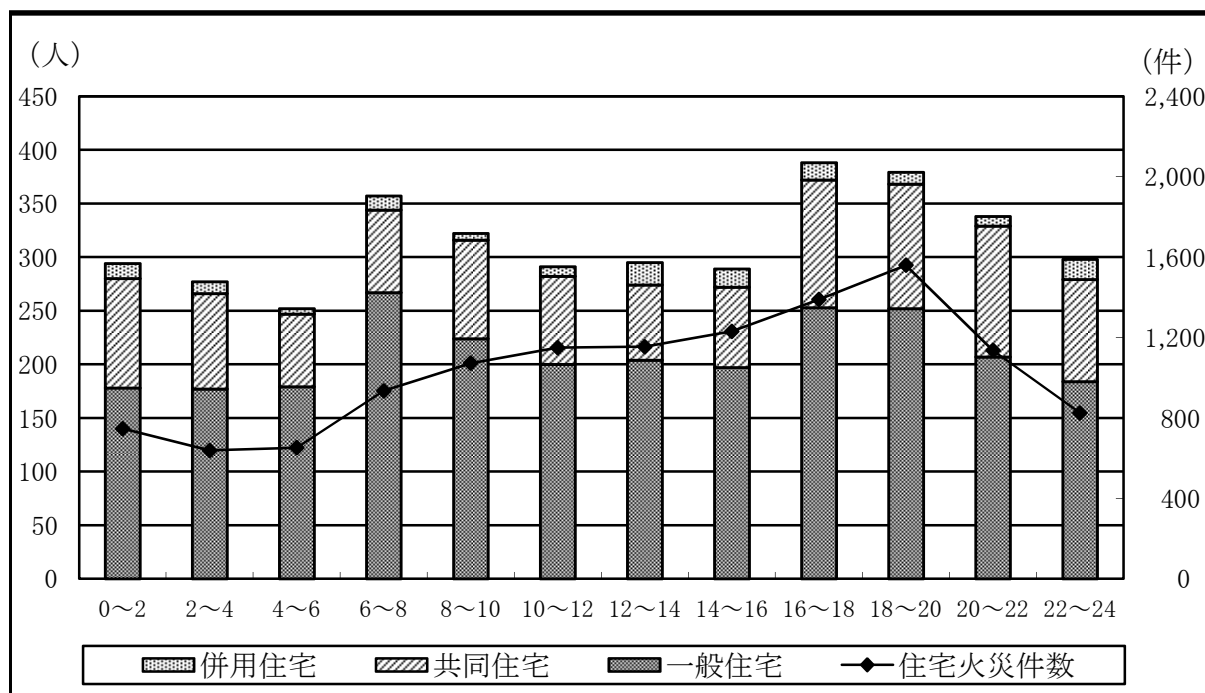
(6) 時間帯別負傷者数

住宅火災の時間帯別負傷者発生状況は、「16時から18時」が最も多く388人(10.2%)となっている。次いで「18時から20時」の379人(9.9%)、「6時から8時」の357人(9.3%)となっており、朝食夕飯準備の時間帯に多く発生している。

時間帯別負傷者数(放火を除く)

時間帯	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	
			合計	一般住宅	共同住宅		併用住宅
0 ~ 2		405	294	178	102	14	746
2 ~ 4		370	277	177	89	11	638
4 ~ 6		327	252	179	68	5	652
6 ~ 8		449	357	267	77	13	934
8 ~ 10		474	322	224	92	6	1,072
10 ~ 12		497	291	200	82	9	1,149
12 ~ 14		486	295	204	70	21	1,154
14 ~ 16		485	289	197	75	17	1,230
16 ~ 18		573	388	253	119	16	1,389
18 ~ 20		493	379	252	116	11	1,559
20 ~ 22		465	338	207	122	9	1,136
22 ~ 24		397	298	184	95	19	824
不明		61	41	33	8	0	349
合計		5,482	3,821	2,555	1,115	151	12,832

時間帯別負傷者数(放火を除く)



(* 時間帯の不明は除く)

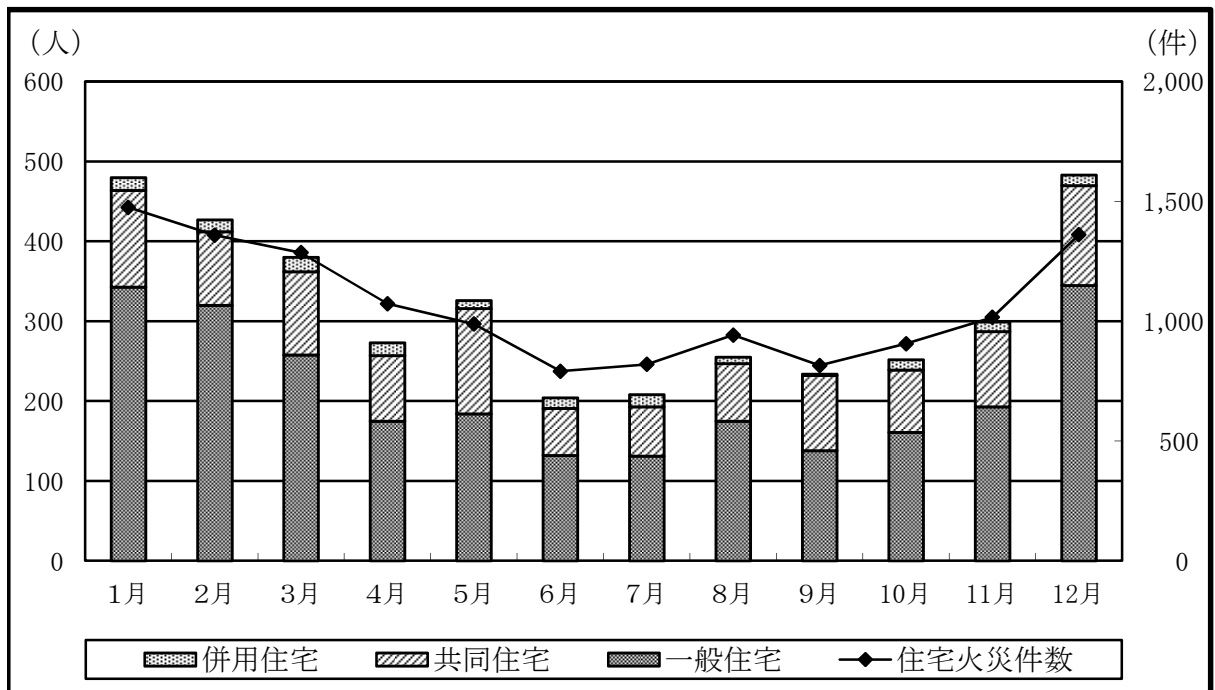
(7) 月別負傷者数

住宅火災の月別負傷者発生状況は、概ね住宅火災件数と比例して、12月から3月までの4ヶ月間に多く、全体の46.3%(前年47.1%)にあたる1,770人(前年比162人減)の負傷者が発生している。

月別負傷者数(放火を除く)

月	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	
			合計	一般住宅	共同住宅		併用住宅
1月		661	480	343	121	16	1,475
2月		576	427	320	92	15	1,359
3月		521	380	258	104	18	1,286
4月		420	273	175	82	16	1,073
5月		478	326	184	132	10	988
6月		309	204	132	59	13	791
7月		342	208	131	62	15	820
8月		393	255	175	72	8	942
9月		330	234	138	94	2	815
10月		393	252	161	78	13	906
11月		425	299	193	94	12	1,016
12月		634	483	345	125	13	1,361
合計		5,482	3,821	2,555	1,115	151	12,832

月別負傷者数(放火を除く)



(8) 都道府県別負傷者数

住宅火災による負傷者数の多い都道府県は、「東京都(423人)」、「大阪府(335人)」、次いで「神奈川県(248人)」の順となっており、少ない都道府県は、「福井県(15人)」、「沖縄県(16人)」、「島根県(20人)」の順となっている。

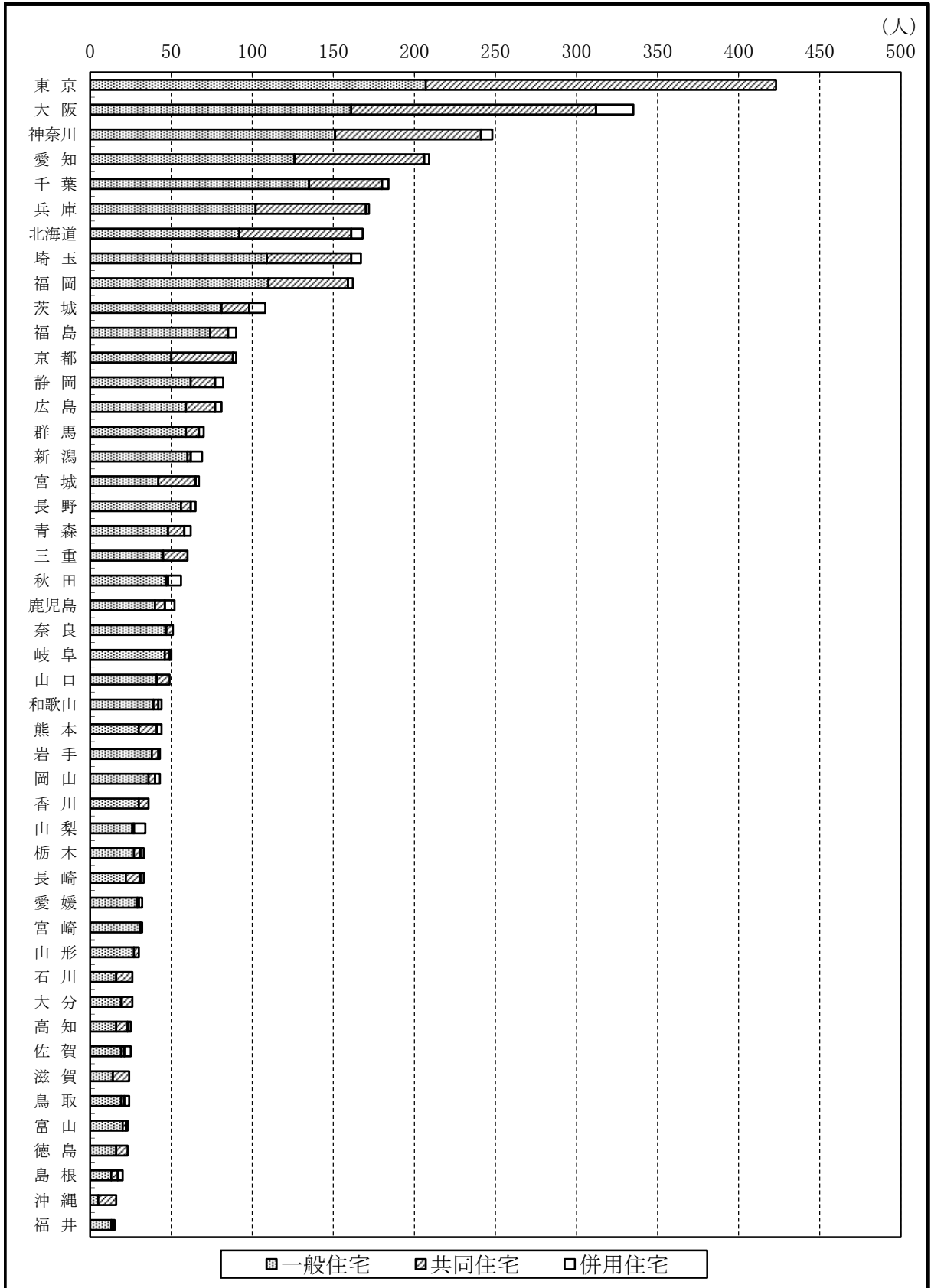
また、10万世帯当たりの負傷者数は、「秋田県」の13.3人が最も多く、次いで「福島県」の12.0人、「青森県」の10.7人になっている。

都道府県別負傷者数(放火を除く)

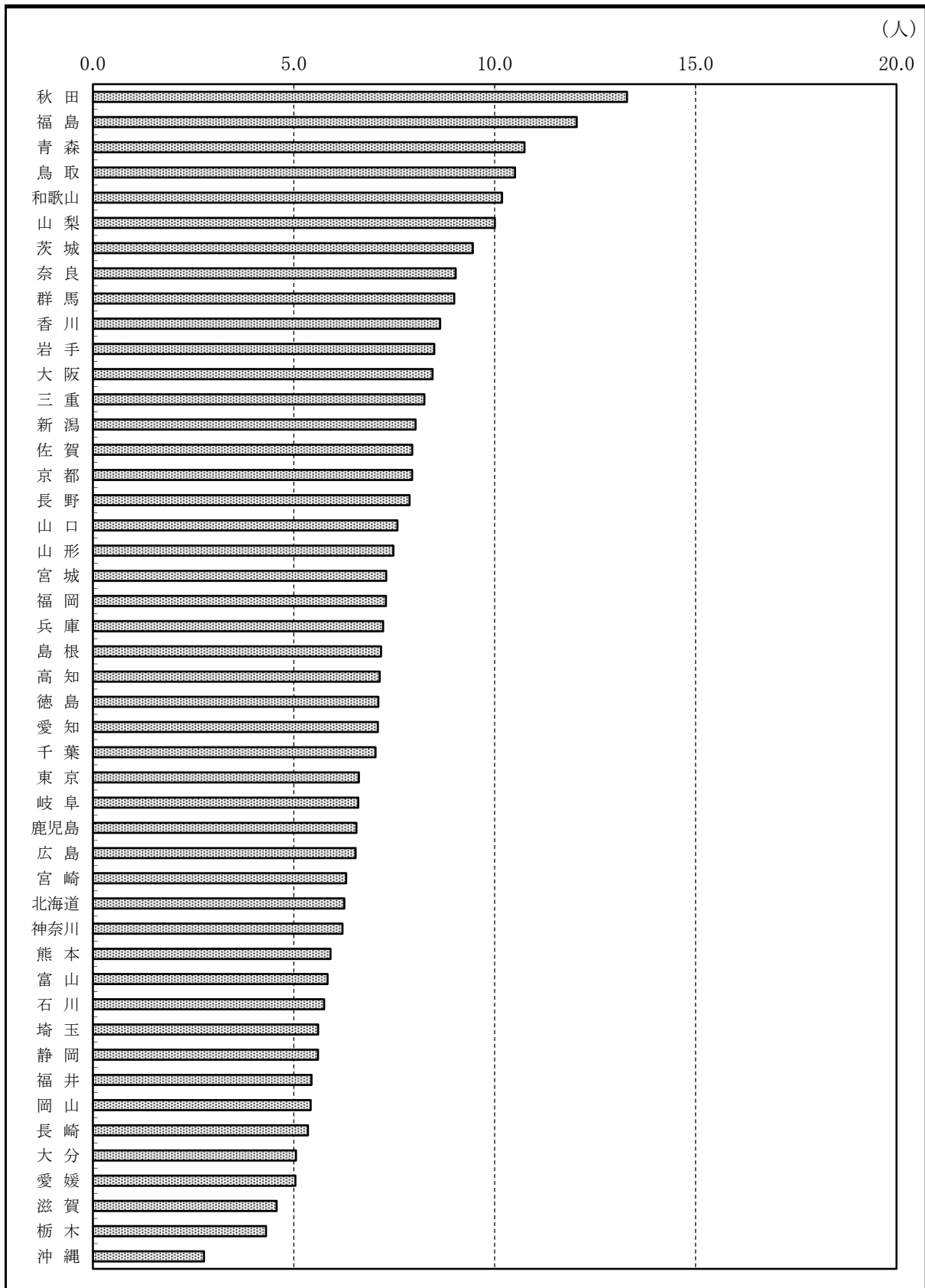
都道府県名	建物火災 (人)	住宅火災(人)			10万世帯当 たりの負傷者数	世帯数	
		合計	一般住宅	共同住宅			併用住宅
北海道	237	168	92	69	7	6.3	2,685,761
青森	85	62	48	10	4	10.7	577,351
岩手	56	43	38	4	1	8.5	506,306
宮城	104	67	42	23	2	7.3	918,304
秋田	70	56	47	1	8	13.3	421,338
山形	54	30	27	3	0	7.5	401,201
福島	106	90	74	11	5	12.0	747,619
茨城	156	108	81	17	10	9.5	1,142,271
栃木	65	33	27	4	2	4.3	766,343
群馬	94	70	59	8	3	9.0	778,481
埼玉	234	167	109	52	6	5.6	2,978,999
千葉	235	184	135	45	4	7.0	2,616,794
東京	737	423	207	216	0	6.6	6,390,020
神奈川	340	248	151	90	7	6.2	3,993,565
新潟	101	69	60	2	7	8.0	859,516
富山	29	23	20	2	1	5.8	393,868
石川	35	26	16	10	0	5.8	451,929
福井	26	15	13	1	1	5.4	275,683
山梨	42	34	26	1	7	10.0	339,911
長野	102	65	56	6	3	7.9	825,012
岐阜	77	50	46	3	1	6.6	757,371
静岡	120	82	62	15	5	5.6	1,463,726
愛知	288	209	126	80	3	7.1	2,947,483
三重	78	60	45	15	0	8.2	727,521
滋賀	49	24	14	10	0	4.6	525,061
京都	119	90	50	38	2	7.9	1,132,893
大阪	487	335	161	151	23	8.5	3,963,932
兵庫	240	172	102	68	2	7.2	2,381,894
奈良	66	51	47	4	0	9.0	564,867
和歌山	55	44	39	3	2	10.2	432,124
鳥取	36	24	19	2	3	10.5	228,484
島根	27	20	13	4	3	7.2	278,913
岡山	66	43	36	4	3	5.4	793,664
広島	121	81	59	18	4	6.5	1,239,126
山口	64	49	41	8	0	7.6	646,582
徳島	33	23	16	7	0	7.1	323,849
香川	43	36	30	6	0	8.6	416,706
愛媛	48	32	29	1	2	5.0	635,273
高知	28	25	16	7	2	7.1	350,332
福岡	215	162	110	49	3	7.3	2,222,103
佐賀	33	25	19	2	4	7.9	314,652
長崎	53	33	22	9	2	5.4	616,491
熊本	56	44	30	11	3	5.9	744,226
大分	40	26	19	7	0	5.1	514,432
宮崎	45	32	31	1	0	6.3	507,719
鹿児島	64	52	40	6	6	6.6	792,803
沖縄	23	16	5	11	0	2.8	578,976
合計	5,482	3,821	2,555	1,115	151	7.1	54,171,475

(* 世帯数は平成24年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。)

都道府県別負傷者数(放火を除く)



都道府県別10万世帯当たりの負傷者数(放火を除く)



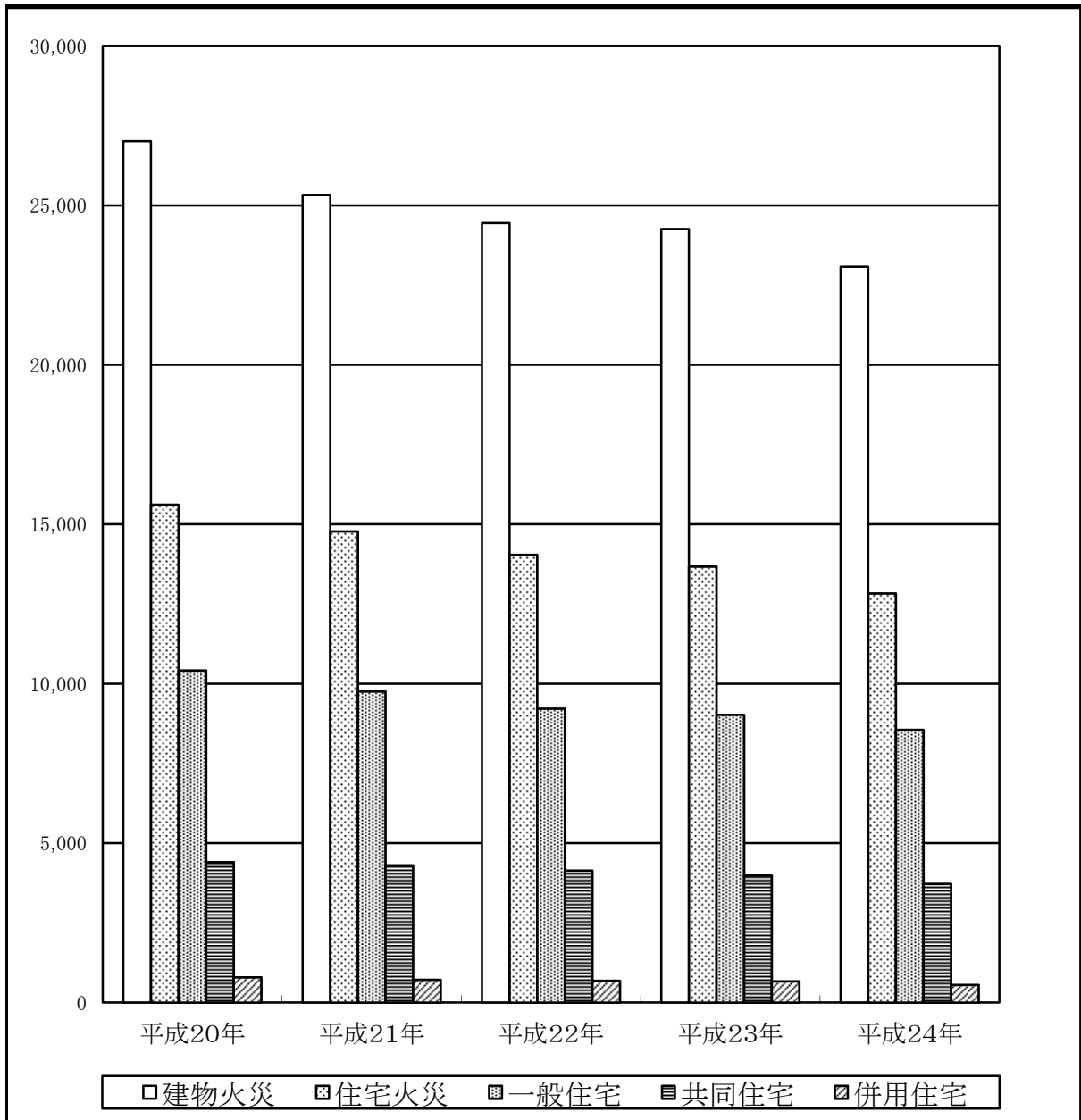
5 3名以上の死者が発生した住宅火災

番号	月 日	状 況
1	1月 12日	富山県富山市の住宅より出火。死者3人。
2	1月 23日	山形県長井市の併用住宅より出火。死者3人。
3	2月 11日	山形県山形市の住宅より出火。死者3人、負傷者2人。
4	3月 2日	群馬県北群馬郡吉岡町の住宅より出火。死者4人。負傷者2人。
5	5月 11日	東京都世田谷区の住宅より出火。死者3人。
6	5月 28日	滋賀県湖南市の住宅より出火。死者3人。負傷者1人。
7	9月 22日	千葉県市原市の住宅より出火。死者3人、負傷者2人。
8	9月 28日	山口県下関市の住宅より出火。死者3人。
9	11月 2日	愛媛県今治市の住宅より出火。死者3人。
10	11月 30日	富山県富山市の住宅より出火。死者3人。

(参考資料 1)

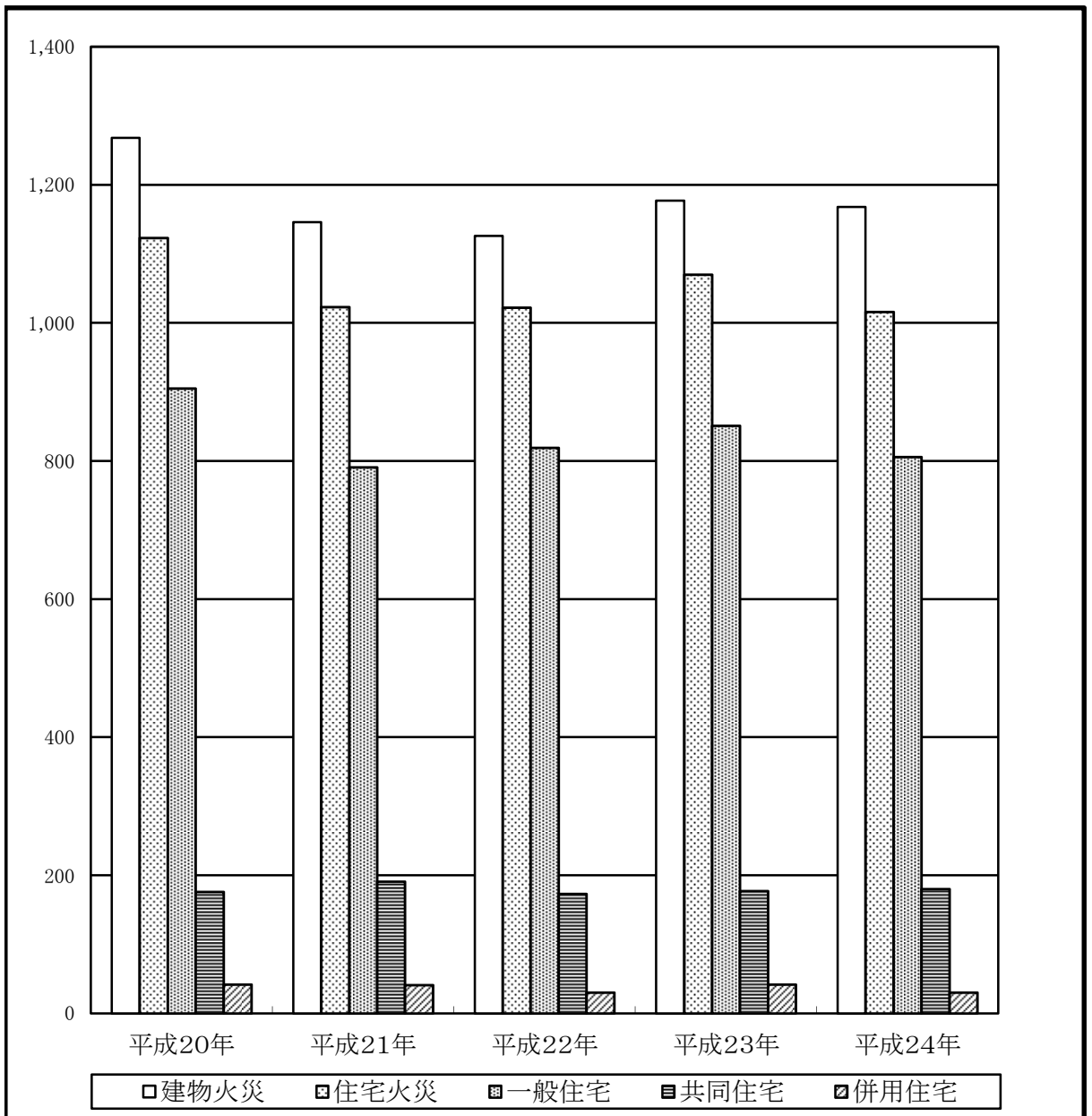
過去5年間の出火件数の推移(放火を除く)

種別	年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
建物火災		27,011	25,324	24,443	24,260	23,075
住宅火災		15,614	14,778	14,044	13,673	12,832
一般住宅		10,416	9,755	9,219	9,024	8,556
共同住宅		4,405	4,306	4,140	3,984	3,723
併用住宅		793	717	685	665	553



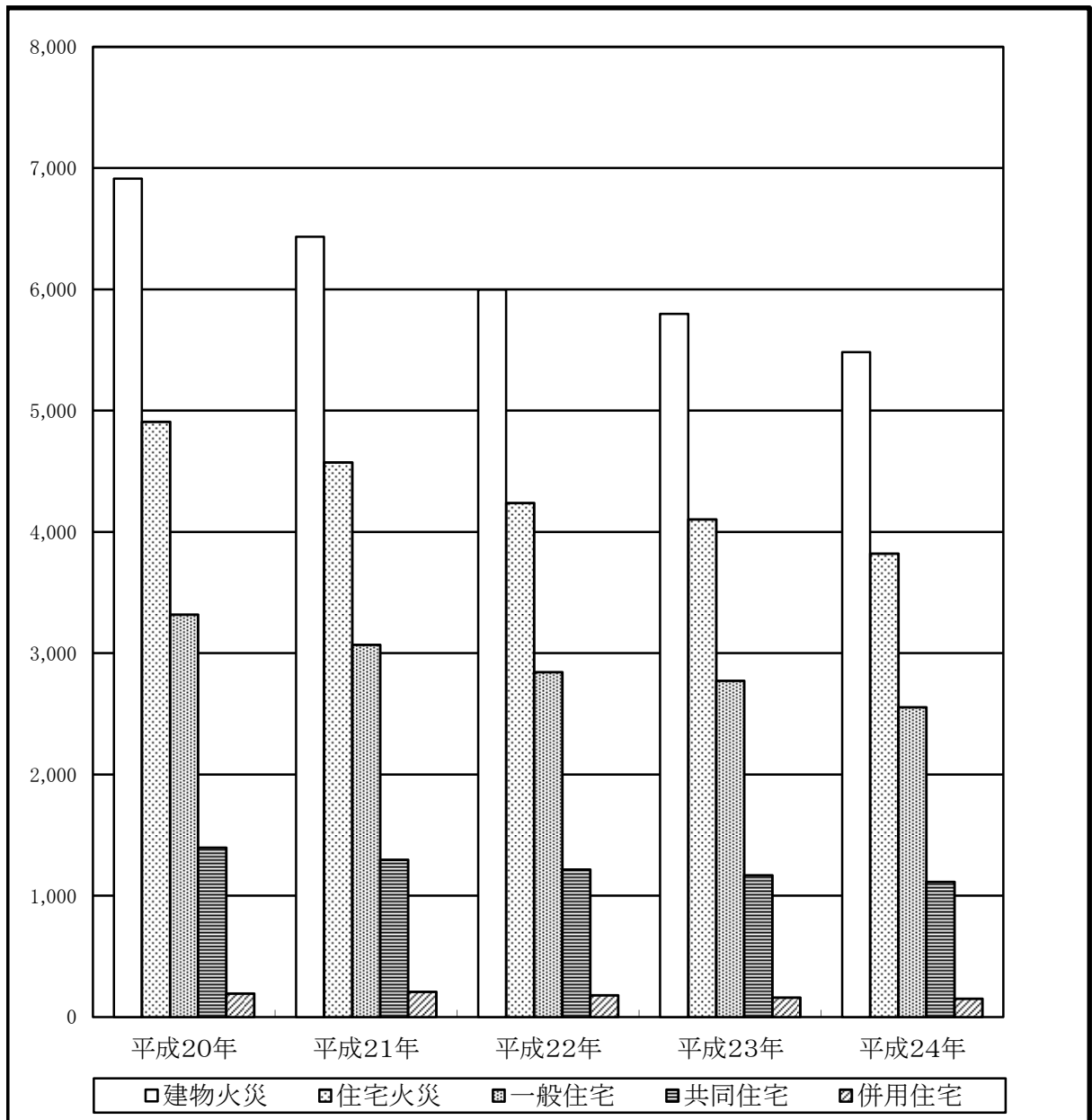
過去5年間の死者の推移(放火自殺者等を除く)

種別	年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
建物火災		1,268	1,146	1,126	1,177	1,168
住宅火災		1,123	1,023	1,022	1,070	1,016
一般住宅		905	791	819	851	806
共同住宅		176	191	173	177	180
併用住宅		42	41	30	42	30



過去5年間の負傷者の推移(放火を除く)

種別	年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
建物火災		6,913	6,433	5,997	5,798	5,482
住宅火災		4,909	4,574	4,239	4,103	3,821
一般住宅		3,319	3,070	2,843	2,774	2,555
共同住宅		1,396	1,296	1,217	1,168	1,115
併用住宅		194	208	179	161	151



(参考資料 2)

本資料は、「火災報告取扱要領」(平成6年4月21日消防災第100号)の「別表第3 出火原因分類表」及び「別表第7 出火箇所分類表」のコード番号を用い、次により分類しています。

(1) 発火源分類

住宅火災の発火源分類		出火原因分類表第1表の分類						
た	ば	こ	たばこ(4201)					
マ	ツ	チ	マッチ(4202),ライター(4203)					
こ	ん	ろ	電	気	電気こんろ(1101),電磁調理器(1127),電磁調理器(1206), 電気クッキングヒータ(1209)			
			ガ	ス	都 市 ガ ス	ガスこんろ(2101),ガステーブル(2102),大型こんろ(2302)		
					プロパンガス	ガスこんろ(2201),ガステーブル(2202),簡易型ガスこんろ(カ セット型)(2203),大型こんろ(2402)		
			石	油	等	石油・ガソリンこんろ(2501)		
			そ	の	他	アルコールこんろ(2526),七輪こんろ(3101),まきこんろ(3201), 石炭こんろ(3301),こんろの火の粉(4306)		
ス	ト	ー	ブ	電	気	電気ストーブ・火鉢(開放式)(1102),電気ストーブ・火鉢(半 密閉式)(1103),電気ストーブ・火鉢(密閉式)(1104)		
				ガ	ス	都 市 ガ ス	ガスストーブ(開放式)(2103),ガスストーブ(半密閉式) (2104),ガスストーブ(密閉式)(2105)	
						プロパンガス	ガスストーブ(開放式)(2204),ガスストーブ(半密閉式) (2205),ガスストーブ(密閉式)(2206)	
				石	油	等	石油・ガソリンストーブ(開放式)(2502),石油・ガソリンストーブ (半密閉式)(2503),石油・ガソリンストーブ(密閉式)(2504),油 ストーブ(開放式)(2602),油ストーブ(半密閉式)(2603),油ス トーブ(密閉式)(2604)	
				そ	の	他	まきストーブ(3202),石炭ストーブ(3402),ストーブの火の粉 (4310)	
こ	た	つ	電気こたつ(1105),炭たどん(練炭)こたつ(3106)					
ロ	ー	ソ	ク	灯	明	ローソク(2701),ちょうちん・灯ろう(2702),灯明(2703)		
電	気	器	具	類	電気機器(電池類,家庭電化製品,OA機器等)(1301～ 1366,1399)			
					電気装置(モータ,コンデンサー,制御盤,燃料電池等)(1401 ～1499)			
					電灯電話等の配線(送電線,配電線,引込線等)(1501～ 1517,1599)			
					配線器具(スイッチ,安全器,ソケット等)(1601～1699)			
風	呂	か	ま	ど	ガ	ス	都 市 ガ ス	可動かまど・風呂かまど(2109),固定式風呂かまど(2306)
					プロパンガス	可動かまど・風呂かまど(2210),固定式風呂かまど(2406)		
					石	油	等	可動油風呂かまど(2508),固定式油風呂かまど(2608)
					そ	の	他	まき風呂かまど(3206),石炭風呂かまど(3406),風呂かまどの 火の粉(4311)
不	明	不明(0009)						
そ	の	他	上記以外					

(2) 着火物分類

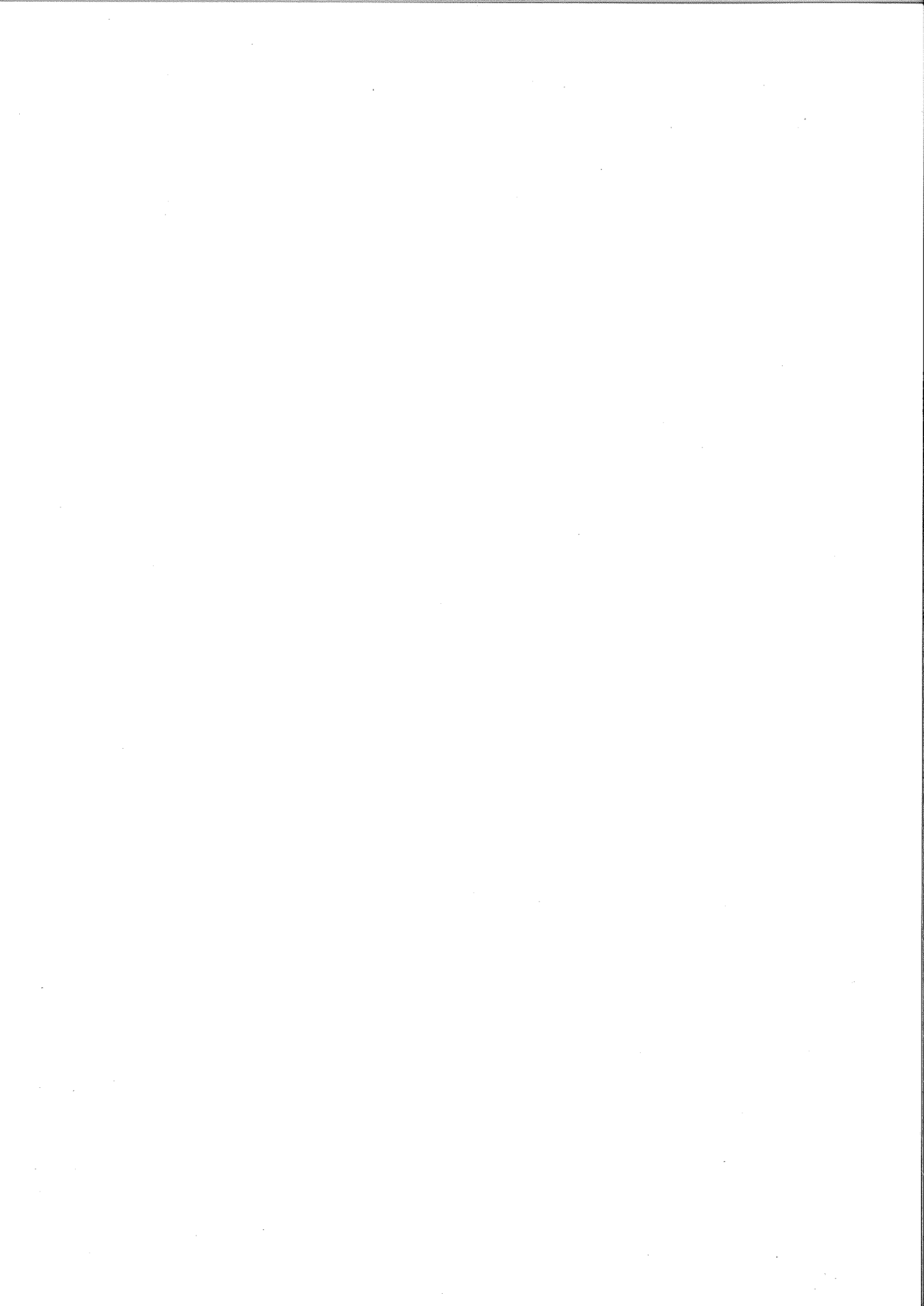
住宅火災の着火物分類		出火原因分類表第3表の分類
ふとん	類	ふとん,座布団,寝具(253)
衣類	類	衣類(252)
繊維	類	繊維原料(251),繊維製品(254),その他(259)
紙	類	袋及び紙製品(255)
内装・建具類	壁軸組	合成樹脂壁(120),木づくり(121),板張ベニヤ(122),モルタル(123),しっくい(124),テックス(125),柱・けた・はり(128),その他(129)
	床	合成樹脂床(130),畳(131),板張(132)
	天井	小屋組材(141),板張(142),モルタル(143),しっくい(144),テックス(145)
	建具	ドア(161),日除け(162),唐紙・フスマ(163),障子(164),雨戸(板戸)(165),アコーディオンカーテン(166),その他(169)
家具	類	机(171),椅子・ソファ(172),戸棚・木箱(173),室内装飾品(175),その他(179),カウンター(180),炊事台(コンロ台含む)(181),実験台(183),裁縫台(184),棚(185),仏壇・神棚(186),敷板(187),その他(189)
カーテン・じゅうたん	類	上敷(134),むしろ(135),カーペット(137)じゅうたん(固定)(138),すだれ・よしず(174),カーテン(176)
ガス	類	都市ガス(221),水素(222),アセチレン(223),水と反応して発生したガス(224),プロパンガス(225),ブタンガス(226),LPG(カセット用)(227),LPG(スプレー用)(228),その他(229)
屑	類	ごみ屑(280),木屑・かんな屑・のこぎり屑(281),紙屑・わら屑(282),繊維屑(283),ぼろ・油ぼろ(284),セルロイド屑(285),合成樹脂屑(286),金属屑(287),粉塵(288),その他(289)
ガソリン・灯油	類	特殊引火物(231),第一石油類(232),アルコール類(233),第二石油類(234),第三石油類(235),第四石油類(236),可燃性液体類(238)
天ぷら油	類	動植物油類(237)
不明	明	不明(009)
その他	他	上記以外

(3) 出火箇所分類

住宅火災の出火箇所分類		出火箇所分類表の分類
居台	室所	洋室・和室・応接間・勉強部屋・書斎・寝室(1010) 台所(1140)
浴室・洗面	所	浴室・浴場・風呂場(1170),洗面場(1180),洗たく場(1210), 便所・トイレ(1220)
玄関・ホール	ル	玄関(1110),広間・ホール(1120)
廊下・階段	段	廊下・階段・縁側(1130),階段室(1150)
押入・納戸	戸	押入・納戸(1020)
食事	室	食事室(営業を目的としない。住宅、寮などの食事専用室) (1030)
不明	明	不明(9999)
その他	他	上記以外

第二章

火災による死者の実態について



1 序 説

平成24年中には全国で44,189件の火災が発生し、前年(50,006件)に比べ5,817件(11.6%)減少した。また、その火災により1,721人の死者が生じ、前年(1,766人)に比べ45人(2.5%)減少している。

全火災のうち建物火災による死者が、1,324人(全体の76.9%)を占め、そのうち86.5%に当たる1,145人が住宅(一般住宅、共同住宅及び併用住宅の総称。以下同じ。)火災によるものである。このため、住宅火災による死者を減らすために住宅防火対策のより一層の推進が強く望まれるところである。

火災による死者について特徴的なこととしては、高齢者(「65歳以上の者」をいう。以下同じ)等の災害弱者が多く、平成24年中の放火自殺者を除く死者1,334人のうち、高齢者が839人(62.9%)、5歳以下の乳幼児が12人(0.9%)となっており、この両年齢層の死者は、放火自殺者を除く死者全体の63.8%を占めている。

2 火災による死者全体の实態について

(1) 出火件数と火災による死者数の推移

出火件数は平成16年の60,387件をピークに多少の増減をしながらも、全体として減少傾向にある。

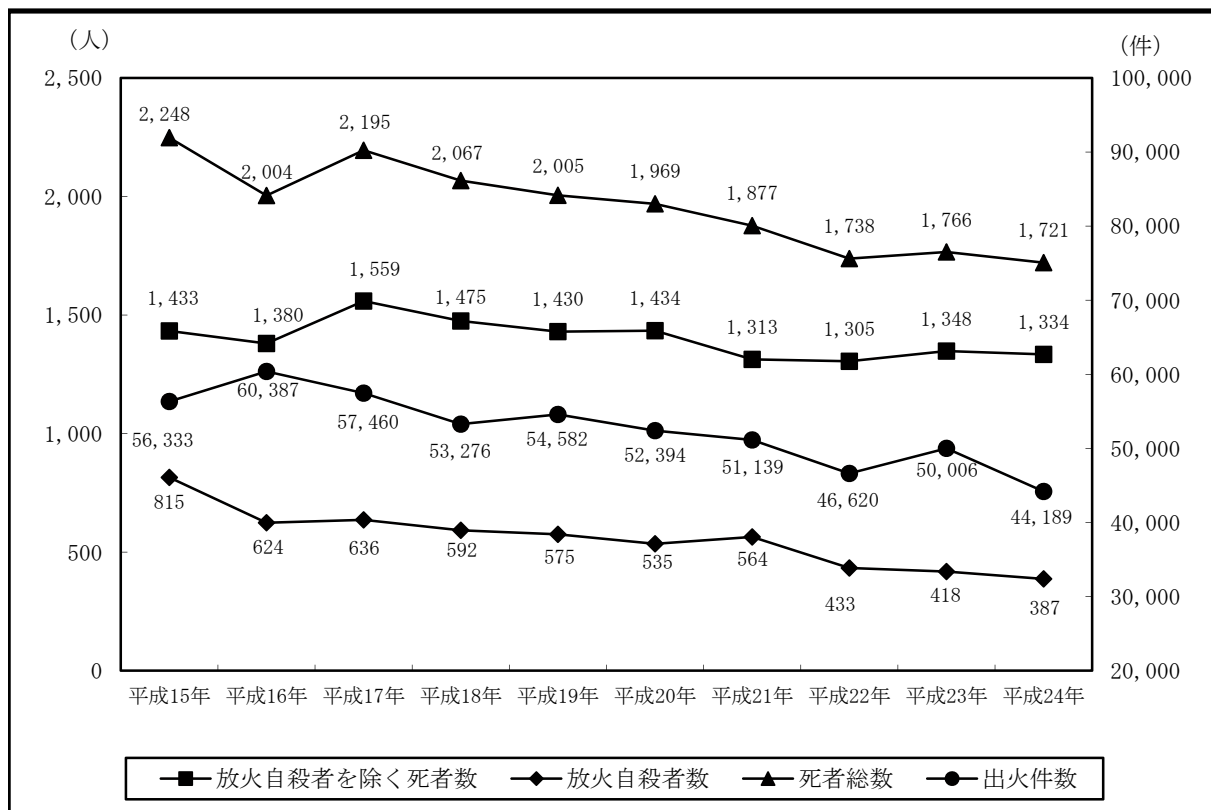
火災による死者数は、平成15年には過去10年間で最多の2,248人となったがその後は減少傾向にあった。平成20年には2,000人を下回り、平成23年には微増に転じ1,766人となったが平成24年には減少に転じ1,721人となっている。10年間の平均は1,959人となっている。(第1表、第1図)

第1表 出火件数と火災による死者数の推移

(平成15年=100)

区分		年										10年間平均
		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	
死者数 (人)	放火自殺者を除く死者数	1,433	1,380	1,559	1,475	1,430	1,434	1,313	1,305	1,348	1,334	1,401
	放火自殺者数	815	624	636	592	575	535	564	433	418	387	558
	死者総数	2,248	2,004	2,195	2,067	2,005	1,969	1,877	1,738	1,766	1,721	1,959
指数	放火自殺者を除く死者数	100.0	96.3	108.8	102.9	99.8	100.1	91.6	91.1	94.1	93.1	97.8
	放火自殺者数	100.0	76.6	78.0	72.6	70.6	65.6	69.2	53.1	51.3	47.5	68.5
	死者総数	100.0	89.1	97.6	91.9	89.2	87.6	83.5	77.3	78.6	76.6	87.1
出火件数(件)		56,333	60,387	57,460	53,276	54,582	52,394	51,139	46,620	50,006	44,189	52,639
指数		100.0	107.2	102.0	94.6	96.9	93.0	90.8	82.8	88.8	78.4	93.4

第1図 出火件数と死者の推移



(2) 都道府県別の死者発生状況

火災による死者の都道府県別の発生状況をみると、「東京都」が116人で最も多く、次いで「大阪府」の106人、「千葉県」の91人となっている。一方、火災による死者の少ない県は、「徳島県」が5人で最も少なく、次いで「沖縄県」の6人となっている(第2表、第2図)。これを人口10万人当たりの死者数で比較すると、全国平均は前年の1.37人より0.01減少して1.36人である。この割合が最も高いのは第3図のとおり「山梨県」の3.62人で、次いで「青森県」の2.60人、「岩手県」の2.58人となっている。一方、最も低いのは、「沖縄県」の0.42人で、次いで「徳島県、奈良県」の0.64人、「神奈川県」の0.78人となっている(第3表、第3図)。

第2表 都道府県別の死者発生状況

(平成24年中) (単位:人)

区分	都道府県												
	東京	大阪	千葉	埼玉	愛知	神奈川	兵庫	北海道	福岡	茨城	新潟	宮城	
死者総数	116	106	91	81	72	70	70	61	61	55	51	48	
放火自殺者	21	12	21	28	20	15	11	16	13	14	6	12	
死者総数	平成23年	86	100	74	72	92	103	54	68	61	53	47	43
	平成22年	105	87	97	82	95	75	65	92	58	47	33	33
	平成21年	134	107	88	98	104	86	57	67	60	57	48	27
	平成20年	129	103	84	96	84	98	73	105	72	73	53	47

区分	都道府県												
	福島	広島	栃木	長野	群馬	京都	青森	岐阜	鹿児島	静岡	岩手	山口	
死者総数	45	41	40	40	38	37	36	36	36	35	34	34	
放火自殺者	14	6	16	12	13	7	7	8	3	11	15	7	
死者総数	平成23年	41	44	47	39	39	29	23	41	31	38	35	27
	平成22年	43	37	42	38	24	29	40	30	35	55	34	34
	平成21年	47	40	48	50	42	34	34	30	33	40	51	31
	平成20年	43	50	53	33	36	32	29	30	36	48	45	23

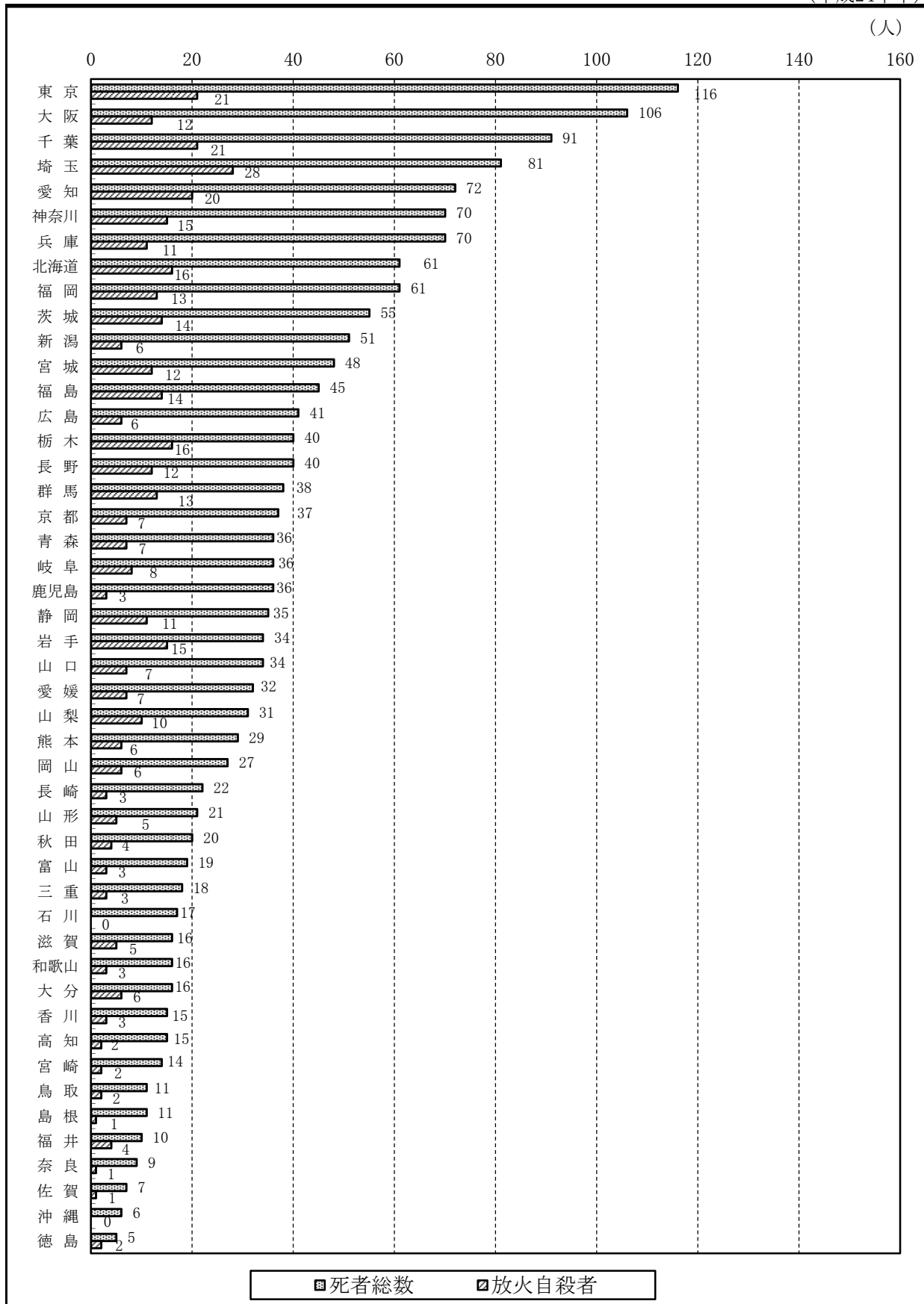
区分	都道府県												
	愛媛	山梨	熊本	岡山	長崎	山形	秋田	富山	三重	石川	滋賀	和歌山	
死者総数	32	31	29	27	22	21	20	19	18	17	16	16	
放火自殺者	7	10	6	6	3	5	4	3	3	0	5	3	
死者総数	平成23年	23	17	29	48	27	18	34	18	33	17	12	25
	平成22年	23	17	19	39	18	20	20	13	33	21	17	11
	平成21年	22	22	26	46	21	18	36	29	39	22	16	22
	平成20年	32	18	24	43	27	25	38	29	34	20	22	22

区分	都道府県												計
	大分	香川	高知	宮崎	鳥取	島根	福井	奈良	佐賀	沖縄	徳島		
死者総数	16	15	15	14	11	11	10	9	7	6	5	1,721	
放火自殺者	6	3	2	2	2	1	4	1	1	0	2	387	
死者総数	平成23年	23	25	14	16	12	8	12	27	12	18	1,766	
	平成22年	27	16	14	19	11	19	9	22	15	15	1,738	
	平成21年	26	16	19	13	4	9	4	19	11	13	1,877	
	平成20年	22	22	16	16	14	11	12	13	10	14	1,969	

第2図 都道府県別の死者発生状況

(平成24年中)

(人)



第3表 人口10万人当たりの死者数

(平成24年中) (単位：人)

年	19 山梨	2 青森	3 岩手	35 山口	7 福島	38 愛媛	15 新潟	46 鹿児島	4 宮城	9 栃木
平成24年	3.62	2.60	2.58	2.35	2.26	2.22	2.16	2.11	2.08	2.01
平成23年	1.98	1.65	2.60	1.86	2.00	1.59	1.98	1.81	1.85	2.35
平成22年	1.97	2.85	2.53	2.32	2.10	1.58	1.38	2.03	1.42	2.10
平成21年	2.54	2.40	3.76	2.11	2.28	1.50	2.00	1.91	1.16	2.40
平成20年	2.07	2.03	3.29	1.55	2.07	2.17	2.23	2.07	2.01	2.64

年	39 高知	10 群馬	31 鳥取	8 茨城	20 長野	5 秋田	6 山形	16 富山	21 岐阜	43 熊本
平成24年	1.97	1.91	1.87	1.86	1.86	1.84	1.81	1.75	1.74	1.59
平成23年	1.83	1.95	2.03	1.78	1.81	3.10	1.54	1.65	1.97	1.59
平成22年	1.81	1.20	1.85	1.58	1.76	1.80	1.70	1.18	1.44	1.04
平成21年	2.45	2.09	0.67	1.91	2.31	3.22	1.52	2.63	1.44	1.41
平成20年	2.04	1.79	2.32	2.45	1.52	3.36	2.09	2.62	1.43	1.30

年	30 和歌山	32 島根	42 長崎	37 香川	12 千葉	17 石川	26 京都	34 広島	33 岡山	44 大分
平成24年	1.57	1.54	1.54	1.49	1.48	1.47	1.46	1.44	1.40	1.34
平成23年	2.44	1.11	1.87	2.48	1.20	1.47	1.14	1.54	2.48	1.91
平成22年	1.07	2.63	1.24	1.58	1.58	1.81	1.14	1.30	2.01	2.24
平成21年	2.12	1.24	1.44	1.57	1.44	1.89	1.33	1.40	2.37	2.15
平成20年	2.10	1.50	1.84	2.16	1.38	1.71	1.25	1.75	2.21	1.81

年	28 兵庫	18 福井	27 大阪	45 宮崎	40 福岡	25 滋賀	11 埼玉	1 北海道	23 愛知	24 三重
平成24年	1.26	1.25	1.22	1.22	1.21	1.15	1.13	1.11	0.99	0.98
平成23年	0.97	1.49	1.15	1.39	1.21	0.86	1.01	1.24	1.27	1.79
平成22年	1.16	1.11	1.00	1.65	1.15	1.23	1.15	1.67	1.31	1.78
平成21年	1.02	0.49	1.23	1.12	1.19	1.16	1.38	1.21	1.44	2.10
平成20年	1.31	1.47	1.19	1.38	1.43	1.60	1.36	1.88	1.17	1.83

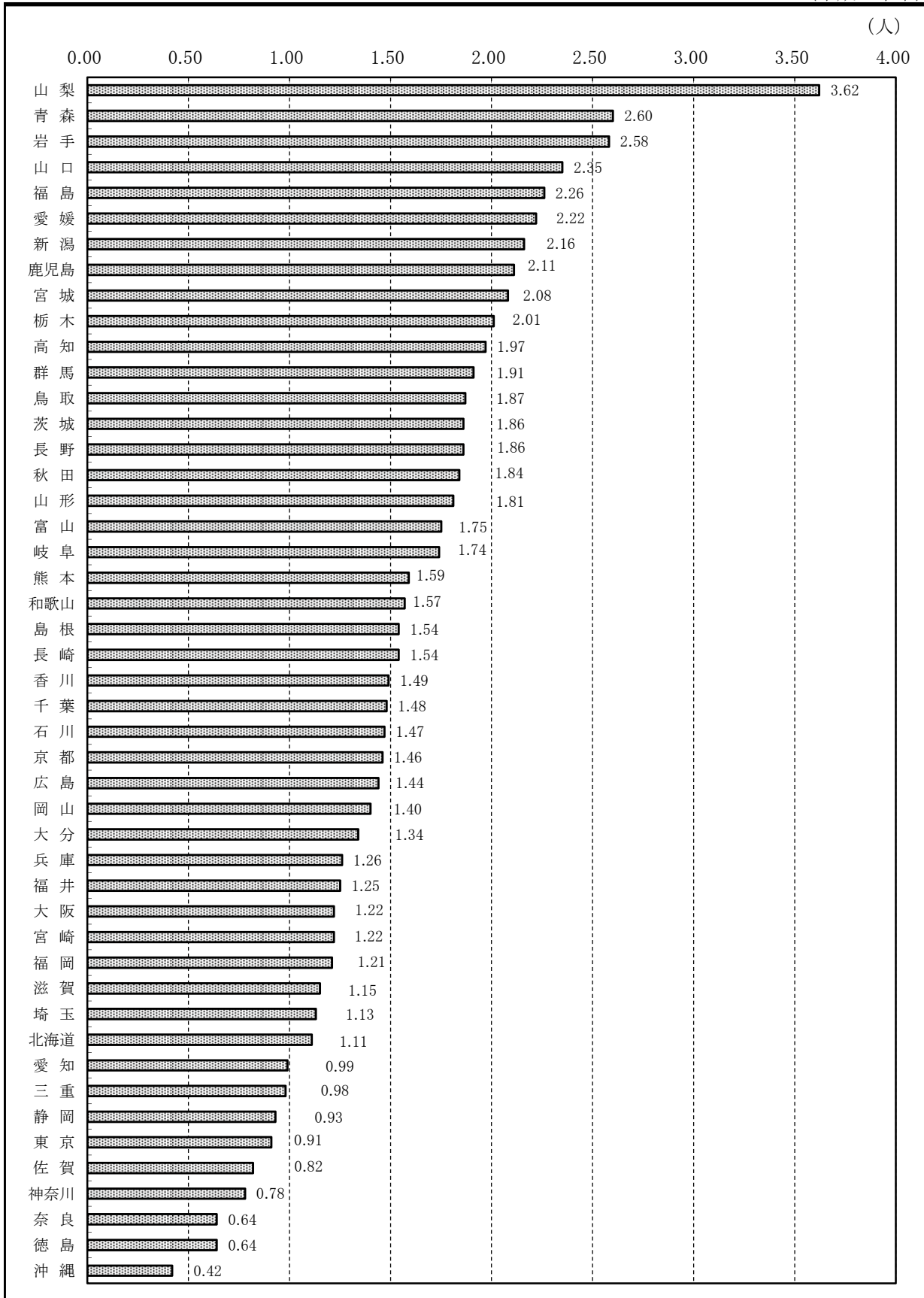
年	22 静岡	13 東京	41 佐賀	14 神奈川	29 奈良	36 徳島	47 沖縄	平均
平成24年	0.93	0.91	0.82	0.78	0.64	0.64	0.42	1.36
平成23年	1.01	0.68	1.40	1.16	1.92	1.39	1.27	1.39
平成22年	1.46	0.83	1.75	0.84	1.56	1.25	1.07	1.37
平成21年	1.06	1.07	1.28	0.97	1.34	1.37	0.93	1.48
平成20年	1.27	1.04	1.16	1.11	0.92	1.24	1.01	1.55

(注) 人口は平成24年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。

第3図 都道府県別人口10万人当たりの死者数

(平成24年中)

(人)



(3) 月別の死者発生状況

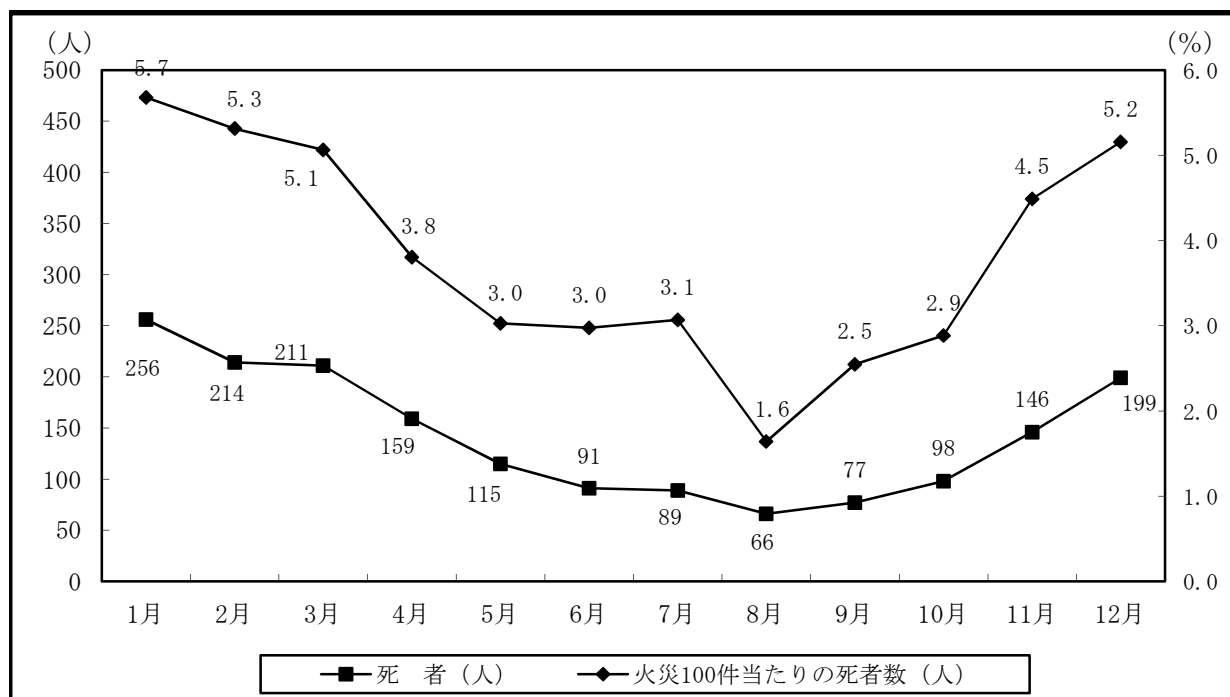
火災による死者の月別の発生状況をみると、例年火気を使用する機会が多い冬季から春先にかけて死者が多く発生しており、平成24年中においても「1月」から「3月」及び「12月」の4ヶ月の月ごとの平均死者数は220.0人（1年間の月平均143.4人）となっており、この4ヶ月間に死者総数の51.1%に当たる880人の死者が発生している。月別の火災件数と死者の発生状況との関連を火災100件当たりの死者数で比較すると、「1月」が5.7人で死者の発生割合が最も高く、次いで「2月」の5.3人となっている（第4表、第4図）。

第4表 月別の死傷者の発生状況

(平成24年中)

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
死者(人)	256	214	211	159	115	91	89	66	77	98	146	199	1,721
割合(%)	14.9	12.4	12.3	9.2	6.7	5.3	5.2	3.8	4.5	5.7	8.5	11.6	100.0
負傷者(人)	775	671	668	569	577	406	441	523	471	488	505	732	6,826
割合(%)	11.4	9.8	9.8	8.3	8.5	5.9	6.5	7.7	6.9	7.1	7.4	10.7	100.0
火災件数(件)	4,508	4,028	4,167	4,177	3,799	3,059	2,901	4,022	3,023	3,395	3,252	3,858	44,189
割合(%)	10.2	9.1	9.4	9.5	8.6	6.9	6.6	9.1	6.8	7.7	7.4	8.7	100.0
火災100件当たりの死者数(人)	5.7	5.3	5.1	3.8	3.0	3.0	3.1	1.6	2.5	2.9	4.5	5.2	3.9
過去5年間の死者数の平均(人)	254	236	237	176	139	102	90	89	85	112	144	206	1,871
割合(%)	13.6	12.6	12.7	9.4	7.4	5.4	4.8	4.8	4.6	6.0	7.7	11.0	100.0

第4図 月別の死者発生状況



(4) 時間帯別の死者発生状況

火災による死者の時間帯別発生状況をみると、「2時台」が97人と最も多く、次いで「1時台」が94人となっており、就寝時間帯に多くの死者が発生している。一方、最も死者の少ないのは「7時台、23時台」が52人となっており、次いで「17時台」の53人、「12時台」の58人となっている。これを昼夜別にみると、夜間（「0時～6時台」及び「19時～23時台」をいう。以下同じ。）における死者は890人で51.7%、昼間（「7時～18時台」をいう。以下同じ。）における死者は751人で43.6%となっており、就寝時間帯に発生した火災により多くの死者が発生している（第5表、第5図）。

第5表 時間帯別の死者発生状況

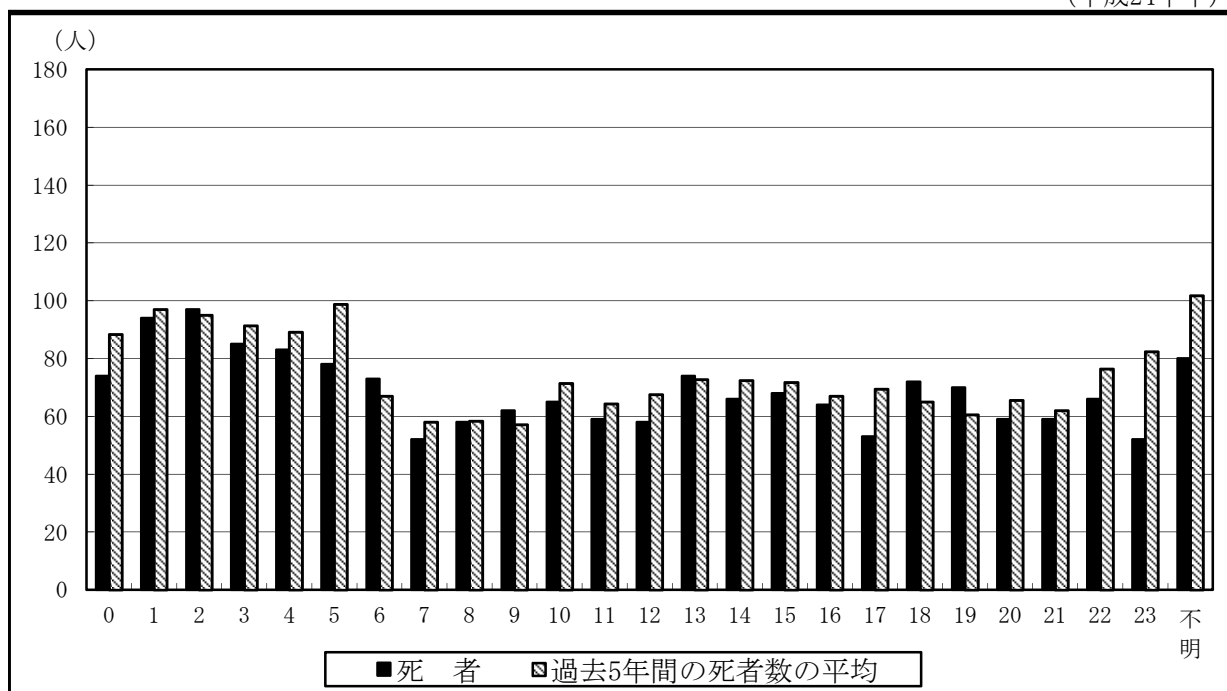
(平成24年中)

区分	時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～	12～
死者 (人)		74	94	97	85	83	78	73	52	58	62	65	59	58
	割合 (%)	4.3	5.5	5.6	4.9	4.8	4.5	4.2	3.0	3.4	3.6	3.8	3.4	3.4
過去5年間の死者数の平均 (人)		88	97	95	91	89	99	67	58	58	57	71	64	68
	割合 (%)	4.7	5.2	5.1	4.9	4.8	5.3	3.6	3.1	3.1	3.1	3.8	3.4	3.6

区分	時間帯	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～	不明	計
死者 (人)		74	66	68	64	53	72	70	59	59	66	52	80	1,721
	割合 (%)	4.3	3.8	4.0	3.7	3.1	4.2	4.1	3.4	3.4	3.8	3.0	4.6	100.0
過去5年間の死者数の平均 (人)		73	72	72	67	69	65	61	66	62	76	82	102	1,871
	割合 (%)	3.9	3.9	3.8	3.6	3.7	3.5	3.2	3.5	3.3	4.1	4.4	5.4	100.0

第5図 時間帯別の死者発生状況

(平成24年中)



(5)火災種別ごとの死者発生状況

火災種別ごとの死者発生状況をみると、「建物火災」によるものが1,324人で前年(1,339人)に比べ15人(1.1%)減少したが、死者総数に対する割合は76.9%(前年75.8%)で微増となった。また、「車両火災」による死者は、前年(145人)に比べ16人(11.0%)減少し、129人となっている。(第6表)。

第6表 火災種別ごとの死者発生状況

(平成24年中)

区 分	火災種別						
	計	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
死者数(人)	1,721	1,324	9	129	4	0	255
割合(%)	(100.0%)	(76.9%)	(0.5%)	(7.5%)	(0.2%)	(0.0%)	(14.8%)
死者の発生した火災件数(件)	1,562	1,187	9	114	2	0	250
割合(%)	(100.0%)	(76.0%)	(0.6%)	(7.3%)	(0.1%)	(0.0%)	(16.0%)

(注) ここでは、火災が2種以上にわたった場合、火災報告取扱要領の取扱いにかかわらず、死者が発生した方の火災種別による。

(6)建物用途別、階層別の死者発生状況

建物用途別の死者発生状況をみると、住宅(「一般住宅、共同住宅及び併用住宅」をいう。以下同じ。)火災での死者が1,145人で86.5%を占めている。建物階層別の死者発生状況は、「1階」での死者が859人(64.9%)と最も多く、次いで「2階」が317人(23.9%)となっている(第7表)。

第7表 建物用途別、階層別の死者発生状況

(平成24年中) (単位：人)

建物用途 階層	小計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	カラオケBOX	料理店	飲食店	物品販売店舗	旅館・ホテル	病院・診療所	グループホーム	社会福祉施設	幼稚園	
		専用住宅																	
地下2階	0																		
地下1階	0																		
1階	859	671	81	19							2	1	2	2	1				
2階	317	182	70	10									2	5					
3階	51	5	26	4										2					
4階	17		10	1															
5階	14	1	10																
6階	6		5																
7階	9		8																
8階	2		1																
9階以上	11		8																
不明	38	31	2																
合計	1,324 (割合%)	890 (100.0)	221 (86.5)	34	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.2)	1 (0.1)	4 (0.3)	9 (0.7)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
平成23年	1,339 (割合%)	956 (100.0)	207 (90.4)	47	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (0.4)	3 (0.4)	0 (0.1)	4 (0.2)	0 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

建物用途 階層	学	図	特	公	停	神	工	ス	車	航	倉	事	複	複	地	準	文	そ	
	校	書	殊	衆	車	社	場	タ	庫	空	庫	務	合	合	下	地	化	の	
階層	校	館	浴	浴	場	寺	作	ジ	駐	機	納	所	用	用	街	下	財	他	
地下2階																			
地下1階																			
1階						2	8				4	3	6	9					48
2階							4					5	13	12					14
3階													7	5					2
4階													2	4					
5階													2	1					
6階													1						
7階																			1
8階													1						
9階以上													2	1					
不明											1	2		2					
合計	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.2)	12 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (0.3)	10 (0.8)	34 (2.6)	34 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	65 (5.0)
平成23年	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (0.0)	4 (1.3)	0 (0.0)	2 (0.1)	0 (0.0)	2 (0.3)	3 (0.4)	25 (2.8)	35 (2.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	40 (2.0)

- (注) 1 この表は、放火自殺者等を含めた数である。
 2 専用住宅及び併用住宅における死者1,145人に含まれる放火自殺者等の内訳は、放火自殺者123人、放火自殺巻き添え者3人、放火殺人の犠牲者3人となっている。
 3 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は、消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。
 4 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

(7) 建物構造別の死者発生状況

建物構造別の死者発生状況をみると、「木造」での死者が858人(64.8%)と最も多く、そのうち649人(木造建物での死者の75.6%)が1階で発生している。また、建物構造別に出火件数100件当たりの死者数をみると、「木造」が8.1人、「防火造」が6.6人、「準耐木造」が2.9人、「耐火造」が2.6人の順となっている(第8、9表)。

第8表 建物構造別、焼損程度別の死者発生状況

(平成24年中)

区分		構造	木	防	準	準	耐	そ	計
		造	造	火	耐	耐	火	の	
		造	造	造	非	造	他		
死者数 (人)	計	858	165	10	55	180	56	1,324	
	割合 (%)	64.8	12.5	0.8	4.2	13.6	4.2	100.0	
	全 焼	620	80	3	17	7	29	756	
	半 焼	102	44	2	10	11	7	176	
	部分焼	72	29	3	22	135	13	274	
	ぼ や	64	12	2	6	27	7	118	
出火件数 (件)		10,651	2,502	342	2,769	6,901	2,418	25,583	
火災100件当たりの死者数 (人)		8.1	6.6	2.9	2.0	2.6	2.3	5.2	

第9表 建物構造別、焼損程度別、階層別の死者発生状況

(平成24年中)(単位:人)

焼損程度	階層 構造	地 下		地 上									不明	計	
		2階	1階	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階以上			
全 焼	木造			507	89	2								22	620
	防火造			48	27	3								2	80
	準耐火木造			2	1										3
	準耐火非木造			13	4										17
	耐火造			6			1								7
	その他の			25	2									2	29
	計		0	0	601	123	5	1	0	0	0	0	0	26	756
半 焼	木造			55	47										102
	防火造			14	29	1									44
	準耐火木造			1	1										2
	準耐火非木造			1	4	3							2		10
	耐火造			7	4										11
	その他の			4	3										7
計		0	0	82	88	4	0	0	0	0	0	0	2	176	
部 分 焼	木造			41	27	1							3		72
	防火造			9	18	1							1		29
	準耐火木造			1	2										3
	準耐火非木造			12	7	3									22
	耐火造			33	22	30	12	13	5	6	2	10	2		135
	その他の			5	6	2									13
計		0	0	101	82	37	12	13	5	6	2	10	6	274	
ぼ や	木造			46	15								3		64
	防火造			12											12
	準耐火木造			1	1										2
	準耐火非木造			3	3										6
	耐火造			9	3	5	4	1	1	3		1			27
	その他の			4	2								1		7
計		0	0	75	24	5	4	1	1	3	0	1	4	118	
計	木造	0	0	649	178	3	0	0	0	0	0	0	28		858
	防火造	0	0	83	74	5	0	0	0	0	0	0	3		165
	準耐火木造	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0		10
	準耐火非木造	0	0	29	18	6	0	0	0	0	0	0	2		55
	耐火造	0	0	55	29	35	17	14	6	9	2	11	2		180
	その他の	0	0	38	13	2	0	0	0	0	0	0	3		56
	計	0	0	859	317	51	17	14	6	9	2	11	38		1,324

(注) 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

(8) 建物用途別、構造別の火災発生件数、死者発生状況

建物用途別、構造別の死者発生状況をみると、「木造」のうち「専用住宅」での死者が762人で「木造」での死者(858人)の88.8%を占めている。また、「防火造」のうち「専用住宅」での死者は130人で防火造建物での死者(165人)の78.8%となっている。また、火災100件当たりの「住宅」の死者数をみると、「木造の一般住宅」が10.5人と最も多く、次いで「木造の共同住宅」が9.9人、「防火造の一般住宅」が8.0人となっている(第10表)。

第10表 建物用途別、構造別の死者発生状況

(平成24年中)

構造	建物用途	計	専用住宅		併 用 住 宅	劇 場 等	公 会 堂	キ ャ バ レ ー	遊 技 場	性 風 俗	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス	料 理 店	飲 食 店
			一般住宅	共同住宅									
木 造	出火件数(件)	10,651	6,836	466	365	0	18	5	2	0	0	5	245
	死者数(人)	858	716	46	18	0	0	0	0	0	0	2	1
	100件当たりの死者数(人)	8.1	10.5	9.9	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.4
防 火 造	出火件数(件)	2,502	1,314	456	72	0	7	2	1	0	1	0	42
	死者数(人)	165	105	25	7	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	6.6	8.0	5.5	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準 耐 火 木 造	出火件数(件)	342	139	71	12	0	0	0	4	0	0	0	12
	死者数(人)	10	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	2.9	3.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準 耐 火 非 木 造	出火件数(件)	2,769	296	305	51	3	8	1	23	0	4	3	103
	死者数(人)	55	16	15	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	2.0	5.4	4.9	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
耐 火 造	出火件数(件)	6,901	308	2,881	42	7	15	0	30	0	0	5	108
	死者数(人)	180	16	121	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	2.6	5.2	4.2	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	出火件数(件)	2,418	358	134	44	0	3	0	2	0	1	2	43
	死者数(人)	56	32	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	2.3	8.9	7.5	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	出火件数(件)	25,583	9,251	4,313	586	10	51	8	62	0	6	15	553
	死者数(人)	1,324	890	221	34	0	0	0	0	0	0	2	1
	100件当たりの死者数(人)	5.2	9.6	5.1	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.2

(注) 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は、消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。

構造		建物用途												
		物 品 販 売 店 舗	旅 館 ・ ホ テ ル	病 院 ・ 診 療 所	グ ル ー プ ホ ー ム	社 会 福 祉 施 設	幼 稚 園	学 校	図 書 館	特 殊 浴 場	公 衆 浴 場	停 車 場	神 社 ・ 寺 院	
木 造	出火件数(件)	49	48	6	6	19	2	4	0	0	4	10	89	
	死者数(人)	4	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	100件当たりの死者数(人)	8.2	14.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	
防 火 造	出火件数(件)	16	6	3	3	3	0	3	1	0	4	1	2	
	死者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
準 耐 火 木 造	出火件数(件)	7	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	死者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
準 耐 火 非 木 造	出火件数(件)	98	12	2	4	8	2	20	1	0	2	7	2	
	死者数(人)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
耐 火 造	出火件数(件)	140	60	82	36	31	10	195	2	4	2	29	8	
	死者数(人)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
そ の 他	出火件数(件)	33	5	6	1	6	2	12	1	0	0	6	5	
	死者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
計	出火件数(件)	343	133	102	50	67	16	234	5	4	12	54	106	
	死者数(人)	4	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	100件当たりの死者数(人)	1.2	6.8	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	

構造		建物用途											
		工場・作業場	スタジオ	車庫・駐車場	航空機格納庫	倉庫・納屋	事務所	複合用途・特定	複合用途・非特定	地下街	準地下街	文化財	その他
木造	出火件数(件)	197	1	11	1	187	176	179	114	0	0	4	1,602
	死者数(人)	2	0	0	0	1	5	5	2	0	0	0	47
	100件当たりの死者数(人)	1.0	0.0	0.0	0.0	0.5	2.8	2.8	1.8	0.0	0.0	0.0	2.9
防火造	出火件数(件)	77	0	1	0	26	40	138	171	1	0	0	111
	死者数(人)	0	0	0	0	0	0	7	13	0	0	0	8
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	7.6	0.0	0.0	0.0	7.2
準耐火木造	出火件数(件)	19	0	1	0	5	13	16	16	0	0	0	21
	死者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火非木造	出火件数(件)	919	2	23	0	130	127	148	127	0	0	1	337
	死者数(人)	5	0	0	0	2	2	0	4	0	0	0	3
	100件当たりの死者数(人)	0.5	0.0	0.0	0.0	1.5	1.6	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.9
耐火造	出火件数(件)	173	3	13	0	36	315	1,660	496	4	0	1	205
	死者数(人)	2	0	0	0	1	2	19	14	0	0	0	2
	100件当たりの死者数(人)	1.2	0.0	0.0	0.0	2.8	0.6	1.1	2.8	0.0	0.0	0.0	1.0
その他	出火件数(件)	395	1	15	0	181	152	53	50	0	0	0	907
	死者数(人)	3	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	5
	100件当たりの死者数(人)	0.8	0.0	0.0	0.0	0.6	0.7	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
計	出火件数(件)	1,780	7	64	1	565	823	2,194	974	5	0	6	3,183
	死者数(人)	12	0	0	0	5	10	34	34	0	0	0	65
	100件当たりの死者数(人)	0.7	0.0	0.0	0.0	0.9	1.2	1.5	3.5	0.0	0.0	0.0	2.0

(9) 防火対象物政令用途区分別の死者発生状況

防火対象物(政令用途区分別)の火災発生件数は、(5)項ロ(共同住宅等)での4,340件、(16)項イ(複合用途防火対象物)での2,205件、(12)項イ(工場等)での1,834件の順に多く、死者数は共同住宅等で221人、(16)項イ(複合用途防火対象物)及び(16)項ロ(複合防火対象物)で31人となっている(第11表)。死者が発生した防火対象物を建物構造別、階層別、規模別(延べ面積)で分類すると第12表のとおりであり、さらに建物構造別、焼損程度別、発生階別に分類すると、それぞれ第13表及び第14表のとおりとなっている。特に全焼の場合においては、木造建物での死者発生割合(58.3%)が高くなっている。

次に死者が発生した防火対象物における防火管理状況をみると、消防法第8条第1項に該当する防火対象物(107件)のうち、防火管理者を選任しているものは91件(85.0%)、消防計画を作成しているものは81件(75.7%)となっている(第15表)。

第11表 防火対象物政令用途区分別の火災発生件数、死者発生状況
(平成24年中)

政令用途	区分	火災発生件数 (件)	死者を伴った 火災件数 (件)	死者発生数 (人)
(一)	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	10		
	ロ 公会堂又は集会場	58		
(二)	イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブその他これらに類するもの	8		
	ロ 遊技場又はダンスホール	66		
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗 ニ カラオケボックス等	6		
(三)	イ 待合、料理店その他これらに類するもの	15	2	2
	ロ 飲食店	562	1	1
(四)	百貨店、マーケット、その他の物品販売店舗又は展示場	365	4	4
(五)	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	136	2	9
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	4,340	209	221
(六)	イ 病院、診療所又は助産所	104	1	1
	ロ グループホーム等	51		
	ハ 社会福祉施設等	69		
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	17		
(七)	小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学	258		
(八)	図書館、博物館、美術館	7		
(九)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場	4		
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	13		
(十)	車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	59		
(十一)	神社、寺院、教会	118	2	2
(十二)	イ 工場、作業場	1,834	11	12
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	7		
(十三)	イ 自動車車庫、駐車場	69		
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫	1		
(十四)	倉庫	569	4	5
(十五)	前各項に該当しない事業所	852	7	10
(十六)	イ (一)～(四)、(五)イ、(六)、(九)イを含む複合用途防火対象物	2,205	31	34
	ロ イに掲げる複合防火対象物以外の複合防火対象物	978	31	34
(十六)の2	地下街	5		
(十六)の3	準地下街	1		
(十七)	重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	6		
(十八)	延長50メートル以上のアーケード			
(十九)	市町村長の指定する山林	28		
(二十)	自治省令で定める舟車	2		
計		12,823	305	335

(注) 死者の発生した対象物の用途にかかわらず、出火した火元の対象物の用途別の数を示す。

第12表 防火対象物政令用途区分別、建物構造別、階層別、規模別の死者を伴った火災発生状況

(平成24年中) (単位：件)

区分	料	飲	物	旅	共	病	グ	社	幼	学	神	停	工	車	倉	事	複	複	計
	理	食	品	館	同		ル	会	稚	校	社	車	場	庫	庫	務	合	合	
	店	店	販	・	住	院	プ	社	園		・	場	・	庫	所	務	用	用	
	舗	舗	売	ホ	宅		ホ	福			寺	作	駐			所	途	途	
	店	店	店	テ	宅		ム	施		校	院	業	車			所	特	非	
	舗	舗	舗	ル	宅		ム	設				場	場			所	定	特	
	舗	舗	舗	ル	宅		ム	設				場	場			所	定	特	
出火件数	2	1	4	2	209	1	2	0	0	0	0	0	11	4	0	7	31	31	305
建物構造	木造	2	1	4	1	43		2					2	1		2	5	2	65
	防火造					23											6	11	40
	準耐火木造					4												1	5
	準耐火非木造				1	15							4	1		2		3	26
	耐火造					117	1						2	1		2	17	14	154
	その他					7							3	1		1	3		15
階層	地下3階以下																		0
	地下2階																	1	1
	地下1階					9										1	1	4	15
	1	1			1	4					1		5		4	3	1	1	21
	2	1	1	4		84					1		4			3	10	12	120
	3					28							1				6	8	43
	4				1	24							1				2	5	33
	5					32											2	2	36
	6					5											1	1	7
	7					5												1	6
	8					2	1										2		5
	9					8											1		9
	10					5											2		7
	11					5										1	1		7
	12					1													1
	13					1													1
	14					4											3	1	8
	15					1													1
	16階以上																		0
	不明																		0
計	2	1	4	2	218	1	0	0	0	0	2	0	11	0	4	8	32	36	321
延べ面積 (㎡)	～150	2	1	1		19					1		7		2	4	4	4	45
	151～300			2		62					1				1	1	7	11	85
	301～500			1		27									1	1	3	4	37
	501～1,000					21							1				6	7	35
	1,001～				2	80	1						3			1	11	5	103

(注) 階層は死者の発生した階ではなく、単に建物の階層を表している。地階と地上階の数は重複する場合もある。

第14表 防火対象物区分別、建物階層別の死者発生状況

(平成24年中) (単位：人)

政令用途	区分	地下	地下	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	不明	計
		2階	1階											以上		
(二)	イ															0
	ロ															0
(三)	イ			2												2
	ロ			1												1
(四)				2	2											4
(五)	イ			2	5	2										9
	ロ			81	70	26	10	10	5	8	1		3	5	2	221
(六)	イ			1												1
	ロ															0
	ハ															0
(七)	ロ															0
(九)	イ															0
(十一)				2												2
(十二)	イ			8	4											12
(十三)	イ															0
(十四)				4											1	5
(十五)				3	5										2	10
(十六)	イ			6	13	7	2	2	1		1	1		1		34
	ロ			9	12	5	4	1						1	2	34
計		0	0	121	111	40	16	13	6	8	2	1	3	7	7	335

(注) 区分は建物の階層ではなく、死者の発生した場所の存する階を示している。

第15表 死者が発生した防火対象物の防火管理等の状況

(平成24年中) (単位：件)

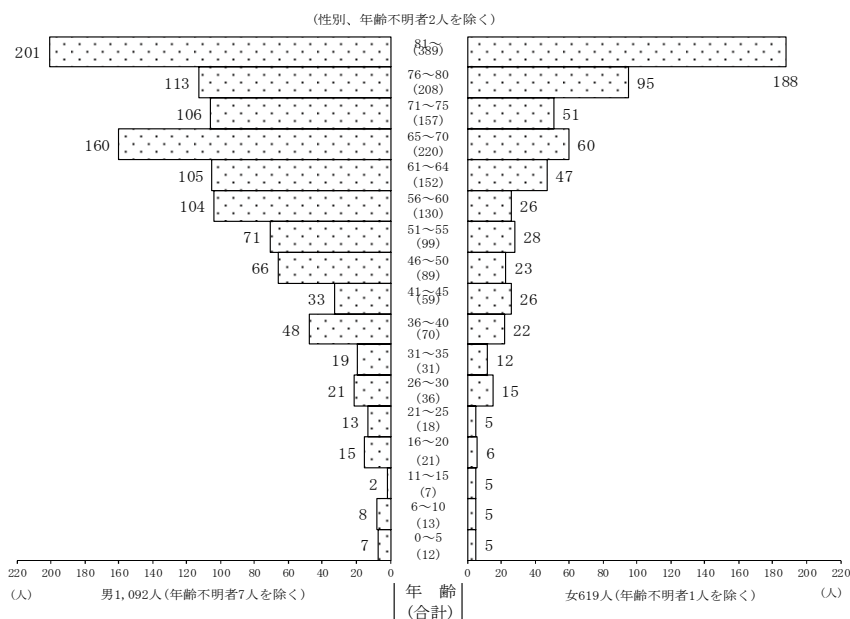
政令用途	区分	防火対象物において 死者が発生した火災	消防法第8条第1項に該当する対象物	
			防火管理者選任済 対象物	消防計画内容適正 対象物
(三)	イ	2		
	ロ	1		
(四)		4		
(五)	イ	2	2	2
	ロ	209	74	64
(六)	イ	1	1	1
(十一)		2		
(十二)	イ	11	3	3
(十四)		4	2	2
(十五)		7	1	1
(十六)	イ	31	18	14
	ロ	31	6	4
計		305	107 (100.0%)	91 (85.0%)
				81 (75.7%)

(注) 防火管理者選任済対象物は届出済の件数を示す。

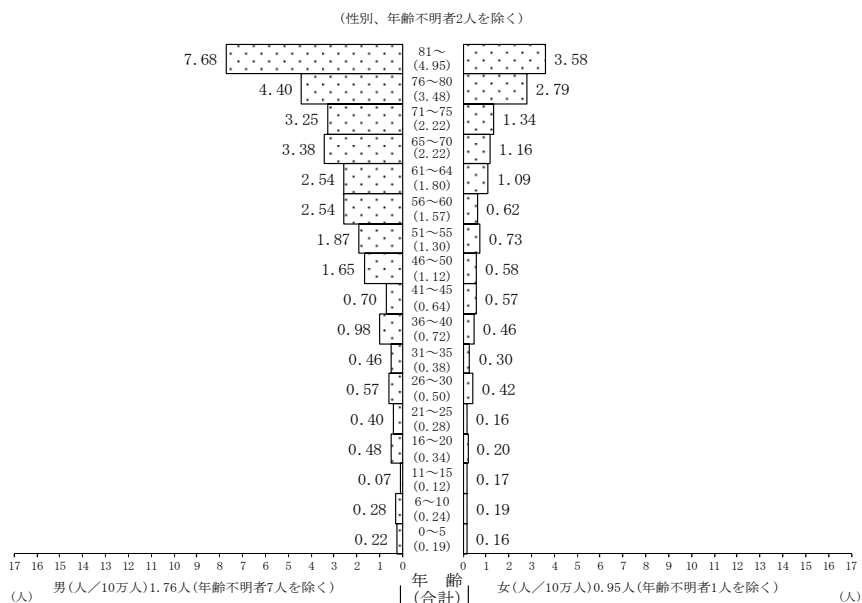
(10) 年齢別、性別の死者発生状況

年齢別の火災による死者発生状況をみると、「81歳以上」が389人で最も多く、次いで「65～70歳」の220人となっており、65歳以上の高齢者は974人で全死者(1,721人)の56.6%を占めている。また、性別では、「11歳から15歳」の年齢層を除いて「男性」が上回っており、全死者の63.5%(1,099人)を占めている(第6図)。年齢別及び性別の人口10万人当たりの死者発生状況をみると、年齢層が高くなるにしたがって増加して(第7図)。

第6図 年齢別、性別の死者発生状況



第7図 年齢別の人口10万人当たりの死者数



(注)1 ()は、年齢別人口10万人当たりの死者数を示す。

2 人口は、平成24年10月1日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。

(11) 1件で3人以上の死者を出した火災

1件で3人以上の死者を出した火災は18件で、前年(15件)より3件増加している。これによる死者は63人で、前年(56人)より7人(12.5%)増加している(第16表)。

第16表 1件で3人以上の死者を出した火災の都道府県別発生状況

(平成24年中)

区分 都道府県	死者数 (人)	火災件数 (件)	火災1件で発生した死者数別の火災件数(件)						
			3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	計
山形	21	415	2						2
群馬	38	864		1					1
千葉	91	2,098	2						2
東京	116	5,131	1						1
新潟	51	697		2					2
富山	19	218	2						2
山梨	31	424	1		1				2
三重	18	714	1						1
滋賀	16	407	1						1
兵庫	70	2,063	1						1
広島	41	1,027						1	1
山口	34	566	1						1
愛媛	32	523	1						1
計	578	15,147	13	3	1	0	1	0	18
死者数(人)			39	12	5	0	7	0	63

ア 火災種別別発生状況

火災種別についてみると「建物火災」によるものが12件41人、「車両火災」によるものが4件15人となっている(第17表)。

第17表 1件で3人以上の死者を出した火災の火災種別別発生状況

(平成24年中)(単位:件、人)

火災種別		区分	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	計
建物火災	全 焼		10 (30)	1 (4)			1 (7)		12 (41)
	半 焼								0 (0)
	部 分 焼								0 (0)
	ぼ や								0 (0)
車両火災			2 (6)	1 (4)	1 (5)				4 (15)
船舶火災			1 (3)						1 (3)
その他の火災				1 (4)					1 (4)
合 計			13 (39)	3 (12)	1 (5)	0 (0)	1 (7)	0 (0)	18 (63)

(注) ()は、死者数を表す。

イ 時間帯別発生状況

時間帯別にみると、「6時台」が最も多く13人、次いで「11時台」が10人となっており、これを昼夜別にみると、夜間における死者は38人で死者の60.3%を占め、就寝時間帯に多くの死者が発生している(第18表)。

第18表 1件で3人以上の死者を出した火災の時間帯別発生状況

(平成24年中)

区分		時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～
出火件数 (件)				1	2	2	2		3
死者数 (人)				3	6	6	7		13
区分		時間帯	7～	8～	9～	10～	11～	12～	13～
出火件数 (件)				2			1	3	
死者数 (人)				8			4	10	
区分		時間帯	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～
出火件数 (件)							1		
死者数 (人)							3		
区分		時間帯	21～	22～	23～	不 明	計		
出火件数 (件)				1			18		
死者数 (人)				3			63		

ウ 建物用途別、階層別発生状況

建物用途別にみると、「専用住宅」での死者が25人で最も多く建物火災全体の39.7%を占めている。死者の発生した階層別にみると、2階における死者が36.5%(23人)を占めている(第19表)。

第19表 1件で3人以上の死者を出した建物火災の建物用途別、階層別の死者発生状況

(平成24年中)(単位:件、人)

区 分	出火件数 (件)	死 者 数 (人)						
		合 計	一般 住宅	共同 住宅	併用住宅	旅館	事務所	その他
			専用住宅					
屋外		0						
地下1階		0						
地上1階	7	14	13					1
2階	4	23	11		3	5	2	2
3階		2				2		
4階		0						
5階以上		0						
不明	1	24	1				1	22
合計	12	63	25	0	3	7	3	25
			25					

(注) 出火件数の階は出火階を示す。

(12) 出火原因別の死者発生状況

出火原因別の死者発生状況をみると、最も多いのは「放火」で366人、次いで「たばこ」の180人、「ストーブ」の135人となっている。なお、死者発生状況を年齢層別で見ると、「たばこ」、「ストーブ」、「こんろ」、「電灯・電話線」、「マッチ・ライター」、「灯火」、「たき火」、「火入れ」、「こたつ」等を原因とする火災による死者は、高齢者層の割合が高くなる傾向にある(第20表)。

第20表 出火原因別の死者発生状況

(平成24年中)

区分	年齢																		不明	計
	0～	6～	11～	16～	21～	26～	31～	36～	41～	46～	51～	56～	61～	65～	71～	76～	81～			
放 火				5	7	13	11	29	24	34	28	39	39	56	27	31	20	3	366	
た ば こ	1					1		5	5	9	13	15	25	32	23	23	28		180	
ス ト ー ブ		1		1	1	2		2	2	5	5	5	9	15	11	24	52		135	
こ ん ろ		3	1		1	1		3	3	4	4	7	4	4	9	14	23	2	83	
放 火 疑 い					1	2	5	2	4	5	8	10	12	9	6	4	3		71	
電 灯 ・ 電 話 線	2	1						2			1	4	4	7	5	4	17		47	
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー				1			1	1	1		3	1	2	6	3	7	16		42	
灯 火									1		1	3	2	2	4	8	16		37	
た き 火													1	2	3	6	23		35	
配 線 器 具				1		1			1	1		1	5	3	7	3	6		29	
排 気 管						5	2	2		1				1	2				13	
火 花				2	2	2	1	3							1				11	
火 入 れ											1			1		1	8		11	
こ た つ												1	1	1	1		5		9	
電 気 機 器			1	2					1	1						2	1		8	
風 呂 か ま ど											1	1				1	1		4	
火 あ そ び	2															1	1		4	
溶 接 機								1		1	1			1					4	
煙 突 ・ 煙 道			1									1							2	
取 灰														1			1		2	
か ま ど																	1		1	
焼 却 炉																	1		1	
そ の 他		1		2	2		4	2	3	5	4	7	6	10	6	8	17		77	
不 明 調 査 中	7	7	4	7	4	9	7	18	14	23	29	35	42	69	49	71	149	5	549	
計	12	13	7	21	18	36	31	70	59	89	99	130	152	220	157	208	389	10	1,721	

3 放火自殺者を除いた死者の実態について

平成24年中の放火自殺者(心中の道づれを含む。以下同じ。)を除いた火災による死者は、前年の1,348人に比べ14人減少して1,334人発生している(第1表、第1図)。

(1) 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況

放火自殺者を除いた月別の死者発生状況を見ると、「12月」から「3月」の4ヶ月は年間の月平均111.2人を大きく上回る160人以上発生しており、この期間で54.2%に当たる723人の死者が発生している。一般的にこの時季は、暖房器具等の火気を使用する機会が多く、空気も乾燥しているため火災が発生しやすく、それに伴って死者も多いものと考えられる(第21表及び第8図)。

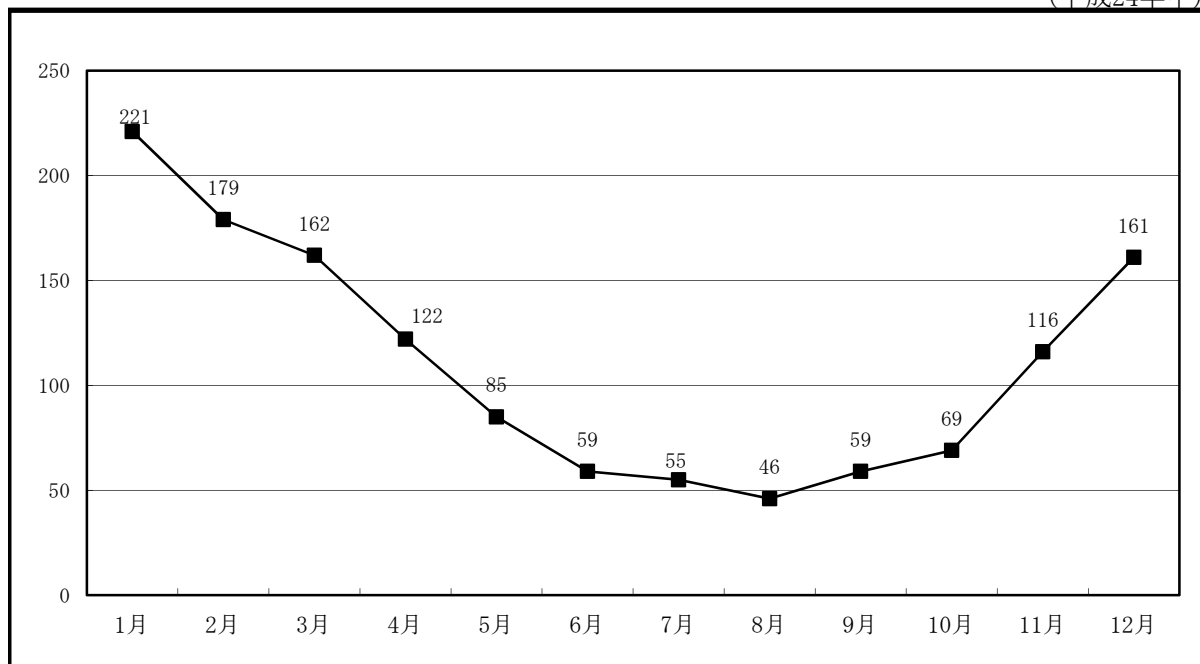
第21表 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況

(平成24年中)

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
死者(人)	221	179	162	122	85	59	55	46	59	69	116	161	1,334
割合(%)	16.6	13.4	12.1	9.1	6.4	4.4	4.1	3.4	4.4	5.2	8.7	12.1	100.0

第8図 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況

(平成24年中)



(2) 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況

放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況を見ると、「2時台」が86人と最も多く、次いで「1時台」が79人、「3時台」が73人となっている。一方、死者の発生が少ないのは、「7時台」の33人、「12時台」の38人、「11時台」の40人となっている(第22表、第9図)。

第22表 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況

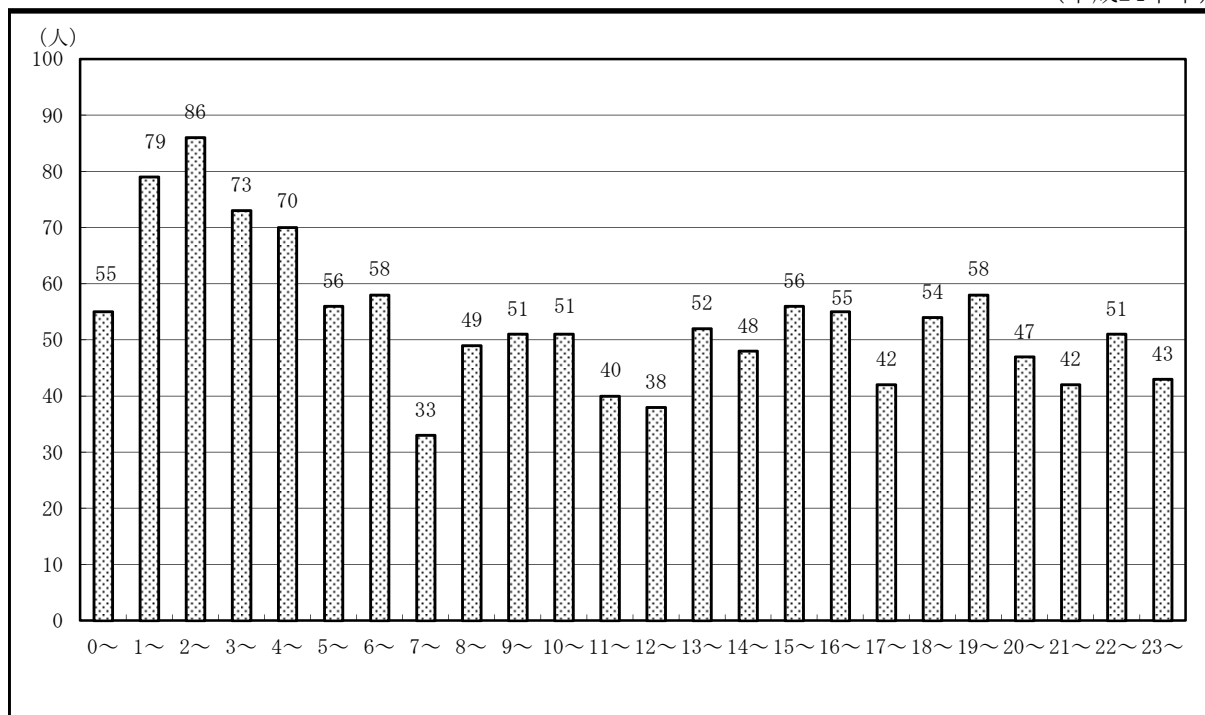
(平成24年中)

区分 \ 時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～	12～
死者(人)	55	79	86	73	70	56	58	33	49	51	51	40	38
割合(%)	4.1	5.9	6.4	5.5	5.2	4.2	4.3	2.5	3.7	3.8	3.8	3.0	2.8

区分 \ 時間帯	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～	不明	計
死者(人)	52	48	56	55	42	54	58	47	42	51	43	47	1,334
割合(%)	3.9	3.6	4.2	4.1	3.1	4.0	4.3	3.5	3.1	3.8	3.2	3.4	100.0

第9図 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況

(平成24年中)



(注) 死亡時刻不明47名を除く。

(3) 放火自殺者を除いた火災種別ごとの死者発生状況

放火自殺者を除いた火災種別ごとの死者発生状況をみると、「建物火災」による死者が1,175人で死者総数の9割弱を占めている。また、前年に比べ「車両火災」による死者が11人増加している。(第23表)。

第23表 放火自殺者を除いた死者の火災種別ごとの発生状況

(平成24年中)

区分	火災種別	計	建 物 火 災					林野 火災	車両 火災	船舶 火災	航空機 火災	その他 の火災
			全焼	半焼	部分焼	ぼや	不明					
死者数 (人)		1,334	717	155	214	73	16	9	69	4	0	77
割 合 (%)		(100.0%)	1,175 (88.1%)					(0.7%)	(5.2%)	(0.3%)	(0.0%)	(5.8%)
死者の出た火災件数 (件)		1,179	608	144	203	71	14	9	56	2	0	72
割 合 (%)		(100.0%)	1,040 (88.2%)					(0.8%)	(4.7%)	(0.2%)	(0.0%)	(6.1%)

(4) 放火自殺者を除いた建物用途別、階層別の死者発生状況

放火自殺者を除いた建物用途別の死者発生状況をみると、「住宅」での死者が1,022人で全体の87.0%を占めていることから、住宅防火対策を一層推進していくことが重要である。放火自殺者を除いた建物階層別の死者発生状況をみると、「1階」での死者が774人(65.9%)、「2階」が274人(23.3%)と「1階」と「2階」で全体の89.2%を占めている。また、「3階」以上での死者(96人)のうち、共同住宅での死者が57人、「複合用途特定」及び「複合用途非特定」での死者が23人で合わせて83.3%を占めている(第24表)。

第24表 放火自殺者を除いた建物用途別、階層別の死者発生状況
(平成24年中)(単位:人)

区分 階層	計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	カラオケボックス	料理店	飲食店	物品販売店舗	旅館ホテル	病院診療所	グループホーム	社会福祉施設	幼稚園
		専用住宅																
地下2階	0																	
地下1階	0																	
1階	774	620	67	15							2	1	2	2				
2階	274	158	56	10									2	5				
3階	46	5	22	4										2				
4階	13		7	1														
5階	13	1	10															
6階	5		4															
7階	8		7															
8階以上	11		7															
不明	31	27	1															
合計	1,175	811	181	30	0	0	0	0	0	0	2	1	4	9	0	0	0	0
(割合%)	(100.0)	(87.0)	(15.7)	(2.5)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.1)	(0.3)	(0.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
平成23年	1,186	857	179	42	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	4	0	0	0
(割合%)	(100.0)	(90.9)	(15.1)	(3.5)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(0.3)	(0.0)	(0.3)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)

区分 階層	学校	図書館	特殊浴場	公衆浴場	停車場	神社	工場作業所	スタジオ	車庫駐車場	航空機格納庫	倉庫	事務所	複合用途特定	複合用途非特定	地下街	準地下街	文化財	その他
	地下2階																	
地下1階																		
1階						1	8				2	1	5	9				39
2階							4					5	11	11				12
3階													6	5				2
4階													2	3				
5階													1	1				
6階													1					
7階																		1
8階以上													3	1				
不明												1		2				
合計	0	0	0	0	0	1	12	0	0	0	2	7	29	32	0	0	0	54
(割合%)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(1.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.6)	(2.5)	(2.7)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(4.6)
平成23年	0	0	0	0	0	7	3	0	1	0	1	3	20	32	0	0	0	30
(割合%)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.6)	(0.3)	(0.0)	(0.1)	(0.0)	(0.1)	(0.3)	(1.7)	(2.7)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(2.5)

(注)1. 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。

2. 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

(5) 放火自殺者を除いた建物構造別の死者発生状況

放火自殺者を除いた建物構造別の死者発生状況をみると、「木造」での死者が最も多く782人で66.6%を占め、次いで「耐火造」での死者が153人(13.0%)となっている。また、火災件数と死者数を建物構造別に火災件数100件当たりの割合で見ると、「木造」が6.4件(7.3人)と最も多く、次いで「防火造」が4.9件(5.7人)、「耐火造」2.1件(2.2人)となっている(第25、26表)。

第25表 放火自殺者を除いた建物構造別、焼損程度別、階層別の死者発生状況
(平成24年中)(単位:人)

焼損程度	階層別 構造	地下 2階	地下 1階	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階 以上	不明	計
		全焼	木造			484	86	2					
	防火造			46	26	3						2	77
	準耐火木造			1	1								2
	準耐火非木造			12	4								16
	耐火造			5									5
	その他			20	2							1	23
	計	0	0	568	119	5	0	0	0	0	0	25	717
半焼	木造			48	42								90
	防火造			11	26	1							38
	準耐火木造				1								1
	準耐火非木造				4	3						1	8
	耐火造			7	4								11
	その他			4	3								7
	計	0	0	70	80	4	0	0	0	0	0	1	155
部分焼	木造			28	18	1						1	48
	防火造			8	9	1							18
	準耐火木造			1	1								2
	準耐火非木造			11	7	3							21
	耐火造			26	19	28	10	12	5	5	10	2	117
	その他			4	3	1							8
	計	0	0	78	57	34	10	12	5	5	10	3	214
ぼや	木造			37	11							2	50
	防火造			9									9
	準耐火木造			1	1								2
	準耐火非木造			3	2								5
	耐火造			6	3	3	3	1		3		1	20
	その他			2	1								3
	計	0	0	58	18	3	3	1	0	3	0	3	89
計	木造	0	0	597	157	3	0	0	0	0	0	25	782
	防火造	0	0	74	61	5	0	0	0	0	0	2	142
	準耐火木造	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	7
	準耐火非木造	0	0	26	17	6	0	0	0	0	0	1	50
	耐火造	0	0	44	26	31	13	13	5	8	10	3	153
	その他	0	0	30	9	1	0	0	0	0	0	1	41
	計	0	0	774	274	46	13	13	5	8	10	32	1,175

第26表 放火自殺者を除いた死者の建物構造別による火災100件当たりの
火災発生及び死者の状況

(平成24年中)(単位:件、人)

区分		構造別	木造	防火造	準耐火木造	準耐火非木造	耐火造	その他	計
火災 件数	出火件数		10,651	2,502	342	2,769	6,901	2,418	25,583
	放火自殺者を除いた死者を 伴った火災件数		686	122	7	42	147	36	1,040
	火災100件当たりの割合		6.4	4.9	2.0	1.5	2.1	1.5	4.1
死者 数	放火自殺者を除いた死者数		782	142	7	50	153	41	1,175
	火災100件当たりの割合		7.3	5.7	2.0	1.8	2.2	1.7	4.6

(6) 放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者発生状況

放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者発生状況をみると、「木造」のうち「住宅」での死者が717人(一般住宅662人、共同住宅40人、併用住宅15人)で91.7%を占めている。また、「防火造」のうち「住宅」での死者は117人(一般住宅91人、共同住宅20人、併用住宅6人)で82.4%となっている。

「住宅」における火災100件当たりの死者の割合を構造別にみると、「木造」、「防火造」において、ともに高い割合となっている(第27表)。

第27表 放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者状況

(平成24年中)

区分	計	専用住宅		併用住宅	劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	カラオケボックス	料理店	飲食店舗待合	物品販売店舗	旅館・ホテル	病院・診療所	グループホーム	社会福祉施設	幼稚園	
		一般住宅	共同住宅																
木造	出火件数(件)	10,576	6,783	460	362	0	18	5	2	0	0	5	245	49	48	6	6	19	2
	死者(人)	782	682	40	15	0	0	0	0	0	0	2	1	4	7	0	0	0	0
	100件当たりの死者(人)	7.4	9.8	8.7	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.4	8.2	14.6	0.0	0.0	0.0	0.0
防火造	出火件数(件)	2,479	1,300	451	71	0	7	2	1	0	1	0	42	16	6	3	3	3	0
	死者(人)	142	91	20	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者(人)	5.7	7.0	4.4	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火木造	出火件数(件)	339	137	70	12	0	0	0	4	0	0	12	7	2	3	0	0	0	
	死者(人)	7	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者(人)	2.1	2.2	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
準耐火非木造	出火件数(件)	2,764	295	302	51	3	8	1	23	0	4	3	103	98	12	2	4	8	
	死者(人)	50	15	12	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
	100件当たりの死者(人)	1.8	5.1	4.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
耐火造	出火件数(件)	6,874	307	2861	42	7	15	0	30	0	0	5	108	140	60	81	36	31	
	死者(人)	153	15	101	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者(人)	2.2	4.9	3.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	出火件数(件)	2,404	351	130	44	0	3	0	2	0	1	2	43	33	5	6	1	6	
	死者(人)	41	25	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者(人)	1.7	7.1	3.8	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
計	出火件数(件)	25,436	9,173	4,274	582	10	51	8	62	0	6	15	553	343	133	101	50	67	
	死者(人)	1,175	811	181	30	0	0	0	0	0	0	2	1	4	9	0	0	0	
	100件当たりの死者(人)	4.6	8.8	4.2	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.2	1.2	6.8	0.0	0.0	0.0	

区分	計	学校	図書館	特殊浴場	公衆浴場	停車場	神社	工場・作業場	スタジアム	車庫・駐車場	航空機・格納庫	倉庫	事務所	複合用途特定	複合用途非特定	地下街	準地下街	文化財	その他
死者(人)	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	5	3	2	0	0	0	38
100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	1.7	1.8	0.0	0.0	0.0	2.4
防火造	出火件数(件)	3	1	0	4	1	2	77	0	1	0	26	40	137	170	1	0	0	110
	死者(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	12	7	0	0	0	7
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	7.1	0.0	0.0	0.0	6.4
準耐火木造	出火件数(件)	0	0	0	1	0	19	0	1	0	5	13	16	16	1	0	0	0	21
	死者(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火非木造	出火件数(件)	20	1	0	2	7	2	919	2	23	0	130	126	148	127	0	0	1	337
	死者(人)	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	2	1	4	4	0	0	0	3
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.8	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.9
耐火造	出火件数(件)	195	2	4	2	29	8	173	3	13	0	35	313	1659	495	4	0	1	205
	死者(人)	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	2
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	2.6	0.0	0.0	0.0	1.0
その他	出火件数(件)	12	1	0	0	6	5	395	1	15	0	180	152	52	50	0	0	0	906
	死者(人)	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
計	出火件数(件)	234	5	4	12	54	105	1780	7	64	1	562	820	2189	972	5	0	6	3,172
	死者(人)	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	2	7	29	32	0	0	0	54
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	1.3	3.3	0.0	0.0	0.0	1.7

(注) 1. 出火件数とは、建物火災件数から放火自殺者出火件数を除いたものをいう。
 2. 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。

(7) 死因別の死者発生状況

放火自殺者を除いた死因別の死者発生状況をみると、「火傷」による死者が581人で放火自殺者を除いた死者(1,334人)の43.6%を占め、次いで「一酸化炭素中毒・窒息」による死者が535人で40.1%となっている。

第28表 放火自殺者を除く死因別の死者及び放火自殺者の発生状況

(単位:人、%)

区分 年	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲 骨折等	その他	不明	小計	放火 自殺	合計
平成10年	507 (42.0)	571 (47.3)	5 (0.4)	37 (3.1)	86 (7.1)	1,206 (100.0)	856 [41.5]	2,062
平成11年	555 (41.2)	637 (47.3)	5 (0.4)	53 (3.9)	96 (7.1)	1,346 (100.0)	776 [36.6]	2,122
平成12年	564 (43.3)	605 (46.5)	5 (0.4)	32 (2.6)	96 (7.4)	1,302 (100.0)	732 [36.0]	2,034
平成13年	576 (41.4)	640 (46.0)	4 (0.3)	41 (2.8)	129 (9.3)	1,390 (100.0)	805 [36.7]	2,195
平成14年	581 (42.3)	623 (45.4)	5 (0.4)	37 (2.8)	126 (9.2)	1,372 (100.0)	863 [38.6]	2,235
平成15年	602 (42.0)	625 (43.6)	7 (0.5)	67 (4.7)	132 (9.2)	1,433 (100.0)	815 [36.3]	2,248
平成16年	589 (42.7)	590 (42.8)	9 (0.7)	53 (3.9)	139 (10.1)	1,380 (100.0)	624 [31.1]	2,004
平成17年	674 (43.2)	671 (43.0)	1 (0.0)	64 (4.1)	149 (9.6)	1,559 (100.0)	636 [29.0]	2,195
平成18年	626 (42.4)	687 (46.6)	2 (0.1)	57 (3.9)	103 (7.0)	1,475 (100.0)	592 [28.6]	2,067
平成19年	613 (42.9)	650 (45.5)	5 (0.3)	50 (3.5)	112 (7.8)	1,430 (100.0)	575 [28.7]	2,005
平成20年	610 (42.5)	628 (43.8)	5 (0.3)	47 (3.3)	144 (10.0)	1,434 (100.0)	535 [27.2]	1,969
平成21年	565 (43.0)	571 (43.5)	13 (1.0)	49 (3.7)	115 (8.8)	1,313 (100.0)	564 [30.0]	1,877
平成22年	559 (42.8)	531 (40.7)	3 (0.2)	63 (4.8)	149 (11.4)	1,305 (100.0)	433 [24.9]	1,738
平成23年	563 (41.8)	544 (40.4)	5 (0.4)	60 (4.5)	176 (13.1)	1,348 (100.0)	418 [23.7]	1,766
平成24年	535 (40.1)	581 (43.6)	4 (0.3)	67 (5.0)	147 (11.0)	1,334 (100.0)	387 [22.5]	1,721

第29表 建物構造別、焼損程度別、死因別の死者及び放火自殺者の発生状況

(平成24年中)(単位:人)

区分	全 焼								半 焼								部 分 焼								
	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	
死者数	木造	255	235	1	27	76	594	26	620	49	29		5	7	90	12	102	24	20		1	3	48	24	72
	防火造	36	35		1	5	77	3	80	20	17			1	38	6	44	8	7		2	1	18	11	29
	準耐火木造					2	2	1	3		1				1	1	2	1				1	2	1	3
	準耐火非木造	9	6			1	16	1	17	3	3			2	8	2	10	15	6				21	1	22
	耐火造		2		2	1	5	2	7	5	3		1	2	11		11	53	48		3	13	117	18	135
	その他	7	11		2	3	23	6	29	4	2			1	7		7	4	4				8	5	13
計	307	289	1	32	88	717	39	756	81	55	0	6	13	155	21	176	105	85	0	6	18	214	60	274	

区分	ぼ や								不 明								合 計								
	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	
死者数	木造	10	30		2	2	44	14	58	4	1		1		6		6	342	315	1	36	88	782	76	858
	防火造	3	5				8	2	10	1				1	1	2	68	64	0	3	7	142	23	165	
	準耐火木造	1	1				2		2								2	2	0	0	3	7	3	10	
	準耐火非木造	1	2				3	1	4		2			2		2	28	19	0	0	3	50	5	55	
	耐火造	4	7		2		13	7	20	3	2		2	7		7	65	62	0	8	18	153	27	180	
	その他	1	1			1	3	4	7								16	18	0	2	5	41	15	56	
計	20	46	0	4	3	73	28	101	8	5	0	1	2	16	1	17	521	480	1	49	124	1,175	149	1,324	

(8) 死に至った経過と年齢別の死者発生状況

死に至った経過別の死者発生状況を見ると、「逃げ遅れ」が713人で放火自殺者を除く死者総数(1,334人)の53.4%を占め、次いで「着衣着火」が124人で9.3%、「出火後再進入」が20人で1.5%となっている。「逃げ遅れ」の死者を詳しくみると、「病気・身体不自由」が176人で「逃げ遅れ」による死者(713人)の24.7%を占め、次いで「熟睡」が114人で16.0%と高い割合を示している(第30表)。次に、放火自殺者を除いた年齢別の死者発生状況を見ると、高齢者の死者が多く、「81歳以上」が372人、次いで「76歳～80歳」が182人となっており、65歳以上の高齢者の死者(839人)が放火自殺者を除く死者総数(1,334人)の62.9%を占めている(第10図、第31表)。また、放火自殺者を除いた死者の年齢別の人口10万人当たりの死者発生状況をもみても同様に、高齢者の死者発生の割合が非常に高くなっている(第11図)。高齢者人口は今後更に増加すると予想されるので、高齢者に対する火災予防対策をより一層推進することが必要である。

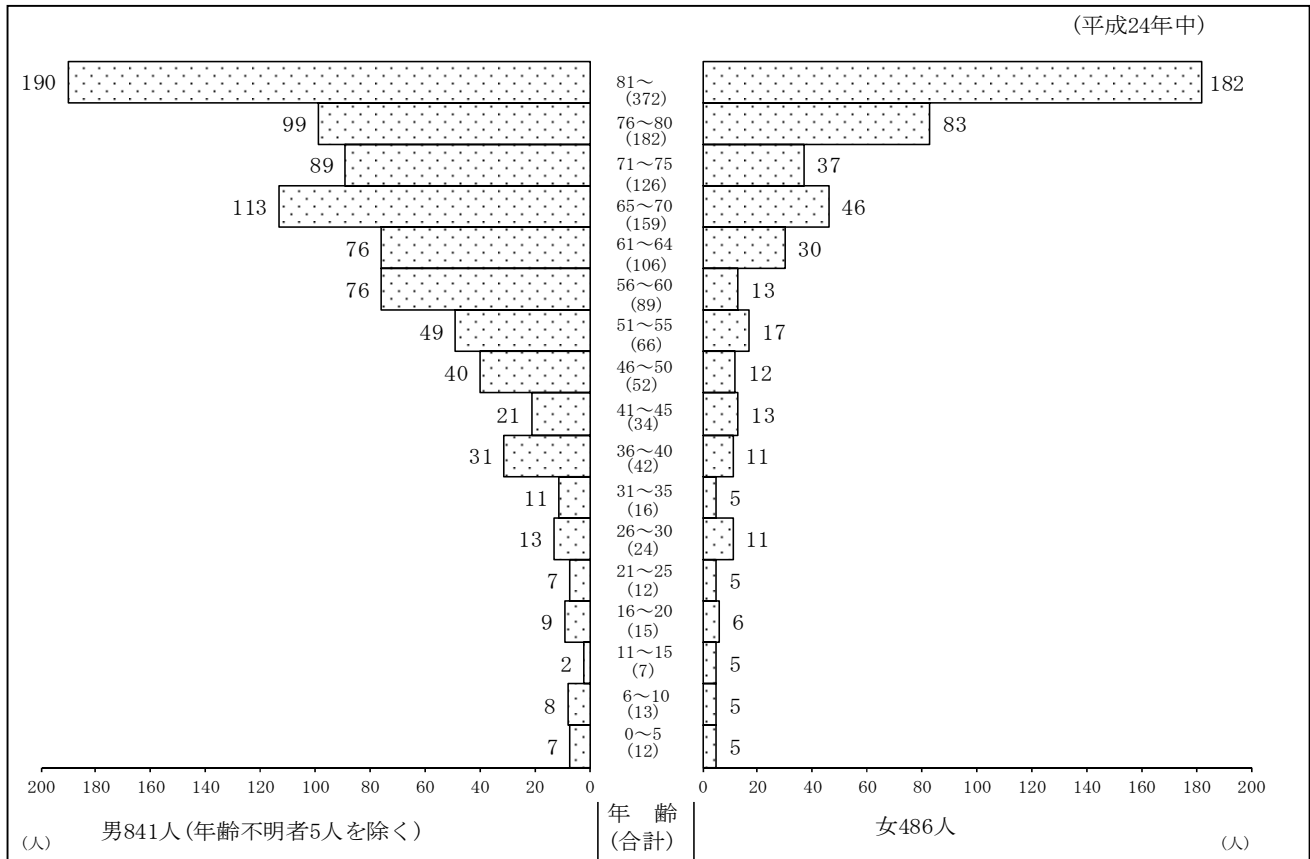
第30表 死に至った経過と年齢別の死者発生状況

年 齢 区 分 等	逃 げ 遅 れ																							
	発見が遅れ、 気付いた時は火 煙が回り、既に 逃げ道がなかつ たと思われるも の 〔 全く気づかなか った場合を 〕				判断力に欠け、ある いは、体力的条件が 悪く、ほとんど避難 できなかったと思わ れるもの				延 焼 拡 大 が早かった等 のため、ほと んど避難でき なかつたと思 われるもの				逃げれば逃げられたが、 逃げる機会を失つたと思 われるもの				避難行動を起こして いるが、逃げきれな かつたと思われるも の 〔 一応自力避難したが、 避難中、火傷、ガス吸 引により、病院等で 死亡した場合を含む。 〕							
	熟 睡	泥 酔	病 気 ・ 身 体 不 自 由	そ の 他	乳 児	泥 酔	病 気 ・ 身 体 不 自 由	老 衰	そ の 他	ガ ス 爆 発 の た め	危 険 物 燃 焼 の た め	そ の 他	ろ う ば い し て	持 出 品 ・ 服 装 に 気 を と ら れ	火 災 を ふ れ 回 っ て い る う ち	消 火 し よ う と し て	人 を 救 助 し よ う と し て い て	そ の 他	身 体 不 自 由 の た め	延 焼 拡 大 が 早 く	逃 げ 道 を 間 違 え て	出 入 口 施 錠 の た め	そ の 他	
0～5	3			1	7																			
6～10	2			2				3															3	
11～15	3																				2			
16～20	3	1		1						1	1				1									1
21～25	1					1	1				2													1
26～30				1						1	3	6				1					1			4
31～35	2			1							1										1	1		3
36～40	3			3					1	4	1	1						1			2			3
41～45	2			1		1	3									1	1				2			4
46～50	5	1	1	3			1	1	2		3		1		2	2	1	1	1	4				3
51～55	4	2	1	3			3	1								8		2	3	4			1	3
56～60	9	4	1	5		1	2		1	2		1			3	1			4	4				5
61～64	14	3	2	4		2	4		4		1	2		1	4	1	1	7	4					2
65～70	12	3	4	13		1	10		2	3		5	1	2	5	2	1	10	5					6
71～75	11	1	6	6			6		3			3		2	10	2	1	10	6					5
76～80	14		8	14			4		3		1	4			10		1	16	12			2		9
81～	26		10	19			21	8	6		1	2	1	1	18	1	5	37	12	4		2		17
不明																								
合計	114	15	33	77	7	6	55	8	24	11	13	27	3	7	2	62	10	13	88	59	8	5	66	
(割合%)	239 (17.9)				100 (7.5)				51 (3.8)				97 (7.3)				226 (16.9)							
	713 (53.4)																							
平成23年	127	20	29	50	5	8	60	15	12	5	6	26	7	2	1	56	7	19	69	73	2	4	65	
(割合%)	226 (16.8)				100 (7.4)				37 (2.7)				92 (6.8)				213 (15.8)							
	668 (49.7)																							

(平成24年中) (単位：人)

出火後再進入		着 衣 着 火										自 損 ・ 殺 人		そ の 他		小 計		放 火 自 殺 者 (心 中 の 道 づ れ を 含 む)	合 計	
いったん、屋外へ避難後、再進入したと思われるもの。出火時屋外にいて出火後進入したと思われるもの		着衣着火し、火傷(熱傷)あるいはガス中毒により死亡したと思われるもの										放 火 自 殺 の 卷 き 添 え 者		放 火 自 殺 人 の 犠 牲 者		左 記 以 外 の 経 過 等		不 明 ・ 調 査 中		計
救 助 ・ 物 品 搬 出 の た め	消 火 の た め	そ の 他	喫 煙 中	炊 事 中	採 暖 中 (た き 火 を 除 く)	た き 火 中	火 あ そ び 中	そ の 他 火 気 取 扱 い 中	そ の 他	放 火 自 殺 の 卷 き 添 え 者	放 火 自 殺 人 の 犠 牲 者	左 記 以 外 の 経 過 等	不 明 ・ 調 査 中	小 計	放 火 自 殺 者 (心 中 の 道 づ れ を 含 む)	合 計				
													1	12		12				
		1										1	1	13		13				
												2		7		7				
											1	5		15	6	21				
									1		2	3		12	6	18				
										1		6		24	12	36				
											1	6		16	15	31				
		1						1	4		1	16		42	28	70				
					1				2	1		2	13	34	25	59				
			1						1	1		1	17	52	37	89				
1			1	1	1			1		1		3	22	66	33	99				
			1					1	3		1	3	37	89	41	130				
	1			2	2	1		2	2		1	39	106	46	152					
3			3		1	2		2	2	1		3	57	159	61	220				
				2		1		2	4		3	42	126	31	157					
1	1		1	3	1	7		6	4	1	1	3	55	182	26	208				
3	1	1		7	6	18		16	13		2	11	102	372	17	389				
												7	7		3	10				
8	3	9	4	12	12	29	0	31	36	6	5	35	431	1,334	387	1,721				
20 (1.5)		124 (9.3)										11 (0.8)		466 (34.9)		100.0	[22.5]	100.0		
9	8	9	5	13	5	29	0	35	31	6	7	41	482	1,348	418	1,766				
26 (1.9)		118 (8.8)										13 (1.0)		523 (38.8)		100.0	[23.7]	100.0		

第10図 放火自殺者を除いた年齢別、性別の死者発生状況



(注)1 性別不明者2名を除く。

2 ()は、放火自殺者を除いた年齢別の死者数を示す。

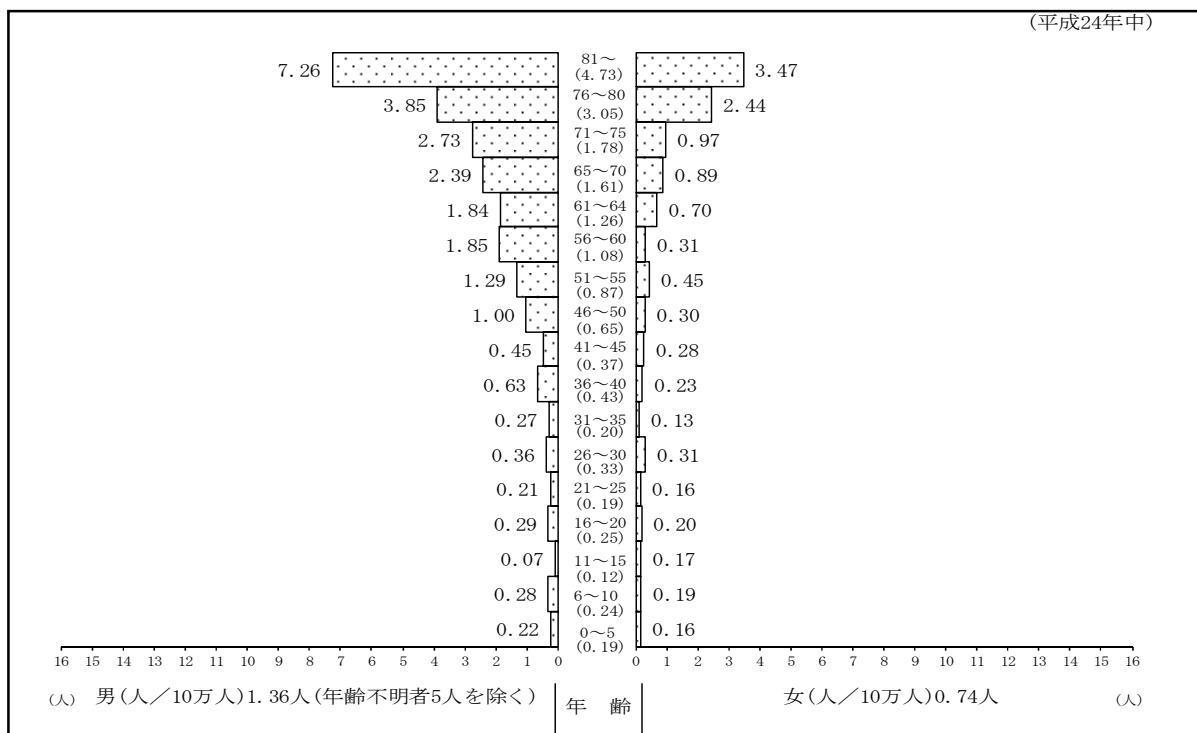
3 人口は、平成24年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。

第31表 放火自殺者を除いた乳幼児、高齢者の死者数の推移

年	区分 放火自殺者を除いた 死者数(人)	乳幼児(5歳以下)			高齢者(65歳以上)		
		人口 (千人)	死者数 (人)	人口10万人 当たりの 死者数(人)	人口 (千人)	死者数 (人)	人口10万人 当たりの 死者数(人)
58年	1,152	9,457	87	0.92	15,482	524	3.38
59年	1,338	9,262	113	1.22	15,985	577	3.61
60年	1,089	9,055	86	0.95	16,620	505	3.04
61年	1,257	8,841	98	1.11	17,220	592	3.44
62年	1,086	8,668	66	0.76	18,014	522	2.90
63年	1,166	8,466	92	1.09	18,736	524	2.80
平成 元年	1,035	8,219	46	0.56	19,481	515	2.64
2年	1,108	7,931	72	0.91	20,218	526	2.60
3年	1,101	7,717	59	0.76	15,583	505	3.24
4年	1,203	7,551	65	0.86	16,242	539	3.32
5年	1,194	7,395	51	0.69	16,897	537	3.18
6年	1,274	7,308	67	0.92	17,586	556	3.16
7年	1,820	7,224	70	0.97	18,260	918	5.03
8年	1,267	7,183	64	0.89	19,017	657	3.45
9年	1,321	7,165	50	0.70	19,760	649	3.28
10年	1,206	7,155	66	0.92	20,510	572	2.79
11年	1,346	7,148	41	0.57	21,187	691	3.26
12年	1,302	7,108	44	0.62	22,006	645	2.93
13年	1,390	7,088	44	0.62	22,867	670	2.93
14年	1,372	7,067	32	0.45	23,629	683	2.89
15年	1,433	6,997	36	0.51	24,310	744	3.06
16年	1,380	6,904	39	0.56	24,878	726	2.92
17年	1,559	6,761	57	0.84	25,672	839	3.27
18年	1,475	6,671	41	0.61	26,601	826	3.10
19年	1,430	6,585	57	0.87	27,465	814	2.96
20年	1,434	6,520	17	0.26	28,217	864	3.06
21年	1,313	6,464	24	0.37	29,006	781	2.69
22年	1,305	6,464	27	0.42	29,006	783	2.70
23年	1,348	6,364	16	0.25	29,750	866	2.91
24年	1,334	6,342	12	0.19	30,792	839	2.72

(注) 1 平成3年以降は高齢者を65歳以上としたデータである。
2 人口は、平成24年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による

第11図 放火自殺者を除いた年齢別の人口10万人当たりの死者数



(注) 1 年齢及び性別不明者1名、性別不明者1名を除く。
2 ()は、放火自殺者を除いた年齢別人口10万人当たりの死者数を示す。
3 人口は、平成24年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。

(9) 高齢者、身体不自由者等の建物用途別、階層別の死者発生状況

建物火災で発生した死者のうち、高齢者、身体不自由者及び病人であった903人について、建物用途別、階層別にみると、一般住宅における死者(発生階層不明を除く634人)の発生割合は、2階以上(93人)で14.7%であるが、共同住宅における死者の2階以上(78人)の発生割合は57.6%と多くなっている(第32表)。このような身体不自由者が居住する住宅の安全対策としては、容易に避難できるよう避難経路を確保することや、避難救出が行いやすいように居住場所を出入口付近にするなどの考慮が必要である。

第32表 高齢者、身体不自由者等の建物用途別、階層別の死者発生状況
(平成24年中)(単位:人、%)

階層	建物用途	計	一般住宅		併用住宅	劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	ボカッラクオスケ	料理店	飲食店	物品販売店舗	旅館・ホテル	病院等	グループホーム	社会福祉施設等
			専用住宅	住宅														
地下2階		0																
地下1階		0																
1階		663	541	58	15							2		2				
2階		156	91	34	5									2	1			
3階		27	1	16	2													
4階		9		5														
5階		9	1	8														
6階		3		3														
7階		8		7														
8階以上		8		5														
不明		20	18	1														
計		903	652	137	22							2		4	1	0	0	0
(割合%)		100.0	(89.8)	(15.2)	(2.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.0)	(0.4)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
平成23年		915	679	130	30									4	3	0	2	0
(割合%)		100.0	(74.1)	(14.2)	(3.3)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.4)	(0.3)	(0.0)	(0.2)	(0.0)	(0.0)

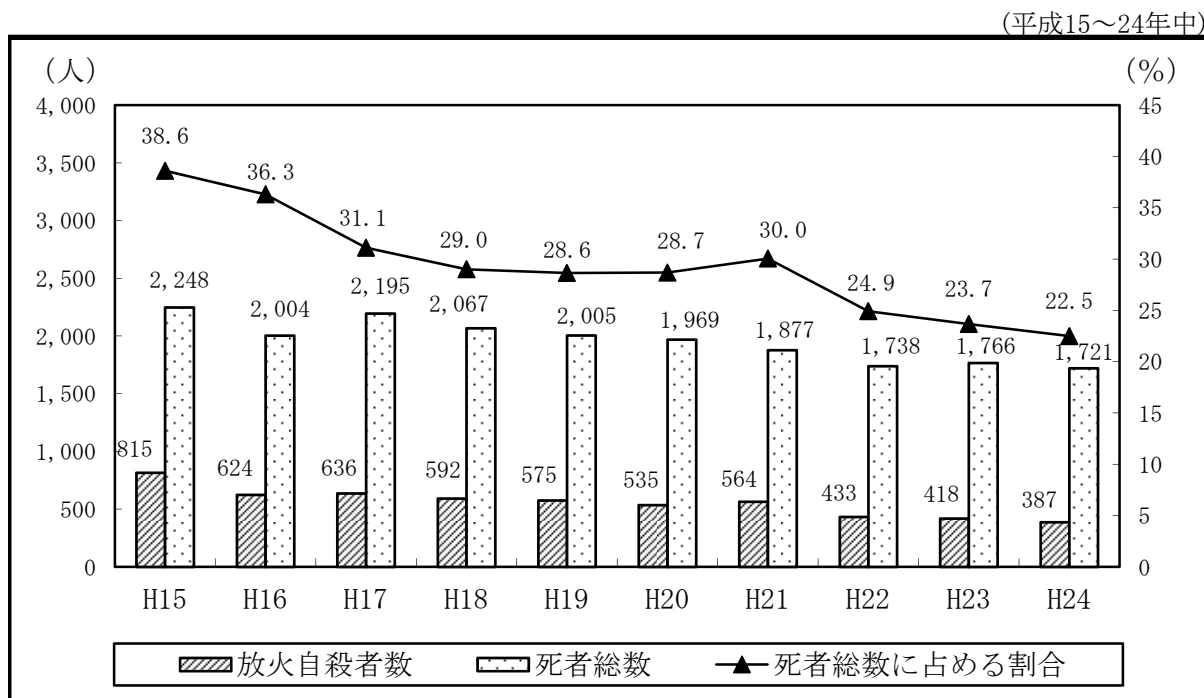
階層	建物用途	幼稚園等	学校	図書館	特殊浴場	公衆浴場	停車場	神社・寺院	工場・作業場	スタジオ	車庫・駐車場	航空機格納庫	倉庫	事務所	複合用途・特定	複合用途・非特定	文化財	その他
地下1階																		
1階								1	6						2	6		30
2階									3						3	6	8	3
3階															6	2		
4階															2	2		
5階																		
6階																		
7階																		1
8階以上															2	1		
不明																1		
計		0	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	3	18	20	0	34
(割合%)		(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(1.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(2.0)	(2.2)	(0.0)	(3.8)
平成23年		0	0	0	0	0	0	5	2	0	1	0	0	2	10	24	0	23
(割合%)		(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.5)	(0.2)	(0.0)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(1.1)	(2.6)	(0.0)	(2.5)

(注) 1. 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は、消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。
2. 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

4 放火自殺者の実態について

平成24年中の放火自殺者は387人で前年(418人)より31人減少している。また、死者総数(1,721人)に占める割合は、22.5%を占めている。平成15年の815人を境に平成20年まで減少傾向にあり平成21年に増加したものの、平成22年以降は再び減少している。(第1表、第12図)。都道府県別の放火自殺者は「埼玉県」が28人と最も多く、次いで「千葉県、東京都」の21人となっている。(第2図)

第12図 過去10年間における放火自殺者の推移



(1) 放火自殺者の火災種別ごとの死者発生状況

放火自殺者を火災種別ごとにみると、「その他の火災」が178人(46.0%)で最も多く、次いで「建物火災」が149人(38.5%)、「車両火災」が60人(15.5%)となっている(第33表)。

第33表 火災種別ごとの放火自殺者数

(平成24年中)(単位:人)

建物火災		林野火災	車両火災	航空機火災	その他の火災	計
全焼	39					
半焼	21					
部分焼	60	0	60	0	178	387
ぼや	28					
不明	1					
小計	149					
割合 (%)	38.5	0.0	15.5	0.0	46.0	100.0

(2) 放火自殺者の月別、時間帯別の死者発生状況

放火自殺者の発生状況を月別にみると、「3月」が49人で最も多く、次いで「12月」が38人、「4月」が37人となっている(第34表、第13図)。また、時間帯別にみると、「5時台」、「13時台」が22人で最も多く、次いで「12時台」が20人、「0時台、11時台」が19人となっている(第35表、第14図)。

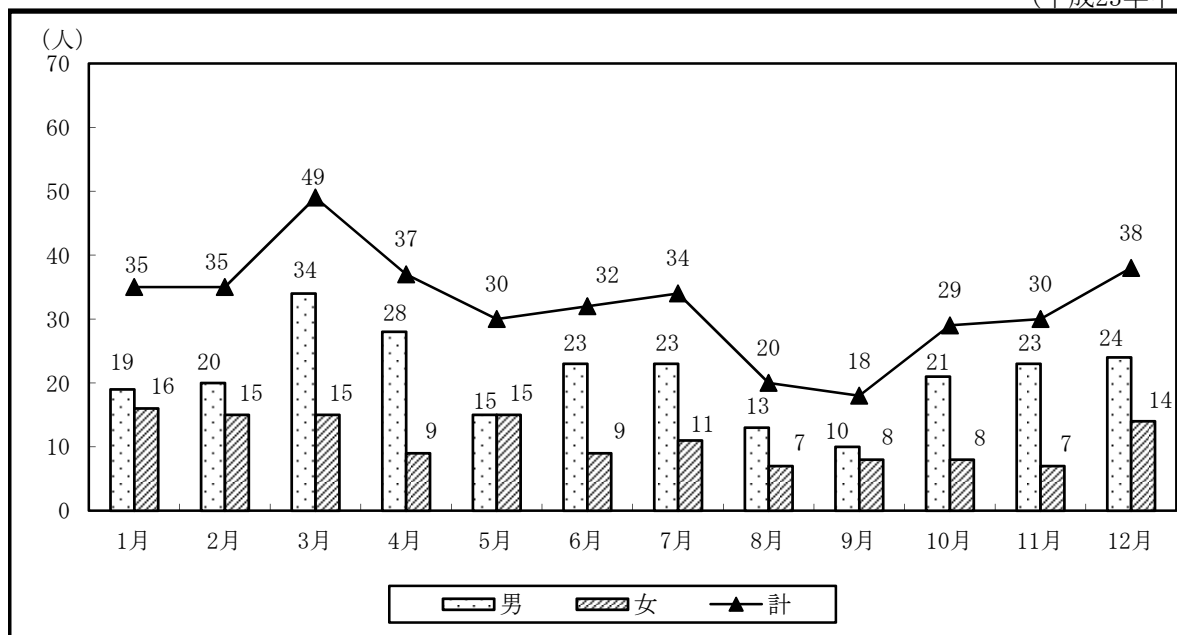
第34表 月別、年齢別、性別の放火自殺者数

(平成24年中)

年齢	月	性別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
0～5	男														0	0
	女														0	
6～10	男														0	0
	女														0	
11～15	男														0	0
	女														0	
16～20	男			1		1	2	1				1			6	6
	女														0	
21～25	男			1						2	1	1	1		6	6
	女														0	
26～30	男				3	1		1	1				1	1	8	12
	女	1				1					1			1	4	
31～35	男	1		2				2					1	2	8	15
	女	2						1	2			2			7	
36～40	男	1	1	3		1		2	1	1	1	2	3	2	17	28
	女	1	3	1		2	1	1				1		1	11	
41～45	男	3			1	1				1		3		3	12	25
	女	1	3		1	3				1	1	1	2		13	
46～50	男	5	4	8	1	1	1	1	1	1	1	2		1	26	37
	女	2		2	1				2	1		1	1	1	11	
51～55	男	1	3	4	2	2			2	3	1	1	1	2	22	33
	女		1	2	1	1			1	2			1	2	11	
56～60	男	1	3	1	4	1	2	3	1			2	5	5	28	41
	女	1	2	1	1	4			2					2	13	
61～64	男	4	3	1	6	1	4	2	1	1	1	3	3		29	46
	女	3	2	3	2	1	1	1	1	1			1	1	17	
65～70	男	2	2	8	3	5	5	5			4	3	6	4	47	61
	女	3	2	1		1	1	1	1	1	2	1		1	14	
71～75	男			1	5			3	1	2		3		2	17	31
	女	1		4				1	1	1	2		1	3	14	
76～80	男		2	2	2	1			3			1	2	1	14	26
	女	1	2		3	1	3					1		1	12	
81～	男	1	1	2	1			3	2					1	11	17
	女			1					2		1	1		1	6	
不明	男		1					1							2	3
	女												1		1	
計	男	19	20	34	28	15	23	23	13	10	21	23	24		253	
	女	16	15	15	9	15	9	11	7	8	8	7	14		134	
	性別不明														0	
	計	35	35	49	37	30	32	34	20	18	29	30	38		387	

第13図 月別の放火自殺者発生状況

(平成23年中)



第35表 時間帯別の放火自殺者発生状況

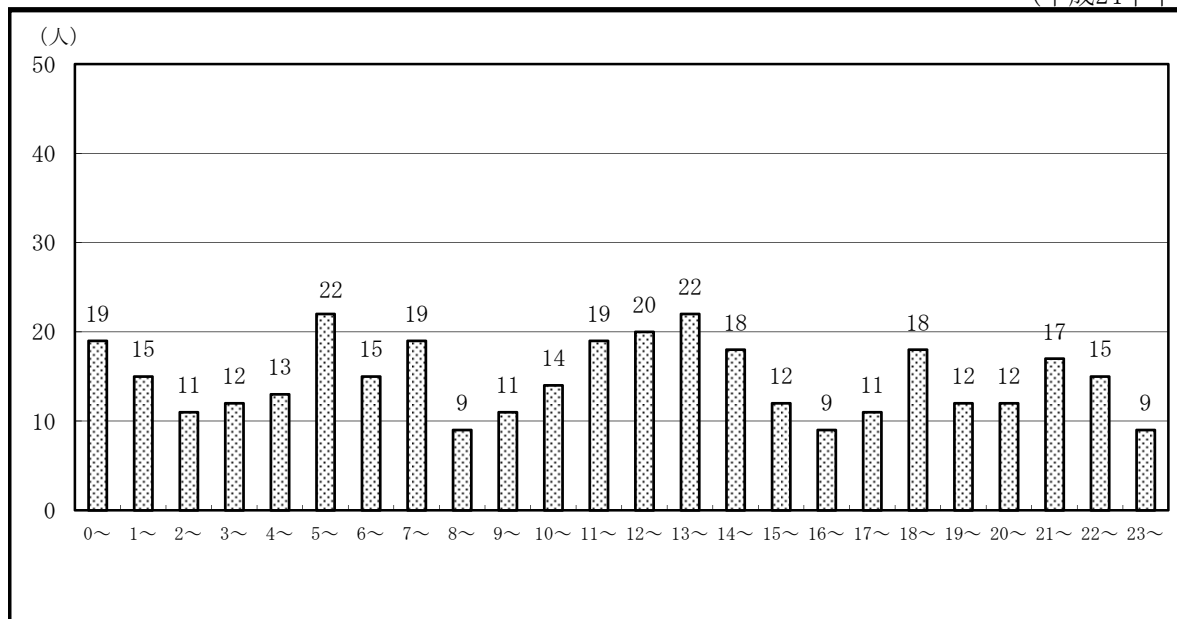
(平成24年中)

区分	時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～	12～
死者(人)		19	15	11	12	13	22	15	19	9	11	14	19	20
割合(%)		4.9	3.9	2.8	3.1	3.4	5.7	3.9	4.9	2.3	2.8	3.6	4.9	5.2

時間帯	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～	不明	計
死者(人)	22	18	12	9	11	18	12	12	17	15	9	33	387
割合(%)	5.7	4.7	3.1	2.3	2.8	4.7	3.1	3.1	4.4	3.9	2.3	8.5	100.0

第14図 時間帯別の放火自殺者発生状況

(平成24年中)



(注) 時間帯不明の33名を除く。

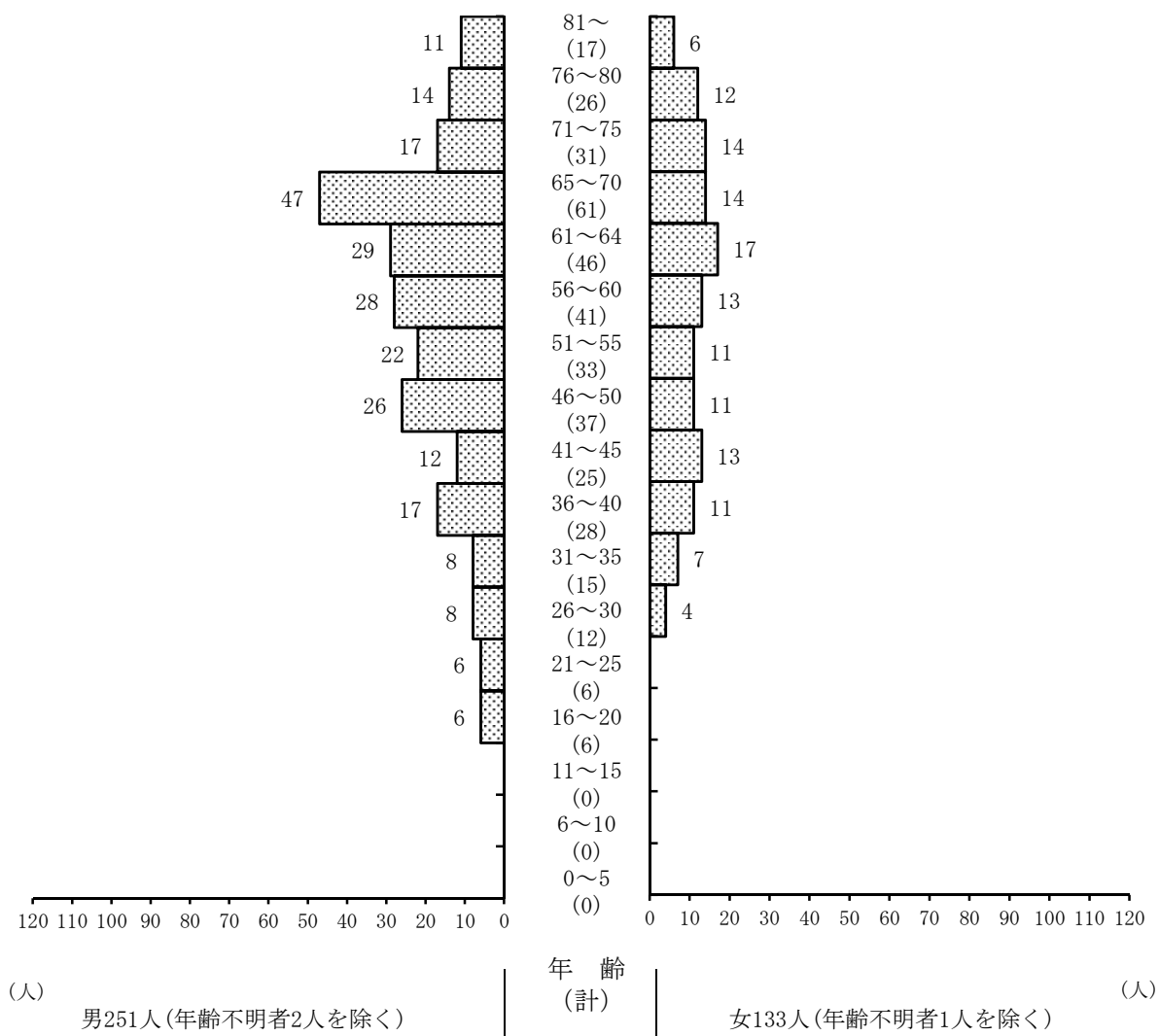
(3) 放火自殺者の年齢別、性別の死者発生状況

放火自殺者の発生状況を年齢別にみると、「65～70歳」が61人(15.8%)、「61～64歳」が46人(11.9%)及び「56～60歳」が41人(10.6%)となっており、一般に働き盛りと言われる年齢層に放火自殺者が多く、この年齢層の死者を合計すると、放火自殺者総数の38.2%を占める。性別では「男性」が251人(64.9%)、「女性」が133人(34.4%)と男性が女性の2倍近くになっている。

年齢別、性別を併せてみると「65歳～70歳の男性」が47人で最も多く、次いで「61～64歳の男性」が29人、「56～60歳の男性」の28人となっている(第15図)。

第15図 放火自殺者の年齢別、性別の死者発生状況

(平成24年中)



付表1 過去5年間の死者発生状況

区 分		年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
全 火 災	火災件数（件）	54,582	52,394	51,139	46,620	50,006	44,189	
	死者数（人）	2,005	1,969	1,877	1,738	1,766	1,721	
	火災100件当たり の死者数（人）	3.67	3.76	3.67	3.73	3.53	3.89	
	指数	100.0	102.3	99.9	101.5	96.1	106.0	
	人口10万人当たり の死者数（人）	1.58	1.55	1.48	1.37	1.39	1.36	
	指数	100	98	94	87	88	86	
建 物 火 災	火災件数（件）	31,248	30,053	28,372	27,137	26,795	25,583	
	死者数（人）	1,502	1,499	1,352	1,314	1,339	1,324	
	火災100件当たり の死者数（人）	4.81	4.99	4.77	4.84	5.00	5.18	
	指数	100.0	103.8	99.1	100.7	104.0	107.7	

(注) 平成7年1月1日から火災の定義が改められ、「爆発現象」も含まれることとされた

付表2 過去5年間の時間帯別の死者発生状況

区分 時間帯	死 者 数 (人)						割 合 (%)					
	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平 均	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成24年	平 均
0～	100	84	65	94	74	83.4	4.5	4.5	3.7	5.3	4.3	4.5
1～	92	107	88	86	94	93.4	5.7	5.7	5.1	4.9	5.5	5.4
2～	103	103	93	70	97	93.2	5.5	5.5	5.4	4.0	5.6	5.2
3～	84	93	91	94	85	89.4	5.0	5.0	5.2	5.3	4.9	5.1
4～	89	91	83	78	83	84.8	4.8	4.8	4.8	4.4	4.8	4.7
5～	115	97	92	87	78	93.8	5.2	5.2	5.3	4.9	4.5	5.0
6～	73	79	59	60	73	68.8	4.2	4.2	3.4	3.4	4.2	3.9
7～	64	49	55	68	52	57.6	2.6	2.6	3.2	3.9	3.0	3.1
8～	61	61	56	54	58	58.0	3.2	3.2	3.2	3.1	3.4	3.2
9～	56	51	54	64	62	57.4	2.7	2.7	3.1	3.6	3.6	3.2
10～	79	68	65	63	65	68.0	3.6	3.6	3.7	3.6	3.8	3.7
11～	64	76	59	54	59	62.4	4.0	4.0	3.4	3.1	3.4	3.6
12～	67	64	70	76	58	67.0	3.4	3.4	4.0	4.3	3.4	3.7
13～	64	88	67	55	74	69.6	4.7	4.7	3.9	3.1	4.3	4.1
14～	68	65	76	66	66	68.2	3.5	3.5	4.4	3.7	3.8	3.8
15～	70	78	64	73	68	70.6	4.2	4.2	3.7	4.1	4.0	4.0
16～	78	54	58	60	64	62.8	2.9	2.9	3.3	3.4	3.7	3.2
17～	80	67	70	56	53	65.2	3.6	3.6	4.0	3.2	3.1	3.5
18～	83	71	47	57	72	66.0	3.8	3.8	2.7	3.2	4.2	3.5
19～	66	47	61	63	70	61.4	2.5	2.5	3.5	3.6	4.1	3.2
20～	73	59	55	74	59	64.0	3.1	3.1	3.2	4.2	3.4	3.4
21～	56	52	64	64	59	59.0	2.8	2.8	3.7	3.6	3.4	3.3
22～	95	84	64	72	66	76.2	4.5	4.5	3.7	4.1	3.8	4.1
23～	78	82	76	78	52	73.2	4.4	4.4	4.4	4.4	3.0	4.1
不 明	111	107	106	100	80	100.8	5.7	5.7	6.1	5.7	4.6	5.6
計	1,969	1,877	1,738	1,766	1,721	1814.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

付表3 曜日別、時間帯別の死者発生状況

(平成24年中)(単位：人)

曜日 時間	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
0～	16 (5)	11 (3)	8 (1)	11 (0)	10 (6)	10 (2)	8 (2)	0	74 (19)
1～	14 (0)	14 (4)	15 (2)	13 (3)	9 (2)	15 (2)	14 (2)	0	94 (15)
2～	20 (3)	11 (1)	13 (2)	10 (2)	7 (1)	19 (2)	17 (0)	0	97 (11)
3～	14 (1)	18 (4)	10 (1)	6 (0)	12 (1)	15 (3)	10 (2)	0	85 (12)
4～	14 (2)	9 (0)	10 (3)	15 (3)	8 (1)	19 (1)	8 (3)	0	83 (13)
5～	7 (0)	8 (4)	18 (7)	15 (2)	10 (5)	11 (2)	9 (2)	0	78 (22)
6～	19 (6)	8 (2)	14 (2)	4 (1)	6 (1)	12 (1)	10 (2)	0	73 (15)
7～	9 (2)	12 (5)	6 (2)	5 (3)	7 (3)	4 (1)	9 (3)	0	52 (19)
8～	20 (2)	10 (2)	4 (2)	5 (1)	5 (2)	6 (0)	8 (0)	0	58 (9)
9～	9 (1)	9 (1)	10 (2)	7 (1)	11 (1)	9 (3)	7 (2)	0	62 (11)
10～	12 (1)	7 (2)	8 (1)	8 (2)	10 (3)	12 (5)	8 (0)	0	65 (14)
11～	4 (2)	8 (4)	14 (3)	9 (4)	6 (2)	15 (3)	3 (1)	0	59 (19)
12～	5 (0)	9 (5)	12 (5)	10 (6)	7 (0)	9 (2)	6 (2)	0	58 (20)
13～	13 (2)	8 (4)	11 (5)	12 (4)	12 (4)	11 (2)	7 (1)	0	74 (22)
14～	7 (2)	10 (3)	11 (4)	6 (2)	12 (3)	7 (2)	13 (2)	0	66 (18)
15～	14 (3)	13 (5)	9 (1)	8 (2)	9 (1)	7 (0)	8 (0)	0	68 (12)
16～	12 (2)	10 (2)	10 (1)	8 (0)	9 (1)	5 (1)	10 (2)	0	64 (9)
17～	5 (1)	6 (0)	8 (1)	9 (2)	14 (3)	8 (3)	3 (1)	0	53 (11)
18～	8 (2)	17 (5)	5 (1)	9 (1)	16 (1)	8 (5)	9 (3)	0	72 (18)
19～	14 (1)	10 (3)	8 (2)	8 (0)	5 (1)	16 (3)	9 (2)	0	70 (12)
20～	12 (2)	12 (4)	5 (0)	9 (2)	4 (0)	7 (3)	10 (1)	0	59 (12)
21～	3 (1)	12 (2)	12 (4)	9 (2)	9 (3)	6 (3)	8 (2)	0	59 (17)
22～	12 (3)	15 (2)	11 (4)	5 (1)	8 (2)	10 (2)	5 (1)	0	66 (15)
23～	8 (0)	5 (2)	4 (3)	14 (2)	8 (1)	3 (0)	10 (1)	0	52 (9)
不明	12 (1)	6 (2)	11 (6)	6 (3)	9 (2)	8 (6)	5 (2)	23 (11)	80 (33)
計	283 (45)	258 (71)	247 (65)	221 (49)	223 (50)	252 (57)	214 (39)	23 (11)	1,721 (387)

(注) ()は放火自殺者の数を内数で示す。

付表4 月別、年齢別、性別の死者発生状況

(平成24年中)(単位:人)

年齢	性別	月												計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
0～5	男	0	1	0	0	0	2	0	1	1	2	0	0	7	12
	女	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
6～10	男	2	1	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	8	13
	女	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	5	
11～15	男	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	7
	女	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	5	
16～20	男	1	2	1	1	1	2	3	1	2	1	0	0	15	21
	女	2	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	6	
21～25	男	1	1	3	1	0	1	0	2	1	1	2	0	13	18
	女	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	
26～30	男	1	1	0	3	2	2	1	1	1	1	3	5	21	36
	女	1	2	3	0	3	0	1	0	2	0	0	3	15	
31～35	男	1	2	2	0	2	2	1	0	0	2	2	5	19	31
	女	2	0	0	0	1	2	2	2	0	2	1	0	12	
36～40	男	3	3	10	1	4	1	7	3	3	3	7	3	48	70
	女	3	5	2	1	2	1	1	0	1	1	2	3	22	
41～45	男	8	2	3	5	2	0	0	1	0	5	1	6	33	59
	女	2	3	2	1	7	1	0	1	3	2	3	1	26	
46～50	男	9	11	13	6	5	6	3	3	4	2	1	3	66	89
	女	4	2	3	1	3	0	3	1	1	1	2	2	23	
51～55	男	10	8	9	6	9	3	4	6	3	2	6	5	71	99
	女	2	5	5	3	1	1	1	3	0	0	3	4	28	
56～60	男	12	15	11	8	4	8	6	3	3	9	13	12	104	130
	女	2	3	3	3	4	1	2	1	1	0	2	4	26	
61～64	男	25	8	9	13	3	5	7	5	4	9	11	6	105	152
	女	6	5	7	5	2	2	2	3	4	3	3	5	47	
65～70	男	14	24	21	16	14	11	8	1	8	10	14	19	160	220
	女	13	7	5	0	6	5	3	2	4	3	2	10	60	
71～75	男	13	12	10	13	5	8	4	4	3	9	6	19	106	157
	女	8	6	9	5	2	1	2	4	4	0	2	8	51	
76～80	男	19	12	14	17	3	4	11	4	4	4	13	8	113	208
	女	16	13	13	12	8	6	2	2	3	4	7	9	95	
81～	男	37	26	26	20	6	12	5	6	6	10	24	23	201	389
	女	34	29	21	18	10	0	9	4	7	10	13	33	188	
不明	男	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1	7	8
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
計	男	157	130	135	110	61	70	60	41	45	71	104	115	1,099	
	女	99	84	76	49	53	21	29	24	32	27	42	84	620	
	性別不明	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	
	計	256	214	211	159	115	91	89	66	77	98	146	199	1,721	

付表5 年齢別の死者発生状況

(平成24年中)

年齢・性別	区分	人口 (千人)	死者数 (人)	10万人当たりの 死者数 (人)
0～	男	3,247	7	0.22
	女	3,094	5	0.16
6～	男	2,808	8	0.28
	女	2,678	5	0.19
11～	男	3,027	2	0.07
	女	2,884	5	0.17
16～	男	3,123	15	0.48
	女	2,967	6	0.20
21～	男	3,260	13	0.40
	女	3,113	5	0.16
26～	男	3,661	21	0.57
	女	3,536	15	0.42
31～	男	4,093	19	0.46
	女	3,976	12	0.30
36～	男	4,913	48	0.98
	女	4,775	22	0.46
41～	男	4,692	33	0.70
	女	4,599	26	0.57
46～	男	3,990	66	1.65
	女	3,952	23	0.58
51～	男	3,801	71	1.87
	女	3,810	28	0.73
56～	男	4,102	104	2.54
	女	4,178	26	0.62
61～	男	4,137	105	2.54
	女	4,307	47	1.09
65～	男	4,729	160	3.38
	女	5,162	60	1.16
71～	男	3,258	106	3.25
	女	3,809	51	1.34
76～	男	2,571	113	4.40
	女	3,400	95	2.79
81～	男	2,616	201	7.68
	女	5,245	188	3.58
年齢不明	男	0	7	0.00
	女	0	1	0.00
計	男	62,029	1,099	1.77
	女	65,486	620	0.95
	性別不明	0	2	—
	計	127,515	1,721	1.36

(注) 人口は平成24年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。